



在シ、思惟ハ概念ノ集合ヲ要シ以テ是等ヲ成立セシム。是等ノ概念關係ハ即チ實有ナル「イデア」ノ關係ニ相應スルモノナリ。而シテ實有ノ最高統括者ハ善美ニシテ、道德的目的ノ統括階級ヲナス。サレバ、事物ノ生成モ必ズ目的ヲ有シ、其ハ目當テトスル所ハ善美ノ實現ニシテ、其ノ背後ニ存スル「イデア」界ニヨリテ規律セラル。故ニ「イデア」界ハ即チ目的ノ世界ナリ、善美ハ目的ヲ有シテ之ヲ實現セント努メツツアルモノナリ。此ノ目的觀ハ「アリストテレイコス」ヲ經テ新「プラトーン」學派ニ傳ハリタリ。

第二 利益快樂ト道德律トノ分離ニ基ヅク論證。

快樂利益ガ人ノ道德生活ヲ定ムルモノナルカ、或ハ是等ヲ離レテ、道德律ガ獨立シテ存在スルモノナルカ。「プラトーン」ハ後ノ思想ヲ採用シ、人生ノ目的ハ快樂利益ヲ求メントスルニ存セズトセリ。

先ヅ快樂ヲ求ムルトキハ多ク反對ノ結果ヲ來ス。然ルニ快樂ヲ求ムルコトガ若シ至善ナルナラバ、コノコトアルヲ解スベカラス。次ギニ吾人ノ深キ心ハ如何ナル利益ヲモ快樂ヲモ犠牲トシテ、是等ヲ超越セル善ヲ爲スベシト要求ス。

「ソークラテイス」ノ思想ノ分析ナリ

是レ快樂利益ノ尙至善ニ非ザルコトヲ證明スルモノナリ。又次ギニ吾人ノ生活ハ各其ノ權限アリ分擔アリ、之ニ満足セザルベカラザルハ事實ノ要求ニシテ、又各人ノ識ル所ナリ。然モ快樂利益ハ無限ノ增長ヲ求メ、若シ達セラレザレバ一層不快ヲ感ジ、不利益ヲ意識ス。終リニ快樂利益ノ頼ム能ハザルコト斯ノ如クナルガ、道德律ニ信賴スルトキハ、如何ナル生活ノ分擔ヲ爲スモ、如何ナル心ノ状態ニ在ルモ、如何ナル外部ノ刺激ニ遭遇スルモ亦問フ所ニ非ズ。故ニ規則ハ人生ノ獨立要件ニシテ、盜賊ノ生活ニモ亦規則ナカルベカラズ。善ハ人生ノ全部ニ亘リテ絕對獨立ノ價值ヲ有ス。

「プラトーン」ガ道德律ヲ夫自身獨立ノ價值アルモノトナセシハ「カント」ト同論ナリ。但シ「プラトーン」ハ善美ナル道德律ノ意識ヲ以テ、思惟ニヨリ直覺シ得ベキモノトシ、吾人ノ精神ガ超越界ヨリ來リシトキ持參セル觀念ニシテ、此ノ直觀ニ從ウテ活動スルコトヲ道德生活ト爲ス。是レ「カント」ガ道德律モ論理的性質並ビニ自我ノ意識ト相待チテ存在スル根本意識タルニ外ナラズトセルト異ナル所ナリ。

「プラトーン」此ノ種ノ道德論ハ、後代基督教ノ大ニ利用シタル所ニシテ、プラトーンニ謝スベキ所大ナリトイフベシ。然レドモ其ノ根本ニ於テハ、兩者ノ間ニ著シキ相違アリ。「プラトーン」ニ取リテハ善ト美トハ同一ニシテ、其ノ最モ完全ニ模寫セラレ、實現セラレ、ベキ所ハ國家ニ在リトナセドモ、基督教ニ於テハ善キモノハ必ずシモ美ナルモノニ非ズ、醜キモノ下劣ナルモノニモ亦善キモノアリ。而シテ是レ國家ニ於テ實現セラルベキモノニ非ズシテ却ツテ彼岸ニ於テ實現セラレ、ツツアルモノナリト。故ニ基督教ノ道德觀念モ熱誠ノ現ハレナレドモ美ノ觀念ヲ缺ケリ。「プラトーン」ノ道德觀念ハ美ト離レズ、吾人ト共ニ道德ノ美術家トシテ理想的道德ヲ最モ美ニ此ノ世ニ實現セント努ムルモノナリ。

### 第二目 「イデア」界ノ性質

「プラトーン」ハ「イデア」界ノ系統的全部ヲ認メ、其ノ統括ヲ説ケリ。故ニ希臘哲學ノ實在原理論ハ彼ニ至リテ始メテ系統的ノ組成ヲ得タリ。實有ハ吾人ノ思惟ニヨリ、其ノママ概念トシテ現ハレ、ツツアリ、是等ノ概念ハ精神的ニシテ普

遍性ヲ有シ、統括制ヲナシ、ツツアルモノナラザルベカラズ。

#### 第一 「イデア」界ノ範圍

「プラトーン」ハ「イデア」界ノ性質ヲ二方面ヨリ限界セリ。一方ニ於テハ「イデア」ハ概念的ハ知識ナリ。他方ニ於テハ「イデア」ハ美的、宗教的ノ理想ナリ、模範ナリ、規則ナリ。「プラトーン」ハ此ノ兩者ヲ結合セシメントセリ。故ニ醜惡下劣ニ關スル概念ハ存在スルコトハ、大ニ「プラトーン」ヲ苦シメタルモノニシテ、彼ハ之ヲ解決スルコト能ハズ、遂ニ是等ニ對シテハ「イデア」無キコトヲ斷定スルノ已ムナキニ至ラシメタリ。蓋シ宇宙ニ實在セルモノハ皆善美ナリ、是レ吾人生活上ノ要求ニシテ、理窟ノ無キ所トナス。(佛教華嚴ノ唯心廻轉善成門參照)

「プラトーン」ハ世界ノ實有ヲ以テ概念トナシ、皆善美ノ性質ヲ有スルモノトセリ。彼ノ觀念論ニ於テハ、觀念ト理想ト合一シ、觀念即チ理想タルノミナラズ、理想即チ觀念タリ。斯ノ如キハ「ヘーラクライトス」ガ善惡不二ヲ説キタルト著シク異ナルガ如クナレドモ、實ハ相互ニ能ク調和スル所ナキニ非ズ。「ヘーラクライトス」ノ論ハ全ク客觀的ナル汎神論ヲ唱へ、且自然哲學ヲ根據トシテ善惡並ビ

Idea-1, Ide-2  
トハ彼ニ  
於テ同一ナ

向上生活ニ  
ケル信仰ニ  
歸ス領域  
ナリ

惡トスルハ  
善ヲ得ルガ  
爲ナリ

ニ社會ヲ説キタルモノナリ。此ノ點ヨリスレバ本來善モ無ク惡モ無キハ明ラ  
カニシテ惡トイフガ故ニ善ヲ認メ善ヲ摘出スルガ故ニ其ノ餘ノモノヲ惡ト見  
ルノミナリ。プラトーンノ論ハ是ト異ナリ。吾人内心ノ要求ヲ擴張セシメタル  
特殊ノ客觀的觀念論ナリ。客觀理想論ナリ。故ニ向上心ノ満足ヲ基礎トシテ  
世界萬物ヲ説キ社會ヲ觀察シタルモノナリ。此ノ見地ヨリスレバ世界ノ現象  
ハ其ノ根本其ノ本來ニ於テハ皆善美ナラザルモノナク實有トシテハ理想的ナ  
ラザルモノナシ。其ノ善美ナラザルモノハ未ダ實有ノ完全ニ實現セラレザル  
所以ニシテ吾人ガ之ヲ利用シテ善トナシ轉ジテ美トナス能力ノ足ラザルニ歸  
スルモノナリ。而シテ「イデア」界ニ對シテ現象界ニ醜惡アルヲ認ムルハ皆之ヲ  
利用シ之ヲ轉ジテ向上セントスル前提ニ外ナラズ。實ニ世界ニ醜惡アルニ非  
ズシテ唯善美ヲ實現セシメントスルガ爲ノ假定タルハミナリ。初期佛教ノ  
苦諦參照  
是故ニ先ヅ「ヘーラクライトス」ノ精神ヲ會得シ其ノ基礎ノ上ニ「プラトーン」ノ  
感想ニ會通シテ始メテ誤ナキヲ得ベク彼ノ理想論ノ形式ノ末ニ拘束セラルル  
コトナキヲ得ルモノトス。而シテ此ノ精神ハ佛教全部ヲ貫通セル大精神ニシ

テ彼我符節ヲ合スルガ如シ。(天台華嚴ノ性善惡ニ關スル確執禪宗ノ善惡不二  
論參照)

吾人ノ向上生活ノ要求並ビニ向上生活ノ存在スルコトダケハ是非共先ヅ  
之ヲ是認セザルベカラズ信仰セザルベカラズ。(佛教哲理信念論參照、宗教ト  
進化ノ意識參照)

### 第二 「イデア」界ノ統括制。

個個ノ「イデア」ハ統括的の全部ノ一部分ニ外ナラズ。而シテ此ノ「イデア」ノ統括  
制ノ最高位ニ在ルモノヲ最高ノ善トナス。此ノ善ハ又最高ノ美ニシテ「イデア」  
ノ總攬者ナリ。但シ高下ノ善自身ガ復甚ダ複雑ニシテ其ノ間ニ又無數ノ統括  
關係ヲ存セザルベカラズ。此ノ組成排列ニ就キテハ「プラトーン」最モ苦シミ  
タル所ナリ。

### 第三 「イデア」界ト現象界。

「イデア」ハ現象界ヨリ離レテ存在スルモノナリ。故ニ宇宙ニハ二種ノ相異ナ  
レル世界アリ。全然現象界ヲ離レテ存在スル精神界ヲ認メタルモノハ觀念論

高天原ノ八  
百萬神



在リテ後原子ノ存在ヲ認メタリ。「プラトーン」ハ理性ヲ立テシガ「イデア」トイフ實在ガ理性中ニ現ハレタルモノニシテ理性ハ「イデア」ノ子供ノ如キモノナリ故ニ誠心之ヲ考フレバ「イデア」ノ理由ヲ明ラカニシ得ベシトセリ。換言スレバ理性ヲ主要ノモノトスル點ハ「デーモクリトス」ニ似タレドモ物質ヲ以テ非有ニ類セシメ、又理性ヲ本トシテ唯識的ニ實有ヲ説クニ非ズ、實有ガ中心トナリテ理性アリトセリ。  
又非有「Mein」ニ就キテモ「デーモクリトス」ト異ナル「エレア」學派ハ非有ナシトセシガ「デーモクリトス」ハ此ノ存在ヲ主張シ「プラトーン」モ之ヲ認メシガ後ニハ之ヲバ無邊「ビタゴラス」ノ無邊ニ類スノモノトセリ。

「プラトーン」ノ「イデア」ハ斯ノ如ク現象界ノ存在スル一原因ヲ成セドモ、現象界自身ヲ超越シテ獨立ノ存在ヲナス實有ナリ。之ト共ニ彼ノ善美完全ハ醜惡不完全ヲ離脱セル特殊ノ實在ナリ。彼ハ「ヘーラクライトス」學徒「クラチロス」Kratylusニ師事シタルガ此ノ點ニツキテハ毫モ「ヘーラクライトス」ノ學理ヲ採納セザリシナリ。實有ト現象ト善美ト醜惡トヲ合一セシメズ、從ツテ「吾人」ノ主觀理性ヲ「イデア」ノ根源トナシ向上ノ要求ヲ善美ノ存スル所以トナサズシテ彼ノ美的宗教的人格ニヨリ直入シテ是等兩種ノ世界ヲ分離シ「イデア」反ビ善美ヲ最初ノ實有トナシ之ニ其ノ模寫ヲ對立セシメタルモノナリ。兩種ノ世界ガ根本ニ

於テ合一スルコトヲ根據トシツツ相對立スル所以價值ノ差アル所以ヲ説カザリシハ彼ノ限界ナリ。

彼ハ特殊普遍ノ根本關係ヲ表現關係ト見ズシテ寧ロ對立關係トナシタルモノナリ。

第四 「イデア」界ハ單ニ抽象セラレタル世界ニ非ズ。

「イデア」ハ吾人ノ概念ニ先チテ實在シ、個個ノ現象ノ以前ニ實在ス。「イデア」アルガ故ニ概念アリ現象ヲ生ズルモノニシテ、現象アリテ後ニ概念ヲ生ジ概念ニヨリテ「イデア」ヲ認ノ得ルモノニ非ズ。個個特定ノ具體的現象ヨリ次第ニ抽象セラレテ存スル概念ハ其ノ抽象セラレテ高尚ナル概念タルト共ニ益、其ノ外延 Denotation ヲ廣クスレドモ、益、其ノ内包 Connotation ヲ失フ。其ノ現ハス物件ハ愈多キヲ加フルト共ニ其ノ現ハス性質ハ益、減少ス。何トナレバ概念ハ多數ノ特定事物ニ共通ナル概念ノ最大等數ナレバナリ。然ルニ「プラトーン」ノ「イデア」ニ相當スベキ概念ハ、個個特定ノ事物ニ先チテ存在スルヲ以テ統括的ノ地位ニ進ムニ從ヒ、其ノ外延ヲ廣クスルノミナラズ、愈、其ノ内包ヲ多クス。隨ツテ「イデア」並ビニ「イデア」界ハ少クモ多數ノ特定事物ニ存スベキ善美ノ最小公倍數ヲ包含

普遍ハ實在  
ハ故ニ人  
ス表ニ人  
必ズ現人  
獨立ノ有  
方面ヲ有

ス。是レ其ノ所謂現今ノ抽象的ノ法則及ビ概念ト異ナル所ニシテ特ニ幽玄微妙ナル活精神ノ存スル所以ナリ。

現今ハ個個特定ハ物ハミニ執着シ、其ハ實有ヲ見レドモ之ト對立スル普遍ノ實有ヲ忘却セリ。蓋シ唯實有トカ實在トカ稱スルモノナク、此ノ兩方面ノ相融合スル所ヲ見テ一層統括的ナル實在ト稱シ得ベキノミ。サレバ「プラトーン」ハ差別ニ偏セル現在ノ人人ヨリ冷評セラルト雖モ、批評者ガ反ツテ「プラトーン」ノ眞意ニ達セザルモノナリ、又彼ノ大ナル精神ヲ推感シ得ザルモノナリ。

個個特定ノ差別ノミヲ實在ト思ヒ、自我トイヘバ當然存スト考ヘ、普遍我トイヘバ其ノ存在ヲ疑フハ非ナリ。個我ガ先存スルカ、普遍我ガ先存スルカ斷言シ難シ。普遍我トハ唯概念トシテ差別的ノモノヲ抽象シタルモノノミニ非ズ。「プラトーン」ノ「イデア」ニ當ル人間ハ、有ラユル性質ヲ有スル人間ガ有スベキ善美ノ性質ヲ一切網羅セル普遍的實在ニシテ、直チニ各個ノ人間ノ根柢ヲナスモノナリ。而シテ是有ルガ爲ニ個個特定ノ人間ヲ生ズルナリ。只彼ガ個個特定ヲ輕ンゼシハ普遍ニ重キヲ置キタルガ爲ニ生ジタルナリ。

哲理上眞偽ハ決シテ簡單ニ存スルモノニ非ズ、夫レ夫レ統括制ヲナシテ存在ス。而シテ特

殊普通ノ融合セシ處ガ一層統括的ノ實在ナリ。(元ヨリコレモ其ノ儘外界ニ實在スル絕對ノ實有ニハ非ズ) 佛教天台宗ノ三諦圓融論ノ如キハ、此ノ點ニ關シテ完全ナリ。圓融ノ三諦トハ假諦空諦中諦ニシテ、假諦ハ個個特殊、空諦ハ無差別即チ普遍、中諦ハ二者ヲ融合セルモノヲイヒ、此ノ三者ガ隔歴シテ存セザル點ニツキ三諦ノ圓融トイフ。

### 第三款 物理論(自然論)

「プラトーン」ノ自然哲學又ハ物界論、即チ現象界ノ説明ハ、彼ノ社會論ノ基礎ニ非ズシテ、社會論ト相對立シ俱ニ彼ノ知識論本體論ノ上ニ生ジタルモノナリ。更ニ精密ニ言ヘバ、彼ノ「デアレクタイツク」「Dialektik」ハ其ノ社會觀即チ道德政治ヲ談ジ國家ヲ説カンガ爲ニ立テラレタルモノニシテ、此ノ「デアレクタイツク」ニ認メタル現象及ビ實有ノ二世界ヲ調和セシムル爲ニ自然哲學ニ論及シタルモノナリ。故ニ此ノ論ガ彼ノ哲學中ニ於テ占ムル地位ノ要用ナルモノニ非ザルコト「パルメニデース」「Parmenides」ノ假現界ノ研究ニ似タリ。但シ彼ガ「イデア」論ヲ主張セシ初ニ當リテハ、現象界ヲ惡ムコト甚ダシカリシモ、其ノ學說ノ發達ト共ニ次第ニ現象界ノ認識及ビ其ノ是認ニ傾ケルコトヲ見ルヲ得ベシ。

「プラトーン」ハ現象界即チ自然界ヲ以テ實有ト非有トノ結合ヨリ成ルモノトシ此ノ結合ハ「イデア」ガ其目的ニ從ヒ、自然界ニ己ヲ實現セシメントスルニ原因スルモノトス。サレバ「デイモクリトス」ノ機械的世界觀ニ對シ、彼ハ目的的世界ヲ唱導セシ者ナレドモ其ノ自然論ハ譬喩ヲ用キテ説明シ、神話ト學問トノ分界ヲ劃シ難シ。曰ク此ノ自然界ハ造物主ガ有邊ナル「イデア」ヲ以テ無邊ナル非有ト結合セシメタルニ由リテ成リ、之ガ合成ニ由ル最高等ノモノハ精神ニシテ、此ノ内部ニ備フル規則ニ從ヒ善美ヲ實現スル力ヲ有シ、自ら己ヲ動かスコトヲ得、又其ノ行動ニツキ意識ヲ有スルモノナリ。此ノ造物主ハ目的ヲ以テ主動的ノナ而シテ獨立自由ノ運動ノ存スル所ニハ必ズ精神在リ、世界ニモ世界ノ精靈在リ、星辰ニモ星辰ノ精靈在リ、人間動物植物皆斯ノ如クニシテ自然界ハ精靈ヲ以テ充滿シ、秩序的ニ組成セラルルモノナリト。故ニ「プラトーン」ハ宇宙ノ一大有機體タルコトヲ説クノミナラズ、汎心論ヲ唱導スル者トイフベシ。此ノ説ハ近世ニ至リ「ガリレイ」「Galilei」「ケイプレン」Keplerニ由リ機械觀ノ確立セラレシマデハ絶エズ歐洲思想界ヲ支配シタルモノナリ。十九世紀後中ニ於テモ「フエヒネル」Fechnerガ又類似ノ説ヲ

唱ヘタリ。「フエヒネル」參照。 即チ「プラトーン」ニヨレバ宇宙ノ精神ハ目的ヲ有シ、其ノ目的ハ數學ノ法則ヲ實行スルコトニ在リ。故ニ融合調和規則正シキコトヲ其ノ性質トナシ、之ニヨリテ自然界各部ノ秩序ヲ語ルコトヲ得ベシトナス。「ピタゴラス」「ガリレイ」「ケイブレ」參照

#### 第四款 國家論

### 第一項 心理論並ビニ道德論

#### 第一目 心理論

彼ノ心理論ハ、彼ノ道德論ト自然論トノ連鎖ニシテ、汎心的ニ自然ヲ觀察セリ。精神ハ元實有即チ「イデア」「Idea」ト非有即チ「メーオン」「Meion」トニヨリテ合成セラレタル最高等ノ現象ナリ。故ニ生成發達ヲナセドモ不死不滅ニシテ、常ニ自ら運動ヲ起シ得、活動竝ビニ思惟ノ機關タリ。「ゴエーテ」ノ貴族的精神不滅ノ觀念參照。精神ハ元非有ヨリ成レドモ身體ヨリモ遙カニ「イデア」ニ近シ。身體ハ此ノ精神ヲ繋グ牢獄ナリ。「ピタゴラス」參照 特ニ人間ノ精神ハ動物ノ心ヨリモ高尚ニ

Platon  
希臘美感ノ  
表現ナリ故  
ニ作品ヲ見  
レドモ落チ  
コボレタル  
石ノ破片ヲ  
見ズ



シテ不動有限ノ理想觀念ヲ識リ、且之ヲ活動ニ由テ實現シ得ルカヲ有スレドモ、尙非有ヲ交ヘテ成リ、身體ニ繫縛セラルルガ故ニ無限ノ欲心ヲ有ス。此ニ於テカ人間ノ精神ニハ三種ノ作用並ビニ之ヲ司ル三部分在リテ、内部ニ於テ相對立シ競争ス。其一ハ不定無邊ニツキ、偶然ノ要求ヲナス欲性ナリ。生死ヲ恐レ快樂ヲ求メ物慾情慾ノ存スルハ之ニヨル。其二ハ一定セル有限ノ道理ヲ達觀シ得ル理性ナリ。思フニ「アナクサゴラス」Anaxagorasノ「ヌース」Nousガ來リテ人間ニ宿リタルモノナリト評スルヲ得ベシ。其三ハ是等兩者ノ中間ニ立チ、理性ノ命令ニ從ヒ之ヲ標準トシテ欲性ヲ制馭スル斷行力又意氣ナリ。名譽ヲ重ンジ利益快樂ヲ抛チテ努力猛進セントスル勢力之ニ屬ス。斷行力ハ全ク理性ノ命令ニ服從スベキモノノ故、此ノ點ニ於テ自由力而シテ是等精神ノ各部分ハ其ノ身體ニ繋ガル部分ヲ異ニシ頭部ニハ理性ヲ宿シ、心臟附近ニ斷行力ヲ止メ、胸ヨリ下部ニ欲性ヲ藏スルモノトス。

### 第二目 道德論

皇國精神ト  
異ル所ハ常  
ニ智ヲ主ト  
スル所ニ在  
リ

支那ノ中庸  
參照  
佛敎ノ中道

道德論ハ骨子ハ正義ニ在リ、公平無私ニ存ス。精神已ニ此ノ種類ノ作用ヲナシ、又之ニ相應スル三種ノ部分ヲ有ス。此ノ各部ノ調和的關係ニ由リ心ノ作用ハ正當ナルヲ得テ徳トナル。先ヅ理性ニヨリ智ヲ明カニシ理想觀念ヲ實現セシムベキ命令ヲ誤ラザルトキハ智ノ徳ヲ有スルコトナリ、次ギニ斷行力ガ能ク理性ノ命令ヲ受ケ完全ニ欲性ヲ支配シ得ルトキハ勇ノ徳ヲ生ズ。眞ナルモノ善ナルモノ美ナルモノト、理性ガ見分ケタルコトヲ欲性ヲ通シ實現セシムルノ徳ナリ。次ギニ欲性ガ己ノ偶然ナル要求ヲ捨テ理性ニ從ヒ其ノ本分ヲ忘レサルトキハ節制ノ徳ヲナス。終リニ是等精神ノ各部分ガ圓滿ニ調和シ其ノ間ニ規則秩序ガ實現セラレツツアルトキハ精神全體ガ正義又ハ公平ノ徳ヲ現シツツアルモノナリ。故ニ正義ノ徳ハ各部分ノ諸徳ノ完全ナルヲ前提シ、是等ノ全キヲ得ルハ全體トシテ正義ヲ失ハザルニヨル。而シテ精神ハ個人ノ内部ニ於テノミ働クモノニ非ズシテ、各個人ノ精神相互ガ又更ニ大ナル一體トシテ働クベキ性質ノモノナルヲ以テ、社會ニ於テハ規則秩序アリ之ヲ支配スル正義公平ノ徳アリ之ト相待ツテ各種ノ徳ノ存スルモノトス。此ノ如クシテ彼ノ道德

「プラトーン」ハ凡テノ徳中最大ナルモノハ正義公平ナルニ在リトセリ。此ノ正義公平ハ現時ノ國法ヲ説クニ最モ大切ノモノタルハイフニ及バズ。日本ハ智仁勇トイフモ彼ハ仁ヲ説カズ。支那ニ於テモ仁義禮智信トイフモ彼ハ仁ヲ説カズ。是レ即チ後日基督教ガ「プラトーン」ノ學說ヲ押シ除ケテ現ハレ出デタル所以ナリ。

### 第二項 國家論

彼ノ國家論ノ特色ハ理想的ナルコトニ在リ。理想的ナリトハ實行ヲ離レテ空想ヲ説クノ謂ヒニ非ズ。斷行力ニヨリ實現センガ爲ニ理想觀念ヲ建テタルライフ。在來ノ國家社會論ハ「プラトーン」ニ至リテ理想論ニ高メラレタリ。凡テノ社會的知識ハ向上ノ爲ニ存セザルモノナシ。プラトーンハ殊ニ之ヲ意識シテ之ヲ大成シタル者ナリ。過去ヲ觀察シ現在ヲ分析シ其ノ智識ヲ明ラカニスルハ之ヲ利用シテ益向上進歩ヲ爲サンガ爲ナルヲ以テ多少ノ理想ヲ建設シ之ヲ前提トシテ爲サル分析並ビニ記載ハ眞ノ學問的智識トイフコト能ハズ。此ノ點ニツキ「プラトーン」ノ企ハ彼ノ精神不滅ノ說ノ如ク不死不滅ナルモノナ

現今ノ趨勢ハ徒ラニ理想ヲ在ルニ在ラズ。理想ヲ在ルニ在ラズ。

リ。(懷疑論參照)

現今ノ法學者等ガ理想ヲ嫌ヒ絶對ニ現在現實ノ儘ヲ分析シテ社會法律ヲ説明シ以テ其ノ職分ヲ盡セリト思惟スルハ誤ナリ。況ヤ現在ヨリモ尙退歩シタル思想ニ安立セントスルニ於テオヤ。

社會上ノ智識ヲ何ノ爲ニ分析シ記載スルカ、哲哲人ノ向上生活ノ必要ヨリ起ル。實際家ハ成ルベク容易ニ實現シ得ル理想ヲ立ツルヲ要シ、學者ハ大理想ヲ立テテ分析記載スルヲ當然トス。理想ヲ離レテナス分析記載ハ全ク無意義ナリ。吾人ハ無限ヨリ理想ヲ目當テトシテ之ニ都合ヨキ部分ヲ取出スノミ、只自己ノ理想ニ應ジテ之ヲ纏ムルノミ。吾人ガ昔ノ歴史ヲ記憶スルモ、只其ノ理想ヲ標準トシテ、無數ノ事實中ノ或モノヲ意識スルモノナリ。何故惡事ヲモ記憶スルカ唯轉ジテ善事トナサンガ爲ノミ。サレバ歴史ノ如キモ其ノ時代ノ國民ノ理想ノ現ハレナリ。又記憶ノ前提ハ盡ク理想ナリ。何カ理想的ノコトナルヲ以テ之ヲ記憶ニ存ス。法學ノ方面ニ於テモ理想ヲ標準トセズシテ研究シテ行クモ結局役ニ立たズ。タダ眼前ノ現實的ノ仕事ヲ爲シテ行クノミデ、何ノ爲ニ其ノ仕事ヲ爲スカヲ覺ラズシテハ結局ノ所ヲ誤ルコトトナル。

### 第一目 國家ノ概念

「プラトーン」ニヨレバ國家ハ多數ノ人間ノ活動ニヨリテ成ル、更ニ高等ナル統一的全部ニシテ至善ヲ大規模ニ實現セシムルコトヲ目的トナシ、コレヲ達スルニツキテハ自己ノ力ニテ事足ルノ大人ナリ。國家ハ人間ノ如ク精神作用ヲナシ、其ノ各部分ヲ有スル統一體ニシテ大ナル人格者ナリ。(故ニ、アリストテレイスハ有機體トシテ國家ヲ説明セリ)。「プラトーン」ニ從ヘバ此ノ國家ノ成立存在ヲ是認スベキ理由モ國家ノ最高ノ目的トスベキトコロモ同一ニシテ、共ニ人間ノ道德ヲ大規模ニ此ノ世ニ實現スルコトニ在リ。而シテ彼ノ目的論ヨリ推セバ此ノ目的ヲ缺クトキハ假令國家ノ形式ヲ備フルモ亦是認スベキ國家ニ非ザルナリ。固ヨリ此ノ種類ノ目的ヲ有スル大人格者ガ盡ク國家タルニ非ズ。各個人ノ集合ヨリ成ル統一的全部タルノミナズ、能ク自己ニ依リ自己ノ目的ヲ達シ得ル精神ノ主體ナラザルベカラズ。是等ノ説明ノ前半ニツキテハ已ニ「ディアレクタイク」Dialektikヲ説クニ當リテ述べタル所ナルガ、後半ニツキテハ特ニ理想國ノ組成及ビ政治主義トシテ之ヲ説カザルベカラズ。

「プラトーン」ハ唯現在存在スル國家其ノ儘ヲ皆善美ナヨトスルニ非ズ、あらしむべき本質ヲ

具備スル國家ヲ善美トスルノミ。理想ヲ閉却シテ現實的國家ヲ崇拜スルコトハ彼ノ精神ニ非ズ、徒ラニ權力ヲ是認スルハ彼ノ説ニ非ズ。

## 第二目 理想的政治論

「プラトーン」ノイデア論ニ根據シテ政治家ノ知識及ビ行動ヲ述べタル對話篇ハ「ポリチコス」Politikos(政治家)ナリ。政治家ハ「イデア」ノ知識ヲ備ヘタル者ナラザルベカラズ。而シテ其ノ政治ノ術ハ國家全體ハ調和ヲ保チ全部ヲ率キテ至善ヲ實現セシムルノ術ニ外ナラズ。故ニ國家政治ノ當否ハ第一段ニ上ニ立ツ者ノ賢人タルカ「ソフキスト」タルカニヨリ之ヲ判別シ得ベシ。國權ヲ總攬スル個人ノ多少ニヨリ國家政治ヲ區別セント試ムルモノノ如キハ徒ラニ第二段以下ノ形式ニ捉ハレツツ俗論ヲナスモノナリ。

### 第一 理想的政治

理想的政治ヲ行フ理想國ハ勿論多數政治ニ非ズ。道德上ノ責任ヲ負ヘル賢人ガ常ニ世界及ビ國家ノ理想ヲ知り正義ヲ誤ラズ指揮スルコトニ在リ、其ノ

天皇ノ御本  
質ヲ照ス  
神皇ヲ隨  
下ニハ人  
天ニハ上  
神ニハ現  
神我ヲ隨  
理想トス

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第五節 「プラトーン」 國家論 理想的政治 一九〇  
人數ニツキテ政治ノ良否ヲ區別スルノ必要ナシ。是等賢人ノ行動ノ價值ハ其ノ理想ニ在リ、其ノ知識ニ在リ、其ノ活キタル創設力ニアリテ、決シテ死シタル形式ノ人定法ニ盲從スベキコトニ在ラズ。人定法ハ人ヲシテ平凡ナラシムルモノナリ、賢人自身ノ尊ムベキコトハ到底法律ノ比ニ非ズ。若シ眞ノ賢人アラバ、人民相互ノ間ヲ律スルニモ亦法律ヲ要セザルベシ。活キタル正義公平ハ個個特定ノ場合ニ應ジテ最高キ善美ヲ實現スルモノニシテ、其ノ極致ハ一定不動靜止セル形式ニヨリテ豫定セラルベキモノニ非ズト。是レプラトーンノ「イデア」ガ外延ニ内包ヲ兼ネ、彼ノ善美ガ共通ノ形式ノミニヨリテ定マラズ、活力ニ富ムコトヨリ當然ニ來ルベキ結論ナリ。

賢人ガ人定法ノ束縛ヲ受ケズシテ行動スルヲ最良ノ政治トナシタリ。人定法ハ一定ノ形式ヲ作りシモノ故外延アリテ内包ナシ、形アリテ空シキモノナレバ、之ニヨリテ國家ノ總攬者タル者ガ束縛セラルルガ如キハ不完全ナルコト明ラカナリ。「イデア」ハ法文ニ書クコト能ハズ、只個個特定ノ場合ニ際シテ「イデア」ヲ實現スルニ在ルノミ。

## 第二 政治ノ種類。

理想的政治ハ人定法ヨリ上ニ賢人ヲ置キ、之ニヨリ正義公平夫自身ヲ實現セ

日本立國法  
ハ憲法トイ  
フニ定テ以  
神上ニ在ル  
神法ナリ

シムルニ在リ。然レドモ賢人ヲ得ルコト難ク、賢人存在スルモ之ヲ識別スルコト難ク、之ヲ識別スルモ之ヲ登用スルノ途ヲ開クコト困難ナリ。是故ニ人定法ヲ設ケ之ヲ標準トシテ知識アル者ヲシテ政治ヲ爲サシメザルベカラズ。政治家ガ人定法ノ拘束ヲ受クルハ模範的ノ國家ニ非ズ、又理想的ノ政治ニモ非ズ。然レモ以上ノ理由ニヨリ人定法無ク之ニ準據セザレバ、國家ハ形式的ニシテ理想觀念ヲ實現スルコト能ハズシテ、益々退歩シ政治ハ形式的ノ正義公平スラ現ハスコト能ハズシテ一層腐敗センハミ。此ノ理由ニヨリ國家政治ノ品質ノ優劣ハ先ヅ政治ト專擅政治トニヨリテ決セラルベク、兩者ノ各ニ就テ觀レバ時ヲ同ウシテ其ノ總攬者ヲ構成スル獨立單純人ノ人數ノ少キ程善ニモ強ク惡ニモ強キガ故ニ、此ノ所ニ至リテ初メテ總攬者ノ構成者ノ數ニヨリ政治ノ良否ヲ別ツノ必要ヲ生ズ。最モ善キ政治ハ法治的君權政治ニシテ、最モ惡シキ政治ハ專擅的君權政治即チ暴君政治ナリ。多數政治即チ民衆政治又ハ民權政治ハ法治的ナルモ著シク善美ヲ行ヒ得ズ、專擅的ナルモ甚ダシク正義公平ヲ害スルコトナク、最モ平凡ナルモノナリ。而シテ少數政治ハ兩種ノモノ共ニ一人政治ト多

數政治トノ中間ニ位シ、其ノ法治的ナルモノハ法治的民權政治ノ上ニ在ル貴族政治 Aristokratie ナリ、其ノ專擅的ナルモノハ專擅的民權政治ノ下ニ在リテ、尙暴君政治ノ上ニ在ル寡頭政治 Oligarchie ナリ。

### 第三目 理想的國家組成論

「プラトーン」ガ「ポリチコス」Politikos (即チ政治家)ニ論ジタルコトハ、一般論ニシテ間接ノ論ナレドモ、彼ハ其ノ盛時ノ名著 Politeia 即チ國家論(又理想國家論)又共和國論中ニ、全然正義公平ニ根據セル其ノ純粹ナル理想國ヲ畫キ、國家ノ組成ヲ論ジ又其ノ老年ニ及ビテハ Nomoi 即チ法律論ヲ著ハシ、「ポリタイア」Politeia ニ於ケル遠大ナル理想ヲ尙其ノ當時ノ事情ニ照シ實行シ得ルガ爲ニ、兩者ヲ結合スベキ小理想ヲ畫キタリ。

### 第一支 「ポリタイア」Politeia ニ於ケル理想論

國家ハ各個人ヨリ成レル統一的全部タル大人ナリ、故ニ組成セラレタルモノ

ナラザルベカラズ。然モ其ノ高尚ナル目的ヲ有シ、自己ノカノミニヨリ之ヲ達シ得ベキモノナレバ、其ノ組成モ亦之ニ適セザルベカラズ。

第一 國家ハ善美ナル理想觀念ヲ最高ノ標準トナシ、其ノ智識ニヨリ、正義公平ノ生活ヲ實現スルニ至リテ、完全ナルモノトス。之ニ適當スル制度ハ精神的貴族制度ナリ。當時「アテ」ネ及ビ希臘各國ハ極メテ小ニシテ、純然タル民衆主義ニヨリ、其ノ多數政治ノ制度ヲ建テタリ。「プラトーン」ハ其ノ小國ノ弊害ノ多大ナルヨリモ、「ライブニッツ」Leibnitz 參照民衆制度ノ缺點ノ現著ナルヲ見、無智者ノ規律ナキ行動ヲ排除シ、又無智者間ニ在リテ、其ノ詭辯ニヨリ自己ノ權勢利益ヲ得ントセシ「ソフキスト」輩ヲ擯斥シ、教育アル精神的貴族ヲ養成シ、人定法ノ形式的束縛ヲ受ケズシテ自由ニ其ノ理想ヲ行ヒ得ル完全ナル共和國ヲ建設セント欲セリ。當時貴族制ヲ採レル「スパルタ」Sparta 稍々彼ノ理想國ニ近キモノナリキ。

近世ニ於ケル法治國ハ、其ノ君權制度タルト民衆制度タルトヲ問ハズ、共ニ所謂自然法、理想法ヲ模範トシテ認定セラレタル國法ヲ有シ、自然法、理想法及ビ國

法ノ理法ニ通達セル精神の貴族ヲ選ミテ國家ノ治他表現人ヲ構成セシメ、國權總攬者ト雖モ濫リニ是等表現人ノ權限ヲ侵犯スルコトヲ得ズ。其ノ權勢ハ善美理法ヲ包容シテ普遍力ノ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ「プラトーン」ノ理想ノ實現セラレタル一段階ト見ルコトヲ得ベシ。然レドモ「プラトーン」ノ理想國ハ「ノモイ」Nomoiニヨレバ法治國ナレドモ「ポリタイア」Politeiaニヨレバ形式的ノ人定法ヨリモ寧ろ賢人ヲ重ンズルモノナリ。法治國ノ運用ガ認定法ノミニ依リテ爲サルヲ得ズ、眞善美ヲ達觀シ、正義公平ヲ實行スル人物ヲ待ツテ始メテ全キヲ得ベシトナセルハ、特ニ注意スベキ所ニシテ、實ニ「プラトーン」ノ遠見トイフベシ。何トナレバ完全ナル品質ヲ有スル表現人ノ發達ナクンバ、法治ハ全ク意味ヲ爲サザレバナリ。人定法ハ反ツテ障礙物ニ外ナラサレバナリ。（認定法ト表現人ガ相待ツ關係參照）而シテ「プラトーン」ノ當時ニ於テハ、人定法ト理想トハ懸隔著シカリシガ故ニ、彼ガ人定法ヲ輕視シ、特ニ賢人ヲ重視セルハ誠ニ故アリトイフベシ。

君權制ノ善キヲ言ヒツツ、何故貴族制ヲ採用セシカハ後ニ至リテ分明スベキガ、是レ日本ト

大ニ異ナル所ナリ。希臘ニモ日本ノ如キ君主アラバ、「プラトーン」ノ結論ハ必ズ異ナリシナラン。

「プラトーン」ノ缺點ヲイヘバ、其ノ理想國ハ市國ニシテ小サ過グルニ在リ、「ライブニツ」ハ世界統一ヲ理想トセリ、而シテ今日着着實行セラレツツアルノ傾向ヲ見ル。此ノ方面ヲ除ケバ「プラトーン」ノ實ニ偉大ナルハ争フ能ハズ。

第二 國家ハ自己ノミヲ以テ事足ルモノニシテ、自ら其ノ目的ヲ達シ得ベキモノナリ。「プラトーン」ガ多數ノ小國家ヲ合同シテ大國ヲ組成セント企テズ、又各國互ニ相待ツテ發達スベキ所以ニ重キヲ置カザリシハ缺點ナレドモ、國家ヲ以テ自己ノミニテ事足り得ルモノトセシハ極メテ正當ナリ。其ノ爲ニ國家ガ其ノ内部ニ精神ノ有ラエル方面ヲ網羅シテ獨立ノ存在ヲナシ、獨立シテ其ノ内部ノミニ於テモ其ノ目的ヲ達シ得ルコトヲ要ス。サレバ國家ニモ理性欲性及ビ其ノ間ニ有スベキ斷行カヲ具備セザルベカラズ。

抑モ「プラトーン」ニヨレバ精神ハ「イデア」Ideaト「メーオン」Meionトニヨリ成レドモ、尙理想界ト現象界トノ中間ニ立チ、「イデア」ヲ看取シテ之ヲ現象界ニ實現スルコトヲ其ノ任務トナス。此ノ宇宙的ノ事柄ハ、一個人内部ノ心理狀態ニモ現

ハレ、各人ニハ理性ト、欲性ト、前者ヲ採リテ後者ニ強ヒントスル斷行カト在リ。國家ハ個人ヨリ成ル全一ナレドモ個人ヨリモ更ニ大ナル精神的ノ存在ヲナシ個人ノ精神ニ該當スベキ三種ノ部分ヲ有ストナス。此ノ精神ハ實ニ彼ノ理想國論ノ骨髓ナリ。恰モ其ノ頃希臘ニテハ學問ガ隆盛ニ赴キタルノミナラズ、<sup>性理</sup>植民地ノ繁盛通商貿易ニヨリテ其ノ經濟狀態ヲ一變セシメ、經濟的原素ハ社會ノ一大動力タルニ至リ、<sup>性理</sup>同時ニ戰亂モ亦交、起リテ、強力ガ社會力ノ重要ナル部分ナルコトガ著シク證明セラレタルヲ以テ、<sup>性理</sup>斷行 彼ノ理性欲性及ビ斷行カノ心理說ハ最モ能ク社會組成ニ適合スルコトヲ意識セシメタリ。尙當時希臘ノ哲學者中ニ於テモ、イオニア<sup>性理</sup>植民地ノ「デ」モクリトスハ、原子ノ目的ナキ運動ヲ中心トシテ宇宙ノ機械觀ヲ唱道シ、<sup>性理</sup>欲 詭辯論者ハ自由偶然ナル權勢ヲ中心トシテ一種ノ自然法說ヲ立テ、<sup>性理</sup>斷行「アテ」ネ<sup>性理</sup>「ソ」ク「ラテ」スハ、理智ヲ中心トシテ社會ノ改造ヲ爲サザルベカラザルコトヲ教ヘタリ。<sup>性理</sup>此ノ原子ノ要求、強力タル權勢及ビ至高ナル理ノ三者ハ偶然ニモ其ノ頃希臘社會ヲ支配セシ各種ノ力ニ相應セシモノナリ。「プラトーン」ハ善美ヲ標準トセル精神ノ一大調和ヲ前提

印度古代ノ四姓參照ノ

國家ニハ血骨アリ、理想アリ

トナシ「ソ」ク「ラテ」ス<sup>性理</sup>ノ精神ニ據リツツ理性、斷行カ及ビ欲性ノ三者ヲ社會精神ノ各作用各部分ト認メ、自ラ技術家創設者ノ地位ニ立チテ其ノ理想ヲ畫カントセリ。(禪宗ノ三句三玄三要參照、客觀觀念論主觀觀念論及ビ實證論ノ三者對立參照、理、自由力及ビ需要ノ對立參照)

是ニ於テカ「プラトーン」ハ、統一的國家ヲ以テ治者階級ト職業階級トニ由リ組成セラルベキモノトセリ。治者ノ階級ハ理法ヲ司ル賢人即チ哲學者ト其ノ命令ノ斷行ヲ司ル役人即チ武士トヨリ成リテ、職業階級ハ國家ノ欲性ヲ現ハス農工商ヲ含ム。賢人ノ階級ハ決定命令者ナリ。農工商ノ階級ハ賢人ノ命令ニ服從シ、自己ヲ忘レズシテ財物ノ増殖獲得ヲ分擔シ、役人武士ノ階級ハ兩者ノ中間ニ在リテ賢人ノ決定ヲ受ケ、内ニ對シテハ農工商ヲ支配シ、外ニ對シテハ國家ヲ保護スベキ者ニシテ執行者ナリ。是等ノ三階級ガ圓滿ニ調和セラレテ、茲ニ完全ナル國家ヲ生ジ自己ノ力ニヨリ自己内部ニツキ徳ヲ完成シ得ベキ全部ト爲リ得ルモノナリ。(印度古代ノ四姓參照) 惟フニ現今ノ立憲國ノ如キハ、「プラトーン」ノ各階級ヲ更ニ圓滿ニ組成セシメタルモノニ外ナラザルナリ。自然ノ

理法ヲ尊重スルト共ニ益、權力ノ普遍的ナル斷行カタル所以ヲ確實ニシ出來得ル限り其ノ綜合分析ノ兩方面ヲ發揚シ、先ヅ各個人竝ビニ全部ノ需要ヲ是認スルニ至リシハ「プラトーン」ノ國家構成ノ三部分ヲ思フ存分ニ偏頗ナク是認シツツアルモノニシテ、差シ當リ法理上ニ於テハ理法ヲ以テ最高ト認メツツアルコトモ亦「プラトーン」ノ思想ト異ナルコトナシ。

自然ノ事實トシテハ理、自由力及ビ需要ノ三者カ前後ナク存在シ、見方ニヨリ何レモ他ニ優リ又他ニ劣ルモノトス。之ヲ認定上ノ事實トシテ見レバ、最小限度ノ國法ト最小限度ノ權力ト最小限度ノ財物竝ビニ維多ノ要求トハ相互ニ上トナリ又下トナルモノナレドモ、唯理法ノ筋道ノ研究ヨリ觀レバ、以上ノ前提ノ下ニ第二段ニ於テ理ガ最高ナルモノナリ。

印度ノ婆羅門教時代ニハ、王者武士ヨリモ此ノ婆羅門族ガ一番上位ニ在リキ。故ニ權力ノ拘束ヲ受ケズシテ十分ニ信仰並ビニ哲理ノ發達ヲ成ヌヲ得タリシナリ。

第三 國家ハ各個人ヨリ成レドモ夫自身統一的全部ヲ爲ス。是故ニ國家ニハ組成アリ、此ノ組成分子タル各個人ハ其分ニ從ヒ公平無私ナラザルベカラズ。

其ノ司ル所ニ應ジ個性ノ偶然ヲ棄テテ全部ニ歸一セザルベカラズ。而シテ最も公平無私ナルコトヲ要スルモノハ治者ノ階級ナリ。是故ニ此ノ制度モ治者ノ階級ト職業階級トニ從ツテ異ナラザルベカラズ。是等ノ階級ニ分ツコト能ハザル多數政治ノ國ハ缺點アル國家ナリ。各個人特ニ治者ノ階級ヲシテ公共心ヲ有セシメ國家ノ一體タル所以ヲ發揚スルニハ二方面ヨリスルモノナリ。

一 其一ハ各個人ノ主觀的狀態ノ改善ナリ。先ヅ治者階級ニ屬スル賢人竝ビニ武士ヲシテ其ノ私心ヲ捨テシムルニ在リ。賢人ハ其ノ私ヲ捨テテ智ノ徳ヲ養ヒ公平ニ命令シ、役人及ビ武士ハ我ヲ捨テテ其ノ命令ヲ聞キ私ナク之ヲ實行スル勇ノ徳ヲ養ハザルベカラズ。農工商ハ其ノ私ヲ去リタル根據ノ上ニ其ノ私ヲ主張スルコトヲ要スルガ故ニ常ニ賢人ノ命令ヲ聞キ武士役人ノ支配ノ下ニ立チテ自己ノ要求ヲ制限シ又自己ノ行動ヲ規律セザルベカラズ。故ニ其ノ研クベキ徳ハ節制ニ在リ。

二 其二ハ客觀的ノ手段ニヨリ公平無私タルコトヲ得セシメ、正義ヲ實現セントスルモノニシテ、又主トシテ治者階級ニ關スルモノナリ。先ヅ其ノ社會制



各人ノ生産  
ハ其ノ表現  
者タルノミ

男女アルハ  
普通性ノ維  
持發達ノ爲  
想實現ト爲  
ナリ

人間ノ繁殖  
トテモ男ヨ  
リテモ男ヨ  
リテモ男ヨ  
ル方ガ速ク  
此點ヲ古ノ  
一夫多妻制  
ハ正當ナリ  
キ

度ニヨルモノハ賢人武士ノ階級ニ財産ノ私有ヲ嚴禁シ自己ノ家族ヲ有スルヲ許サズ。國家ノ智勇ヲ分掌スル者ニハ兼テ財力ヲ蓄ヘ私ヲ營ムヲ認メザルニ在リ。衣食竝ビニ活動ノ具ハ共有ニシテ第三階級ヨリ供給ヲ受ケ國家ノ命ズル所ニヨリ精神身體ノ兩方面ニ於ケル理想人ヲ産マシメントスルモノナリ。ナレバ國家ノ各階級ハ始メハ人格者ノ性質及ビ價值ニヨリテ定マレドモ出生ニヨリ理想的ノ階級ヲ構成センガ爲ニハ世襲的階級ヲ認メザルベカラズ。(「ニイチエ」ノ超人參照) スクノ如クニシテ國家理性ノ表現人ハ權勢利益ニ超然トシテ「イデア」ト交通シ得是等ニヨリ壓制セラルルコトナク又是等ニ誘惑セラレテ「イデア」ノ觀察ヲ誤ルコトナク斷行力ノ表現人モ亦利益情欲ニ超越シ合理的ノ行動ヲ完ウシ得ベシ。私心ハ萌ス第一歩ハ財物及ビ家族ヲ私有スルコトニ在リ。故ニ全ク私心ヲ捨テシメント欲セバ是非共プラトーンノ計畫ニ從ハザルベカラズ。但シ絶對ニ私心ヲ捨テシムベキコトノ能否及ビ可否等ノ問題ニツキテハ自ラ別論ニ屬ス。

「プラトーン」ハ賢人ヲ最上級ニ軍人ヲ其ノ次ニシテ第三階級ヲ回滿ニ支配セントセリ。此

ノ賢人武士ハ全ク私心ナキ表現人ヲイヒシナリ。若シ私ノ心ヲ有スレバ理又ハ武力ノ專制トナリ終ラン。理ハ最高ナレドモ之サヘ專制ヲ認メズ。此ノ點「ニイチエ」Nietzscheノ超人トハ較ベモノニナラズ。

之ヲ歴史上ノ事實ニ顧ミルニ、一 彼ノ理想ハ中世ノ僧侶階級、基督教ノ武士階級竝ビニ俗人階級ノ發生ヲ助ケ僧侶政治ヲ以テ理想ト爲サシメ俗人以外ノ階級ニハ財産ノ私有ト家族生活トヲ捨ツルコトヲ要求セシメタリ。二 又近世ニ至リテハ彼ノ理想ク如ク立憲制度ノ發達ノ前驅トシテ表現人ト獨立人トノ混合セル特徴アル健全ノ官僚政治ヲ發達セシメ。三 立憲制度ニ至リテハ純粹ニ私ナキ表現人ガ確定セラレ表現人ノ内部ニ於テモ治他表現人ト自治表現人トノ分岐ヲナシ之ニ伴ウテ獨立人ノ公平無私ノ關係ガ一層緻密ニ分析セラレ純粹ニ實現セラレツツアリ。此等ハ皆プラトーンノ豫言ニ合スルモノトイフベク彼ノ理想ガ即チ人類普遍我ノ理想タリ彼ノ觀念ガ正シキ理法ノ普遍的觀念タルコトヲ證明セルモノトイフベシ。四 其ノ他近世ノ初期ニ於テトマス、モールス、Thomas Morris「トーマス、カム、バネラ」、Thomas Campanella「ンプラ

近キ社會主義ノ祖

トインヲ利用シテ理想郷ヲ鼓吹セント試ミ又近代ニ至リテハ「プラトーン」ノ財產共有ノ無私ナル方面ヲ社會全部ニ擴張シ、財産上ノ專制ヲ打破セント試ミシモノアリ。「ヤーヴェス」August Bebel (1810-)「ヤー五 終リニ彼ノ治者ノ人格改善ノ理想ノ如キハ自ラ各人ノ理想トシテ生存競争ノ間ニ行ハレツツアルノミナラズ、特ニ歐羅巴ニ於テハ王者ノ結婚ニツキ引續キ嚴格ニ行ハレ、人民ヨリ超越シタル王族階級ヲ形成セシメタリ。此ノ當否ハ暫ク之ヲ措クモ此ノ事實ノ實現セラレタルハ注意スベキ事項トナス。

「プラトーン」ノ學說ガ思想界ニ對シテ如何ニ影響ヲ與ヘシカハ後代ニ至ルニ從ヒ社會上ニ實現セラレタルヲ見テ知ルベシ。基督教發達シテ僧侶ノ階級嚴格ニ行ハレシハ「プラトーン」ノ思想ニ負フ所少ナカラズ。官僚政治亦然リ。歐洲特ニ獨逸各國ノ立憲制ハ、人物宜シキヲ得タル立派ナル官僚政治先ツ起リテ後ニ成立スルヲ得タルモノナリ。又「プラトーン」ノ精神ハ立憲國ニ至リテ着着實行セラレツツアリ。

次ニ教育制度ニ依ツテ公平無私ノ心ヲ養ヒ、客觀的ニ公平無私ノ行動ヲ爲シ得ベキ能力ヲ與ヘントスルコトモ、特ニ賢人及ビ武士ノ階級ヲ目的トスルモノナレドモ、歸スル所之ニ依ツテ、國家全部ヲ道德ノ實行所トナシ、教育所ト爲サン

トスルニ在リ。國家ノ命令ニヨリ擧ゲラレタル子ハ、男女共ニ幼ニシテ其ノ父母ノ許ヲ去リ國家ノ教育所ニ入りテ學問ヲ修メ、終リテ實務ニ服シ、齡五十二達スルニ及ビ初メテ賢人ノ階級ニ入ル。男女ハ同等ニシテ女子モ男子ト等シク公務ニ従事シ、兵役ニ服シ得ベク、賢母健婦ニ非ザレバ理想人ヲ産ム能ハザルガ故ニ特ニ婦人教育ヲ獎勵セリ。歐洲中世ノ武士ガ女子ノ擁護ヲ以テ誇トナシ又歐洲ニ於ケル婦人ノ地位ヲ高メタルコトニハ大ナル影響ヲ與ヘシモノニシテ近代ノ婦人教育ノ勃興ノ如キモ皆此ノ精神ニ合スルモノトイフヲ得ベシ。

以上ハ國家ノ本質ヲ各方面ニ對シテ完全圓滿ニ發揚シ得セシムベキ組織ヲ有スル所ノ理想國ナリ。此ノ以外ノ組織ヲ有スル國家ハ不完全ニシテ、例ハバ比較的價值アル武力ヲ中心トセル貴族政治ハ、武力ガ財力ヲ私スルト共ニ次第ニ財力政治トナリ、平民中ノ財產家之ニ加入シテ、終ニ財產ヲ標準トスル寡頭政治トナリ、寡頭政治ハ又無規律淺薄ナル平民群集ノ政治ニヨリ代ラレ、コノ暴民政治ハ其ノ中ヨリ政黨ノ首領出デ變ジテ暴君政治トナルモノナリ。是等ニ對シテ改善ノ標準ト爲リ、向上ノ理想ト爲リ、唯一不動ノ組成ヲ有シ、益發達スルモ

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第五節 「プラトーン」國家論 理想的組成 二〇四  
ハ、理想國トナス。然レトモ理想國モ亦イデア界ノ實現ヲ目的トスルハ點ニ於テ價值アルモノナレバ不死ノ精神ガイデアニ復歸セントスル要求ハ最モ神聖ナルモノナリ。此ノ點ハ後代基督教ガプラトーント握手セント試ミタル要點ナリトス。

### 第二支 「ノモイ」Nomoiニ於ケル理想論

「プラトーン」老後ノ著「ノモイ」法律論ニ於ケル國家論ハ理想ノミニ執着セズ正義公平ノミニ偏セズ緩和主義ヲ採リ節制ニ基ヅキ其ノ當時ノ希臘小國ニ實行サレ得ベキ社會ノ組成ヲ論ジタリ。詳言セバ先ヅ正義公平ノミヲ根據トシテ嚴格ニ之ヲ實行スルニハ人ヲ得ルノ困難在ルノミナラズ一切ノ過度ヲ避クル目的ヲ以テ之ヲ緩和シ「イデア」ノ理想論ノ極端ナルコトヲ證ス。次ギニ三階級ニヨリ表現セラルル三社會力ノ嚴格ナル分立竝ビニ治者階級ノ專制ヲ緩和シ又全部普遍ヲ見テ部分ヲ見ザルノ傾向ヲ緩和シ社會ノ獨立ニ對シテ稍個人ノ獨立ヲ認メントセリ。斯ノ如キハ凡テハ善美ナル主義ヲ拋擲シタルニ非ズシテ根本的

標準ニ基ヅキ反對ノ主義ヲ轉ジテ理想化セシメ中庸ニヨリテ理想的ノ包括制度ヲ建テント試ミシモノナリ。主義無クシテ徒ラニ各種ノ制度ヲ混合セントセシモノニモ又ハ混合政體ヲ主張セシモノニモ非ズシテ包括制度ヲ唱ヘシモノナリ。現今ノ立憲制度ハ即チ此ノ種ノ包括制度ノ發達セルモノニ外ナラズ。蓋シ「ヘーラクライトス」ヨリ「デーモクリトス」ソークラテイスニ至ルマデ終局スル所皆多少真空中道ノ精神ニ到達セザルモノ無カリシガプラトーンモ亦年ト共ニ其ノ熱烈ナル理想ヲ有シツツ此ノ所ニ到達セリ。是レ「ノモイ」ニ於ケル彼ノ國家ハ小理想ナレドモ尙「ポリタイア」ノ理想國ニ對シテ特殊ノ價值ノ存スル所以ナリトス。

第一 此ノ論ニ從ヘバ特定ノ治者ノ階級ノミヲシテ國家ノ表現ヲ專ラニセシムルコトナク。國內ニ於ケル性質ヲ異ニセル各階級ヲシテ均衡ヲ旨トシ相待チテ全部ヲ表現セシムルコトトセリ。此ノ目的ノ爲ニ總體ノ自由公民中ヨリ殊ニ才能アリ財産上ノ資格アル者ヲ選ビ政治裁判其他ノ公務ニ參セシメ



ナキ内國人ニ委スルヲ以テ足レリト認メタリ。

男女ノ存在スル所以ハ「ポリタイア」ニテハ理想ノ實現ニ基ツクトセリ其ノ精神ヲ汲ミテ見レバ「ノモイ」ニテハ男女ハ人間ノ普通ノ性質ヲ保障シ行クモノナリ故ニ結婚ハ何人モ之ニ參加セザルベカラズトナセリ。

「プラトーン」ハ美ノ感じヲ以テ充チタレドモ美ノ極致ヲ理想界ニ於テ見タリ。サレバ其ノ理想界ガ非有ニヨリテ現ハレタル此ノ世界ノ事物ハ完全ナル美ニ非ズ。是等ノ不完全ナル事物ヲ感覺ノ上ニテ模寫シタル美術、此ノ不完全ナル事物ヲ謳歌スル詩歌ノ如キモノハ不完全ヲ上塗りスルモノナリ。故ニ詩人美術家ハ無用ノ長物ナリ。宜シク世人ヲシテ是等ヲ去リテ理想界ヲ觀念スルコトニ専ラナラシムベシトイヘリ。

### 第五款 結論

#### 第一項 國家論ノ結論

「ノモイ」Nomoiニ於テモ「ポリタイア」Politeia「ポリチコス」Politikosニ於ケルト等シク宗教的美的感想ヲ根據トナシ且其ノ全體ヲ貫キテ先ツ國家自身ヲシテ最も善美ナル生活ヲ實現セシメ普遍我ヲシテ其ノ悟ヲ實行セシメントスル精神ノ充溢セルヲ見ル。

所謂折衷論者ノ妄評ハ當ラズ

第一 彼ハ普遍我ハ表現者トシテ主觀的ニ大小ノ理想ヲ立テ之ヲ實現セシムト欲スル精神的大技術家ナル故ニ客觀的ニ國家ノ發達變遷ヲ分析シタダ冷靜ニ之ヲ敘述スルコトヲ仕事トセルモノニ非ズ。是レ「プラトーン」ノ缺點ニ非ズシテ彼ノ哲學ノ當然ノ屬性ナリ。而シテ彼ノ設定シタル理想ハ彼一己ノ理想ニ非ズシテ人類普遍我ノ普遍的理想タルガ故ニ彼ノ後今日ニ至ルマデ絶エズ實現セラレツツアル所トス。

此ノ點ニツキ「プラトーン」ヲ攻撃スルハ「獅子ハ強キモ河ニ陥レバ溺死ストイフガ如シ。獅子ニ鱈ナキハ當然ナリ。

第二 宗教的美的精神ハ彼ノ哲學ノ根柢ニシテ又彼ノ國家論ノ前提ナリ。先ツ各個人ノ差別ニ執着スルコトヲ打破シ普遍全部ノ調和善美ヲ建設セントスルニ切ナルガ爲ニ分子タル各個人各個人ノ獨立我ハ全部ニ吸收セラレタルノ觀ヲ呈ス。各個我ハ終始國家ニ對スル義務有レドモ國家ニ對スル確實ナル權利ヲ有セズ。參政權等ノ公權ハ無キニアラザレドモ少クモ自由權ヲ有セズ。國權ノ干涉ニ對シテ自由選擇ノ餘地ヲ存セズ。「各人ノ絶大ナル自由ヲ認メナ

ガラ之ヲ以テ反ツテ、國家ノ無限ナル調和善美ヲ發揚セシメントスル原理竝ビニ制度ハ尙完全ニ分析セラレザリシモノナリ、是レ思フニ彼ノ缺點ナリ。表現ニ自洽組織ノ性質ニ想到セズ

第一段ニ於テハ元ヨリ、第二段ニ於テモ各人ハ國家ニ對シテ自由選擇ノ權ナシ。國家ヲ完成スルハ義務ナレドモ、之ニ對シテ有スル獨立ノ權ナシ。尙明ラカニ今日ノ如キ自由權ナク、國家ニ對シテ獨立ノ存在ヲナセル方面アルコトヲ認メザリキ。

彼ノ「イデア」論ニ附テナリ

然レドモ、プラトーンガ個性ノ獨立ヲ認メザリシハ、個性ノ抑壓ニ非ズ。「イデア」論ニ基ヅキ之ヲ一貫セントナシタルガ爲ノミ。彼ハ個人ノ價值ヲ知ラズ權利ノ何タルラ覺ラザル「古代ニ在ツテ個人ノ不滅ナル精神ヲ「イデア」ノ愛兒トナシ「イデア」ノ權化トナシ其ノ内心ノ深キ命令ニ從ヒ行動スベキヲ説キタリ。彼ハ世界ノ三方面即チ「イデア」ト現象界及ビ精神ノ三者ガ亦個人ノ中ニ其ノ儘存在シ、理性、斷行力、欲性ノ對立存在ヲ説キ其ノ圓滿ナル調和ヲ要求シタリシナリ。個人即チ小世界タルコトヲ認メタルナリ。然モ各獨立單純人ノ不羈獨立ナル自由生活ヲ轉ジ其ノ儘之ヲ國家ノ自由生活トナスニ至ラザリシハ、當時ノ社會

來現ト表現トハ嚴別スベシ

發達ノ状態ニヨリテ然ルノミナラズ、又實ニ彼ノ「イデア」論ノ當然ノ論決ニ外ナラザルナリ。各個人ハ即チ普遍我ノ表現者ニ非ズシテ、實有タル普遍我が非有ト合シテ各個ヲ現ハシツツアルナリ。故ニ各個ヲ見ルモ實ハ全然普遍ヲ見ルノミ、「イデア」ヲ見ルノミニシテ、更ニ各個ヲ見ルモノニ非ズ。各個ヲ透シテ初メテ普遍ヲ見ルニ非ズ、各個無クトモ其ノ各個ニヨリ存スル普遍ハ、絕對ニ獨立シテ存在スルモノナリ。各個ノ自由發達ハ全然普遍ノ發達ノ結果ニシテ、更ニ各個獨立ノ發達ヲ要スルモノニ非ズ。各個ノ自由發達ヲ通シテ初メテ普遍ノ自由發達ヲ見得ルモノニ非ズシテ、各個ノ自由發達ナクトモ其ノ各個ヲ通シテ普遍ノ自由發達スルガ如ク見ユルモノガ、絕對確實ニ獨立シテ存在スルナリ。要スルニ彼ハ、普遍ト各個トノ間ニ來現ノ關係ヲ認メタレドモ、未ダ表現ノ關係ヲ認メザリシモノニシテ、此ノ形式ガ國家ノ上ノ普遍ト各個トノ間ニモ應用セラレタルモノナリ。

國家ト個人トノ間ニ無理ガ存シタルガ、是レ實ニ「イデア」論ノ無理ナリキ。元來普遍ハ個物ニヨリテ表現セラレ全部ハ部分ニヨリ表現セラレテ存在シ、其ノ部分ヲ通シテ全部ヲ見得ル

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第五節 「プラトーン」 結論 國家論ノ結論 二二二  
ハミナリ。然ルニ「プラトーン」ノ「イデア」ハ凡テヲ離レ、現象ヲモ離レテ、獨リ絕對ニ存在スルモ  
ハトセリ。故ニ個個特定ハ「イデア」ヲ來現ナリトセリ。(佛敎ノ如來トハ來現ノ意味ニシテ、眞  
如ガ來リ現ハルルモノト見タルナリトノ説アリ)是レ後ニ「アリストテレス」ノ攻撃シ來ル點  
ナリ。

之ヲ要スルニ彼ノ國家論ニ於テ、全部對部分關係ヲ明ラカニセル長所ハ即チ  
「イデア論」ノ長所ニシテ、「イデア」ニ適ヒタル理性ノ發揚ヲ欲シタル選ハ極メテ正  
當ナルモノナリ。全體ノ善美ヲ、最小限度ノ要件トナシ、最大限、變ノ要求トナシ、  
之ニ由リ各個人ノ發達ヲ全ウセシメント企テ、全部ノ調和ヲ破リテ、孤立セント  
スル個人ノ自由ヲ排斥シ、自愛心ニノミ執着スル風潮ヲ打破シ、個個ノ偶然ヲシ  
テ普遍美ヲ發揚セシメントスルニ切ナリシハ、彼ノ特長ナリトス。  
第三 終リニ「プラトーン」ハ一國ノ範圍ヲ偶然ナル小市ニ止メ、少クモ一人種  
ヲ統括スル大國或ハ進ンデ世界國ノ建立ニ議及セザリシハ、確カニ彼ノ缺點ナ  
リトス。然レドモ是レ亦彼ノ「イデア論」ニ伴フ潔癖ヨリ來レル當然ノ結果ナリ。

### 第二項 「イデア論」ノ批評

彼ノ國家論ノ長所ハ、歸スルトエロ其ノ根柢タル「イデア論」ノ長所ニシテ、國家  
論ノ缺點ハ即チ「イデア論」ノ缺點ナリ。「イデア論」ノ缺點ハ「イデア」ヲ以テ孤  
立セル、絕對ノ實有ト説クノ點ニ在リ。

#### 第一 短所。

一 先ヅ、彼ハ、絕對ニ「イデア」ヲ定義シ得ベキモノトセリ。然レドモ、數學ハ、抽  
象的觀念及ビ或範圍ニツキ、認定ニヨリテ設ケラルベキモノヲ、除クノ外、絕對ニ  
定義シ得ラルベキモノナシ。事物ハ固ヨリ絶エズ變遷スル差別獨立ノ方面ヲ  
有ス。故ニ此ノ普遍ヲ表現スル方面ヲ根據トシテ、尙或程度ニツキ、其ノ事物ヲ  
觀念スルコトヲ得ベシ、然カモ其ノ普遍ハ差別變遷ノ知覺ヲ通ジテ表現セラレ  
ツツアル普遍ナルヲ以テ、其ノ物ニ動カスベカラザル定マレル意義ヲ與フルコ  
トヲ得ザルモノナリ。現在又ハ現在ノ差別ノ背後ニ存在スル普遍ノミニテハ  
未ダ充分ナル普遍ニ非ズ。過去、現在、及ビ將來ヲ通ジテ有ラユル差別ニヨリ表  
現セララル、無差別ヲ見出スニ非ザレバ、確實ニ普遍ノ存在ヲ定義シ得ザレバナ  
リ。

畢竟三論圖  
歸一アス  
故ニ一ハカ  
變遷論者ニ  
シテ





之ヲ連絡スルコトハ少クモ世界ノ終結ヲ待タザレバ不可能ナリ。學問ハ然ク  
絶對的客觀的ノモノニ非ズ。深ク主觀的方面ノ根柢ニ於テ存在シ生活經驗ニ  
ヨリ鍛鍊セラレテ意識ニ高メラレ得タル眞ニ不動普遍ナル宗教的道德的美的  
要求ニ安立シ之ト相待ツテ客觀的ノ觀察ヲ爲スベキモノナリ。(第一卷學ノ概  
念參照外部ハ動クベシ絶對ニ非ザル普遍ハ其ノ表現者ト共ニ變化シ得ベシ。  
然シ熱誠ニヨリテ現ハサルベキ内部ノ要求内部ノ眞面目ニ變化アルコトナシ。  
此ノ内部ノ要求ヲ率先シテ著シク意識シ之ニヨリ學問ノ一大系統ヲ立テント  
セシ者ヲソークラテーストナス。此ノ師ノ感想ニ忠ニシテ學識トシテ之ヲ實  
現シ現ニ雄大ナル系統ヲ建立シタルモノハプラトーンナリ。此ノ活精神ヲ解  
スル者ニ對シテハ其ノイデア論ノ形式的ノ缺陷位ノコトハ然ク重要ナルモノ  
ニ非ザルベシ。

自然トイフハ客觀世界ノミニ非ズ主觀世界モ亦自然ナリ。元來主觀存  
在ヲ是認スルガ故ニ客觀存在アルナリ。主觀ヨリ見テ客觀在ルナリ。然  
ルニ主觀世界主觀存在ヲ忘レ客觀世界客觀存在ノミヲ唯一絶對ノ世界存

在ト考へ純客觀的ニ學問ヲ建設セントスルハ誤解トイハザルベカラズ。

### 第六節 「アリストテレース」

#### 目次

##### 第一款 總說

###### 第一項 歴史上ノ地位

###### 第一目 概說

###### 第二目 「プラトーン」ノ哲學ニ對スル「アリスト テレース」ノ批評

###### 第三目 哲理ノ要點

###### 第二項 哲學ノ體系

###### 第二款 論理學及ビ實在原理論

###### 第一項 論理學ノ要領

###### 第二項 實在原理論

- 第一目 範疇論
- 第二目 本體論
- 第三目 形式質料ノ論
- 第四目 一神ノ論
- 第三款 自然哲學(物理論)
- 第四款 國家論
  - 第一項 道德論
  - 第二項 國家ノ概念
  - 第三項 國家形相論
    - 第一目 總說
    - 第二目 權力分配ノ標準
    - 第三目 最良ノ國家形相
      - 第一支 總說
      - 第二支 模範的政體

- 第三支 實際的政體
- 第四項 國權分類論
- 第五項 革命論
  - 第一目 要旨
  - 第二目 論評
- 第六項 結論

### 第一款 總說

#### 第一項 歷史上ノ地位

##### 第一目 概說

「ソクラテース」ノ活キタル感じニ歸一シ其ノ中ニ自然哲學ノ玄理ヲ現ハシ、深遠ナル「イデア」論ヲ唱導シタル者ヲ「プラトーン」トナシ、其ノ教ヲ受け個物ヲ捉ヘテ其ノ中ニ先人ノ研究ヲ描出セント試ミタル者ヲ「アリストテレス」トナス。

「アリストテレス」ハ年齒十八ニシテ「プラトーン」ノ門ニ入り、師ノ歿スルマデ在學セリ、其ノ間二十年ナリ。然レドモ彼ノ父ハ醫師ナリシガ故ニ、幼時ヨリ其ノ影響ヲ受ケ、自然科學ニ趣味ヲ有シタリシモノノ如ク、「プラトーン」ノ門下ニ在ル頃既ニ師ノ「イデア」論ニ服スルコト能ハズシテ攻撃ノ矢ヲ放チ始メタリ。勿論「アリストテレス」ノ「アリストテレス」タルヲ得タルハ、「プラトーン」ノ雄大ナル思想ノ根據ノ上ニ立チテ、古來ノ諸說ヲ調停シタリシガ爲ナレバ、「プラトーン」ナケレバ、「アリストテレス」ナク、「プラトーン」ノ思想ヲ會得セザレバ、「アリストテレス」眞ノ地位ヲモ知り得ベカラズ。

彼ハ「プラトーン」ヲ中心トシテ之ト「デモクリトス」トヲ調和シ、又「プラトーン」ト「アンチステネース」トヲ融和セリ。「プラトーン」ヨリ出デテ其ノ師ノ弱點ニ甘ンゼザリシハ善ケレドモ、其ノ師ノ長所ヲ充分ニ咀嚼シ得ザリシ點ニ於テ、彼ハ「アカデミー」派ニ屬スル者ニ非ズ。

譬ヘバ「アリストテレス」ヲ以テ奇妙ナル運動ヲナス生物ヲ製作セシ者トスレバ、之ニ人間ノ有スベキ向上的精神ヲ吹キ込ミタル者ハ「プラトーン」ナリトイフベシ。

來現關係ト  
發現關係ト  
ノ差

第一 「プラトーン」ハ宗教的、美的、感想的、ニ富ミシノヨナラズ、特ニ數學ニツキ深キ趣味ヲ有シタリシガ故ニ、數學ニ於ケル數ノ公式特ニ形體ガ偶然ナル材質ヲ離レ、純乎トシテ現ハレ來ルガ如ク、世界ノ萬物ノ純乎タル「イデア」ヲ直覺シ得ベシト感シタリシナリ。然ルニ「アリストテレス」ハ生物學者ナリ。彼ニヨレバ世界ヲ動カス目的並ビニ力ハ少クモ世界自身ノ中ニ在リ。人間ノ目的ハ個個人間中ニ内在シ、其ノ以外ニ超越シテ存在スルモノニ非ズトセリ。「プラトーン」ハ「イデア」ヲ以テ特殊ノ現象外ニ超越シテ存在セルモノトナセシガ、「アリストテレス」ハ特殊ノ現象中ニ共通ノ存スルコトヲ認め、特殊ヲ以テ實在トナシ、共通ヲ以テ其ノ物ノ本質トナセリ。

之ヲ換言セバ「プラトーン」ハ「ソクラテース」ノ精神ヲ分析シテ、特ニ事物ノ來現關係ヲ説キタル者ナリ。來現關係ハ「イデア」ノ一部分ガ非有ヲ假リテ、現象界ニ現ハレツツアルモノナレバ、發現關係ニ等シキ點アレドモ、部分ガ獨立ノ存在ヲナシ、獨立ノ價值ヲ有シツツ、全部タル「イデア」ト相對立スルモノニ非ザルヲ以テ又異ナル所アリトス。



尙歸一スルモノト見レバ表現歸一ノ關係トナル。

「アリストテレイス」ハ普通ヲ認メザルニ非ズ、唯共通ノ所ニ普通ヲ見タリ、共通ヲ直チニ普通トセリ、故ニ直チニ矛盾スルニ至ル。共通ノモノヲ個個ヨリ抽出シテ本質トスルモ正シカラズ、否、個個ノ物其ノ儘ガ、皆普通ヲ表現セリト見ザルベカラズ。只個個ノ物ハ其ノ表現ノ程度ヲ異ニシテ統括階級ヲナシテ存在シ、馬鹿モ利口ノ者ニ統括セラレテ、靈妙ナル人間トナルガ如シ。之ニハ先ヅ以テ普通ノ存在ヲ見ザルベカラズ。「アリストテレイス」ガ抽象セシ概念ヲ普通ト見タルハ未ダ達セザル點ナリ。

第二 然レドモ個在論者ノ「アリストテレイス」ハ其ノ獨得ナル論理的頭腦ヲ有シ、彙類編纂比較ノ能力ニ長ジ、古來發達シ來リタル哲理ヲ綿密ニ排列シ、確實ナル大系統ヲ立テ其ノ系統上尙缺ケタリシ學問ハ新ニ之ヲ組成セント試ミタリ。斯ノ如クシテ古來ノ論理ノ術ハ、現今ニ至ルモ尙一般ヲ支配シツツアル所ノ論理學ニ高メラレ、又比較研究ニヨリ心理學、生物學、動物學、文學史、政治學及ピ考古學ヲ設ケタリ。是ニ於テ彼ノ學校ハ、當時哲學科學ノ有力ナル中心點トナリシノミナラズ、實ニ歐洲近世ノ學風ヲ定メ、之ニ用キラレタル術語ヲ作りタリ。斯クシテ比較的實驗的研究ヨリモ直觀ヲ重ンゼシ東洋ノ學風ト著シク異ナラ

シムルコトトナリタリ。「アリストテレイス」モ亦偉大ナルカナ。

今日ノ歐洲ノ實驗的ノ學問ハ希臘ニ於テ起リタリ。「プラトーン」モ大ナル貢獻ヲナシタリシモ、經メタリシハ「アリストテレイス」ナリ、彼ハ大系統ノ下ニ統括シタリキ。故ニ實驗的自然科學ニ心酔シタル人ハ「アリストテレイス」ヲ一番偉キ者トナスナリ。

第三 「アリストテレイス」ハ「プラトーン」ノ如ク人間ノ表現者トシテ有セシ内部ノ熱誠ニヨリ理想ヲ立テタル者ニ非ズ。然カモ其ノ冷靜ナル比較研究ニヨリ生物ノ種類ノ關係ニツキテ概念ヲ確立シ、又始メテ發達。テフ概念ヲ用キタリ。而シテ是等ハ彼ガ普遍ノ概念ニツキ有シタル缺點ト合シテ、長ク歐洲人ヲ教育セリ。「プラトーン」ハ理想ヲ標幟トシテ向上ヲ勸メ、アリストテレイスハ個性ニ内在スル力ニ由ル發達ヲ説キ、プラトーンハ偶然ノ雜多ヲ去リテ純粹ノ眞善美ヲ求メ、アリストテレイスハ多數ヲ比較シテ其ノ通性ヲ知ラントセリ。蓋シ相待ツテ共ニ全キヲ得ベキ兩方面ナリ。然レドモ兩人ニ通ジテ均シク且根本的ナル思想ハ世界組成ノ合理的ナルコト、即チ道理ニ適ヒツツアルコトニシテ「アリストテレイス」ニ至リテ絶頂ノ原理ニ高メラレタリ。(此ニ於テカ「アナクサゴ

「ラス」Anaxagorasノ「キリス」Nusハ終ニ哲學上ノ一神論ニ化セラルルニ至リ、永ク歐洲人ヲシテ信仰セシメタリ。

「アリストテレイス」ハ比較ヲ大切トシ又發達ヲ説キタリ。向上トハ發達ノ主觀的方面ノ要求ナリ、發達トハ向上ノ客觀的方面ナリ。共通ヲ抽キ出ストキハ普遍トナルカトイフニ、然ラズ。「アリストテレイス」ハ普遍ハ數ヨリ抽象スルトスルノミ。但シ數多キトテ何等完全ニ非ズ。例ヘバ人類ニツキテイフモ此ノ論鋒ヲ用ウレバ偶然銀色人が多ケレバ銀色人が普遍トイフコトニナル。此ノ過チニ陥ラザル爲ニハ更ニ品質上ノ眞善美ヲ内外主客ノ各方面ヨリ吟味セネバナラス。

### 第二目 「プラトーン」ノ哲學ニ對スル「ア

#### リストテレイス」ノ批評

「アリストテレイス」ノ哲學ノ骨髓ハ普遍ヲ以テ特殊中ニ内在ストナスノ點ニ在リ。「プラトーン」ト異ナル總ベテノ點ハ大抵此ヨリ發ス。抑モ普遍ハ常ニ特殊ヲ通ジテ觀ラレ得ルモノナレバ、或意味ニ於テハ特殊ヨリ抽象セラレタルモノト見ルコト能ハザルニ非ズ。故ニ此ノ普遍ハ特殊ニ對スル統括者ニシテ之

ヲ規律スル存在ナリ。之ヲ共通ノ標準トシ各ノ特殊ヲ比較シ、又直チニ特殊ノ根柢ヲ知り得セシムルモノナリ。此ノ普遍的統括者ハ之ヲ特殊ヨリ分離セシメテ相對立セシメ得ル方面アリ。此ノ傾向ハ「プラトーン」ニヨリ意識セラレタルモノニシテ、彼ノ晩年ニ於テハ殊ニ此ノ傾向ヲ強クシ「ピタゴラス」學徒ノ數論ヲ併用シテ現象ヨリ超越シタル「イデア」界ヲ確定セシメタルモノナリ。然レドモ普遍ハ元特殊ト離レタルモノニ非ザルノミナラズ、特殊中ニ内在スル方面アリ。之ヲ意識スルニ專ラナリシモノハ「アリストテレイス」及「ピラストア」(Pythagoras)學派ハ哲學ナリ。「アリストテレイス」ハ「プラトーン」ノ極端ナル超越界ヲ説キタル頃ニ教ヲ受ケタル者ナレバ「プラトーン」ノ弱點ヲ過大視シテ之ヲ攻撃シタリ。(佛敎哲理特殊普遍一體不離ノ論參照)

第一 「アリストテレイス」ハ「プラトーン」ヲ攻撃シテ曰ク。「プラトーン」ノ普遍トナシ「イデア」トナスモノハ、個個特定ノ事物ヨリ抽象セラレタル觀念ニ外ナラズ。故ニ普遍ハ特殊ノ外部ニ存スルモノニ非ズシテ、多クノ特殊中ニ共通ニ存スル性質ニシテ、之ニヨリ各特殊ガ融通シ結合シ得ル者トナス。又特殊ノ消滅



ルモ是レ根本ノ偶然不可知ナルコトヲ譬ヘタルモノ、獨斷的ニ説明セントスルモノニシテ、少クモ此ノ點ニツキテハ「プラトーン」ヨリ一步ヲモ進メタルモノニ非ザルナリ。基督教信者ハ「アリストテレイス」ノ一神ガ「プラトーン」ノ「イデア」ヨリモ己等ノ信ズル神ニ接近シタルヲ以テ「アリストテレイス」ヲ賞讃スルコトアルベシ、然レドモ吾人ハ直チニ之ニ同意スルコトヲ得ズ。「イデア」ハ理ニシテカトニ照スベシ。

第三 「アリストテレイス」ハ又「プラトーン」ガ其ノ晩年ニ於テ醜惡ナルモノノミナラズ人間ノ製作物ニ對スル「イデア」ノ存在ヲ認メザルコトヲ駁シ、且同一事物モ觀察ノ方面ヲ異ニスルト共ニ、別種ノ類ニ屬スルモノト見得ルガ故ニ、同一事物ト雖多クノ「イデア」ニ屬スルコトトナルベク「イデア」相互ノ關係モ亦甚ダ複雑トナルベシトセリ。加之「プラトーン」ハ事物ノ相類スル所ニハ必ず「イデア」在リテ其ノ「イデア」ハ是等ノ事物以外ニ超然トシテ相對スルモノトナスガ故ニ、此ノ論法ヲ以テセバ、是等ノ事物ト此ノ「イデア」トノ間ニモ類似ノ點アルガ故ニ、更ニ第二ノ「イデア」アリテ是等以外ニ對立セザルベカラズ。此ノ第二「イデア」ト以

上ノモノトノ間ニモ亦類似ノ點アルガ故ニ、更ニ第三「イデア」ノ對立ヲ認メザルベカラズ。斯ノ如クシテ終ニ止ムコトナク、確實ナル「イデア」ハ畢竟認メ難ク「イデア」ハ如何ニ溯及スルモ、尙根源的實有ニ非ズシテ模寫ニ過ギザルベシト。蓋シ「アリストテレイス」ハ常ニ事物ノ差別ヲ本則ト見テ其ノ中ニ無差別ヲ見ント欲シ、主トシテ歸納法ヲ用キ、狹キ論理ノ形式ニ依リテ研究シ、其ノ眼ヲ以テ「イデア」ヲ見タルガ故ニ「イデア」界ノ理想的觀念論的趣味ヲ解セズ、其ノ宗教的美的價值ヲモ會得シ得ザリシ者ナリ。從ツテ彼ノ是等ノ攻撃ノ如キモ何レモ重要ナルモノニ非ズ。今尙少シク「アリストテレイス」ノ學說ノ要點ヲ説明セン。

### 第三目 哲學ノ要點

「アリストテレイス」ハ「バルメニデイス」又ハ「プラトーン」ト趣ヲ異ニシ現象以外ニ存在スル實有ヲ認メズ。個個特定ノ實在並ビニ生成ニ重キヲ置キタリ。但シ「イデア」ノ如キ實有ヲ絕對ニ排斥セシモノニ非ズシテ、個物ニ内在シ其ノ以外ニ超越シテ存在セズトナセリ。今更ニ分析シテ彼ノ哲理ノ要點ヲ説カン。



第一 「アリストテレス」ハ、極端ナル實在論者、竝ビ、個在論者ナリ。「プラト  
ン」ハ吾人ヲ以テ實有ナル本體ヲ認識スル能力ヲ有スル者ト前提セリ。精神  
ハ元「イデア」ヨリ生ゼルガ故ニ、其ノ回想ニヨリテ直覺的ニ「イデア」ヲ識リ得ベシ  
トナスニ在リ。「イデア」ヲ以テ超越的實在トスレドモ、吾人ノ先天的能力ニヨリ  
テノミ知り得ルモノニシテ、絕對ニ個個特定ノ偶然ナル現象ニツキテハ、之ヲ知  
ルコト能ハズ、唯「イデア」ヲ知ルガ故ニ、「イデア」ト非有トヨリ合成セル現象ニツキ  
テ、其ノ元ノ「イデア」ヲ見得ルニ過ギズトナスナリ。

吾人ハ「イデア」ノ缺ケラヲ固有ス。此ノ理性ニヨリ「イデア」自身ヲ洞察シ得ルモノナリ。現  
象ハ分ラヌ非有ナレバナリ。但シ「イデア」ト合成シテ居ルガ故、現象ヲ見テ回想シテ「イデア」ヲ  
知り得、其ノ結果現象ヲ明ラカニシ得ルノミ。

「アリストテレス」ハ此ノ種類ノ實有ト現象トノ對立ヲ認メズ。又回想ヲ攻  
撃シ知覺ヲ以テ主腦トナシ、之ト共ニ從トシテ思惟ヲ必要トセリ。又知覺ニヨ  
リ意識セラルルコトホド、實在ヲ明ラカニスルモノハナク、實在トハ知覺ニ映ジ  
タル存在ノ義ニシテ、此ノ知覺ト思惟トニヨリテ存スル知識ハ、全然外部ノ實有

實在原理論  
ノ範疇論本  
體論參照

ト合一スルモノナリト。サレバ「プラトオン」ガ回想ニヨリテ僅カニ實有及現象  
ノ幾分カラ意識シ得シメラルルモノトナスト同一ニ非ズ。實ニ「アリストテレ  
ス」ハ極端ナル實在論ヲ説キタル者ナリ。彼ハ知覺ヲ以テ外界其ノ儘ヲ寫出  
スルモノトナシ、色聲香味觸ノ悉クハ其ノ儘其ノ形ニ於テ外境トシテ存在スル  
モノトシ、若シ感覺ガ健全ニシテ且思惟ト相待ツトキハ、之ニ依リテ知覺シ得ラ  
レザル外境ナキコトヲ信シタリ。斯ノ如キハ「デイモクリトス」及ビ「プラトオン」  
ヨリモ遙カニ退歩シタルモノナリ。「デイモクリトス」及ビ「プラトオン」ノ世界ハ  
説ク方面コソ異ナレ、共ニ理性ノ世界ナリ。殊ニ「プラトオン」ノ知識ハ吾人ノ觀  
念ナリ。實有ハ觀念トシテ存シ、觀念ニヨリテ窺ハレ得ルノミナリ。故ニ彼ハ  
「イデア」ノ實有ヲ説ケドモ、此ノ點ヨリイヘバ是レ尙一種ノ觀念論ナリ。「アリス  
トテレス」ノ世界ハ外物其ノ儘ノ世界ナリ、極端ナル個在論實在論ナリトス。

「アリストテレス」ハ素朴ノコトヲイウテヲル。「プラトオン」ノ説ハ微スカニ「イデア」ノ僅ガ  
分ル、現象トテ人間ノ觀念ニ合スル部分ガ分ルノミ、故ニ後ニ至リ彼ノ學徒ハ懷疑論ニ轉ズル  
ニ至レリ。然ルニ「アリストテレス」ハ「アーツ」ヲ知覺シ得ルトセリ、健全ノ五感アレバ實在

ヲ分別シ得ザルモノナク存在セルモノハ全ク知覺シ得ベシトセリ但シ「イデア」ノ普遍的存在ヲ全然認メザルニ非ズ共通性ガ個物中ニ存在ストセリ。

第二 「アリストテレス」ハ純理論者ナリ知覺ニ伴ヒ思惟ニヨリ得ラルベキ一般の共通の知識及ビ理法モ亦思惟の實在ト符合スルコト知覺ト個個の目的物トノ關係ニ等シ。感官ハ知覺セルベキ目的物ヲ其ノ儘寫出シ得思惟ハ思惟セルルベキ理法ヲ其ノ儘寫出シ得思惟ニ用キラルベキ範疇ハ其ノ儘外界ニモ固着シテ存スルモノトス。故ニ自然界ノ秩序組成ハ思惟ノ組成ト同一ナリ自然ノ事物理法相互ノ關係ハ即チ思惟相互ノ關係ニ合ス。宇宙ノ根柢ハ一大理法ナリ理體ナリ。(佛教ノ我法俱有說及ビ法有我無說參照同一ノ理體ガ或ハ吾人ノ理性ヲ照ラシ或ハ外界ノ個個ノ理法トシテ現ハルルナリ。「エムペドクレス」Empedoklesガ曩ニ同類ハ同類ノミニヨリテ知ラレ得ベキコトヲ唱ヘバ「ルメニデウス」Parmenides「フキラウス」Philolausモ亦此ノ趣意ヲ認メ得タルガアリストテレイスは是ヨリ一種ノ形式ヲ定メ「ヌイス」 $\nu\epsilon\iota\varsigma$ 即チ妙法ヲ以テ宇宙最後ノ根源トナシ人間ノ精神モ外界ノ理法モ皆此ノ保障ニ外ナラズトセリ人間

「ロバート」  
「イデア」  
比較ス

發達變遷モ  
其ノ借外界  
スニ存ストナ

普通ヲ個物  
ト對等ニ認  
メト共ニ  
種ノ類ノ格  
定義ヲ嚴格  
ナル實在ト  
ナス

「アラト」  
「イデア」  
ニ目的方面  
ヲ附與セン  
ト力メタリ

ノ靈妙ナルモ畢竟此ノ「ヌイス」 $\nu\epsilon\iota\varsigma$ ノ恩恵ヲ蒙リツツアルガ故ニシテ内外兩界ヲ融合調和セシメツツアルモノハ此ノ「ヌイス」ノ力ナリトス。サレバ「アリストテレイス」ハ「ヘーゲル」Hegelニ於テ見ルガ如ク純理論者ニシテ彼ノ純理論ノ精神ハ懷疑論 Skepticismus 名目論 Nomininalismus ノ薄弱ナル反對アリシノミニシテ近世ニ至ルマデ純正哲學ヲ支配シ「スピノザ」Spinozaモ亦之ニ依レリ。但シ「アリストテレイス」ハ「ヘーゲル」等ガナセシ如ク汎神論的ニ説明セズ「ヌイス」ヲ此ノ世界ヨリ超越セシメ之ヲ純理的ニ神ニ高メタリ。コレハ「アナクサゴラス」ノ「ヌイス」アラト「イデア」ヨリ轉化シタル純理的ニ神ニシテ自由力慈悲心ヲ備フル人格的ニ神ニ非ズ理法知識ノ根源ヲイフ。而シテ「アリストテレイス」ノ理法ハ因果律ト合一シ宇宙理法ノ一大體系ハ神ニ存シタル第一原因ノ結果トシテ因果律ニ因リ存スルモノニシテ目的ト原因トハ全然合一シ自由力ヲ以テ達セントスル活動目的ノ存スルコトナシ。(凡テノ知識ハ外界ガ思惟ニ相應スベキコトヲ前提スレドモ純粹ノ理體 $\nu\epsilon\iota\varsigma$ ノ實在ヲ説クハ真空論ノ基礎ノ上ニ説カレタル佛教唯識論ニ及バザル所トス)

第三 「アリストテレス」ハ下ヨリ上ニ向ツテ研究セントセリ。宇宙實體ノ形式ハ恒久普遍ナル存在ニシテ、其ノ存在ハ種類ニ對スル定義ト嚴格ニ符合スルモノナリ。然ルニ種類種々ハ彙類シテ定義セラルベキモノナレバ、比較彙類記載ハ學問研究ノ方法ナリ。換言スレバ知識ハ事物ノ思惟セラレ得ベキコトニヨリ存在シ、此ノ思惟セラルベキコトハ、即チ定義ニヨリテ言ヒ表ハサレツツアルモノト合一スベク、事物ノ本質ハ多數ノ事物ニ共通ナル思惟シ得ベキコトノ總計ナリ。故ニ事物ノ本質ハ定義シ得ベク此ノ種ノ定義ハ恒久普遍ナリ、外界ノ實在ニ合一シ得ルモノナリ。此ノ前提ノ許ニ下シタル彼ノ定義、爲シタル彼ノ彙類竝ビニ比較研究ハ、後代歐洲ノ科學ノ發達ニ大ナル影響ヲ與ヘタルモノナルガ、又缺點ナキニシモ非ズ。蓋シ或ル多數ノ個個特定ヨリ、抽象セラレタル本質ノ定義ガ其ノ場合ニ洩レタル無數ノ個個特定ニ對スル定義タルノ效力アルベキ理由ナケレバナリ。當初ヨリ普遍ヲ是認スルコトナク、單ニ個個特定ノミヲ認メ、其ノ内部ニ在スル本質ノ定義ヲ下サントセバ、如何ナル程度ニ

自然法ノ有  
無論ニ同ジ

於テモ定義ノ存在ヲ認メ得ベキ理由ナケレバナリ。然モ不完全ナル概念ヲ恒久普遍ノ定義ト認メ、再ビ之ヨリ演繹スルハ著大ナル危險ノ存スルヲ想ハザルベカラズ。而シテ此ノ危險ハ現ニ中世ニ於テ著シク現ハレタル所ナリ。

「アリストテレス」ハ個物ニ重キヲ置キテ共通ノモノヲ抽象シテ彙類ス。本質ハ外界ニ存スルモノニシテ、カウチリ定義ニ合スルモノトセリ。「ソークラテイス」以來ノ主義ニテ、個個ヨリ上ルコトハ其ケレドモ、之ニテ困ルコトハ何故ニ其ノ彙類ノ原料タリシ以外ノ物ハ束縛ハラルルカガ分ラヌコトナリ。故ニ個物ヨリ抽象シテ本質ヲ求ムルニテハ答ヘラレヌ。

要スルニ「アリストテレス」ガ外界ノ個個特定ヲ最モ確實ナル實在トナシ、知覺ト思惟トニヨリ外界其ノ儘ヲ意識ニ映出シ得ベク、思惟シ得ル理法モ其ノ儘外界ニ存在ストナスニ至リタルハ、彼ノ缺點ナリトス。然レドモ宇宙ニ理法其ノ儘ノ實在スルヲ認メ、此ノ實在スル理法ヲ求メ得ベシトセシハ、「アリストテレス」ノミノ缺點ニ非ズシテ、希臘哲學總體ノ限界トイフベク、プラトーン「新プラトーン」學派、ストア學派モ亦然ラザルハナク、又東洋ニ於テハ龍樹ノ眞空論ノ基礎ニ立タザル佛教哲學論ニ多ク見ル所トス。而シテ歐洲ニ於テ此ノ獨斷ニ支配サレズ實驗的ニ自然ノ事實ヲ分析研究セシハ、漸ク「ガリレイ」「Galilei」ニ始マル。

理學ハカ  
トナリ、  
格ナル、  
化的ナル  
ナルハ變  
ト法則ト

「プラトーン」ハ「イデア」アリストテレイスハ個物竝ビニ理法ノ實在ヲ認ム。故ニ此ノ點ニツキテハ共ニ實在論者ナレドモ「プラトーン」ノ實在ハ「イデア」即チ理想概念トシテノ實在ナリ。サレバ「プラトーン」ノ正系「アカデミー」ハ後年遂ニ純粹ノ懷疑派ニ轉化シ「アリストテレイス」系統ノ嚴格ナル實在論ト相對立スルニ至レリ。

## 第二項 哲學ノ體系

### 第一 基礎學科

「アリストテレイス」ノ哲學ノ體系ノ基礎ト爲ルモノハ、一方ニ於テハ認識ノ主體ノ學問、即チ論理學ニシテ、他方ニ於テハ認識セラルベキ事物ノ學問、即チ實在ノ原理ヲ論ズル純正哲學ナリ。

一 論理學。在來思惟辯論ノ技術ニ附屬セシ論理ハ「ソークラテイス」及「ピラトーン」ヲ經テ、彼ニ至リ新ナル學問トシテ獨立セシメラレタリ。論理學ハ認識ノ具タル思惟ノ學問ナリ然レドモ彼ノ論理學ハ、彼ノ實在ノ原理又ハ本體論

ヨリ全ク離レタルモノニ非ズ。何トナレバ彼ハ思惟其ノモノヲ實在ノ形式ニ合一スルモノトナスヲ以テナリ。純理的實在ト淦ラザル關係ヲ保持スルモノヲ、推理ニヨリ知識トスルモノナレバ、彼ハ論理學ヲ獨立ノ學問トナセシガ、實在ノ原理ト分離シ得ベカラザルモノナリ。全然此ノ關係ヲ打破シ、論理ヲ以テ思惟ノ形式トナスニ止メ、之ヲ知識ノ内容ヨリ分離セシメ、實在論ト混同スルコトナカラシメタルモノハ「カント」ナリ。

二 純正哲學。純正哲學ハ認識セラルベキ一切ノ實在ニ亘レル原理ヲ論ズル學ナリ。論理學ニ對シテイヘバ本體論 *Ontologie* ナリ。「アリストテレイス」ハ特ニ之ヲ名ヅケテ第一哲學 *prima philosophia* *πρῶτη φιλοσοφία* トイフ。彼ノ歿後「アンドロニコス」*Andronikos* ガ其ノ遺稿ヲ集メ、其ノ師ガ先ヅ物理學ヲ講シ、其ノ後ニ第一哲學ニ及ブヲ常トセシヲ以テ、物理學 *physika* (*φυσικά*) 篇ノ後 *meta* (*μετά*) ニ置ケリ。然ルニ後即チ *meta* ノ字ハ、又以上トイフ意義ヲ有スルヲ以テ、物理以上ノ學即チ形而上ノ學ヲ意味スルコトトナリ、其ノ後第一哲學ハ反ツテ形而上學トシテ知ラレタリ。此ノ形而上學ハ論理學ヲ始メ、一般ノ現象ノ學問ノ研究

ノ結果トシテ立テララルベキモノトシ、彼ノ著作ノ順序モ亦最モ後レタルモノナ  
ルガ、論理學ト共ニ現象ノ學問ノ基礎ヲナシ、論理學スラ尙形而上學ノ根柢ノ上  
ニ成立シツツアリ。

### 第二 物理學及ビ精神學

論理學及ビ實在原理形而上學ノ基礎ノ上ニ存スルモノハ、自然及ビ精神ニ關  
スル各學問ナリ。

一 物理學。物理學ハ即チ彼ノ自然哲學ニシテ、數學及ビ自然論、有機體論、動  
植物學、心理論ヲ包含ス。

二 精神學。精神學ハ心理論ヨリ移リテ道德學、政治學、修辭學、詩歌學ニ分カ  
タル。斯ノ如クシテ學問ハ「アリストテレイス」ニ至リ整然トシテ各種ノ科學ニ  
彙類セラレ、其ノ各方面ハ相互ニ分岐シツツ獨立ノ形ヲ具フルニ至リ、殊ニ在來  
不完全ナリシ政治論ハ彼ニヨツテ始メテ大成セラレタリ。國權論ハ彼ノ特長  
ナリ。「プラトーン」ノ長所ハ「イデア」論ノ精神ニ在リ、「アリストテレイス」ノ長所ハ  
其ノ國家論ニ在リテ、彼ノ哲學ガ著シク近世ヲ刺激セシモ、亦此點ニ存ス。

門下生ヲ集  
メテ材料ヲ  
蒐集シタル  
ノミナラズ  
彼自ラ亦大  
ニ此ノ便ヲ  
有シタリ

## 第二款 論理學及ビ實在原理論

### 第一項 論理學ノ要領

「アリストテレイス」ハ「エレア」[Elet]學徒、殊ニ「ソフキスト」輩以來惡用セラレタル論  
理ヲ「ソークラテイス」「プラトーン」ノ精神ニ從ヒ結晶セシメテ眞面目ノ論理學ト  
ナシ、現今ニ至ルマデ論理ノ道ヲ指シ示シツツアリ。彼ノ學徒ハ之ヲ最モ重要  
ナル研究ノ具トナセシガ故ニ、論理ニ關スル「アリストテレイス」ノ著作ヲ「オルガ  
ノン」[organon (ἄργανον)] 機ト稱ス。

### 第一 總說

「アリストテレイス」ハ「イデア」論ノ見解ニツキテハ「プラトーン」ト異ナリタル所  
アレドモ、尙其ノ高弟タルヲ失ハズ。彼ハ事物中ニ存スル通性理法ニ重キヲ置  
キ、之ト相待テ個特定ノ事物ヲ嚴格ニ實在トナセドモ、亦大ニ「ソフキスト」輩ト異  
ナリテ、通性ヲモ認メタルモノナリ。唯知覺ヲ主トシ個物ヲ重ンズルガ故ニ、  
此ノ通性ヲ知ルニハ、必ズ差別ヲ以テ相對スル個物ノ實驗ヨリ始メザルベカ

此ノ内形而  
上學ハ最後  
ニ完成セラ  
ルベキモノ  
トスレドモ  
尙總レテニ  
通ジテ基礎  
トナリツツ  
アレバ此ノ  
所ニ説明ス

ラズトナスナリ。此ノ通性理法竝ビニ個性ハ外界ニ實在スルガ故ニ精密ナル知識正確ナル判斷ハ外界ノ實在ニ相應スル吾人ノ意識ナリ。否實有テ其ノ儘思惟ニ現映ヤシムルモノナリ。故ニ迷誤トハ實在ニ相應セザル知識ヲイヒ、正確ナル判斷トハ主位客位ノ關係ヲ外界其ノ儘ノ如ク連結セシムンモノヲイフ。此ノ正確ナル判斷ニハ直接間接ノ二様アリ。直接判斷トハ前提ヨリ出デタル結論ニ非ズ間接判斷ハ二ツ以上ノ直接又ハ間接判斷ヲ結合セシメテ得タル結論ナリ。而シテ此ノ數多ノ判斷ノ結合ニ關スル形式ヲ確立シタルハ「アリストテレス」ノ功績ナリ。

### 第二 三段推理

二ツノ判斷ヲ前提トシテ結論ヲ得ル論法ヲ三段推理法 Syllogismus トナス。二ツノ判斷ヲ結びツケ其間ニ存スル二ツノ無關係ナル概念ヲ結合セシムルニ必要ナルモノハ中概念 Mittel-Begriff 又ハ媒項ナリ。故ニ適當ナル中概念ヲ見出スコトガ三段推理ノ要件ニシテ、又此ノ推理ノ形式ノ列擧ニツキテモ、此ノ中概念ニ留意シテナサレ得ベキモノトス。「アリストテレス」各物ガ相通トノ性ヲ考。又「ア

結婚後何時  
マデモ仲人  
ガ干渉スル  
ハ迷惑ナリ  
中概念モ亦  
同ジ

「アリストテレス」ハ此ノ點ヨリ此ノ種ノ推理法ニ三種ノ圖式ヲ立テタリ。之ニ「ガレニウス」(Galeni) 第二世紀ノ立テタル圖式ヲ加ヘテ四種類トナス。

推理法四種ノ圖式トハ左ノ如シ。mハ中概念、Pハ大概念、sハ小概念ナリ。

$$\begin{array}{c} \frac{m \text{ P}}{s \text{ P}} \\ \frac{m \text{ P}}{s \text{ P}} \\ \frac{m \text{ P}}{s \text{ P}} \\ \left( \frac{m \text{ P}}{s \text{ P}} \right) \end{array}$$

### 第三 歸納推理

三段推理法ハ知ラレタル一般ヨリ知ラレザル特殊ヲ導キ出ス思惟ノ方法ナリ。然ルニ知ラレタル個個特定ヨリ知ラレザル一般ヲ判斷セントスル思惟ノ方法アリ。之ヲ歸納推理法トナス。是レ「ソークラテイス」ノ主要ナル研究方法ニシテ「アリストテレス」ニ至リ推理ノ確定シタル形式ニ高メラレタルモノナリ。譬ヘバ太郎次郎三郎等ハ俊才ナリ、太郎次郎三郎等ハ隆準ニシテ美髯アリ、故ニ鼻高クシテ美髯アル人ハ俊才ナリトイフハ歸納法ナリ。然レドモ若シ太郎次郎三郎等ガ有ラン限リノ俊才ナレバ可ナレドモ、完全歸納法實ハ有限ナル場合ハ殆ンド無ク、結局唯任意偶然ノ或範圍ノ俊才ヲ比較研究シテ此ノ論結ヲ

「セツクス  
トス、エム  
トリコス」  
ノ論參照

ナスモノナリ。(不完全歸納法) 併シ歸納法ノ效用ノ存スル所ハ、完全歸納法ノ場合ニ非ズシテ、不完全歸納法ノ場合ナリトス。或知ラレタル有數ノ事物ノ比較研究ノ結果歸納推理ニヨリテ結論ヲ出シ、更ニ此ノ結論ニヨリ、此ノ以外ノ未知ノ場合ヲ豫知セシメントスルモノニシテ、「アリストテレース」自身ノ比較研究ハ之ヲ主眼トセルモノニ外ナラザレバナリ。

果シテ然ラバ歸納推理ノ正當ナルハ何故ナルカ。此ノ點ハ「バートン」 Bacon 「Mill」 Mill 「グワルト」 Sigwart ノ見解ヲ異ニセル所ニシテ、「アリストテレース」ハ充分ニ之ヲ解釋シ得ザリシ者ナリ。蓋シ彼ノ缺點ハ

一 事物ノ特殊ノ存在ニ對シテ對等ニ普遍存在ヲ認メザルニ在リ。普遍存在ヲ認メザルガ故ニ各事物ノ表現方面ヲ認メズ。故ニ一事物ヲ見テ直チニ其ノ背後ノ普遍ヲ見得テ他ノ萬般ノ事物ヲ見得ルヲ確論スルコトヲ得ズ。例ヘバ角ヲ見テ直チニ牛ヲ見ルコトヲ正當ナリト解キ得ズ。又表現方面ヲ透シテ背後ノ普遍ヲ見得ル場合ト否トニ從ヒ、小數經驗ヨリ歸納スルコトガ正トナリ、又不正トナルノ區別ヲ明ラカニ爲シ得ザルニ在リ。固ヨリ「アリストテレース」

一方ニハ普通之ヲ認メザルニ在リ。蓋シ彼ノ缺點ハ

一 「アリストテレース」ハ定義ヲ以テ正確ニシテ實有ノ形式ニ合シ、其ノ個物ノ知識モ亦正確ニシテ實有ニ合一スルモノトナス。故ニ一度下シタル定義ハ全然有效ニ各個ノ事物ニ用キラルベキコトヲ前提シ、此ノ定義ニ特殊ノ内容ヲ附加シタル知識ハ其ノ儘個物ノ實在ニ相應スルモノトナス。然レドモ是レ歸納推理ノ性質ヲ誤ルモノナリ。吾人ハ元來個物ヲモ絕對ニ認識スルコト能ハ

二 「アリストテレース」ハ定義ヲ以テ正確ニシテ實有ノ形式ニ合シ、其ノ個物ノ知識モ亦正確ニシテ實有ニ合一スルモノトナス。故ニ一度下シタル定義ハ全然有效ニ各個ノ事物ニ用キラルベキコトヲ前提シ、此ノ定義ニ特殊ノ内容ヲ附加シタル知識ハ其ノ儘個物ノ實在ニ相應スルモノトナス。然レドモ是レ歸納推理ノ性質ヲ誤ルモノナリ。吾人ハ元來個物ヲモ絕對ニ認識スルコト能ハ

「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六  
「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六  
「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六

「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六  
「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六  
「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第六節 「アリストテレス」論理學ノ要領 二四六  
ザレドモ、又絶対ニ普遍ノミヲ認識スルコト能ハズ。唯雙方ノ知識ノ圓融スル  
範圍ニ於テノミ、個物ニ對スル精密ノ知識アルヲ認め、普遍ニ對スル精密ナル知  
識アルヲ認め得ベキノミ。サレバ是等ノ知識ハ本來絶対ニハ外界自身ニ合一  
スルモノニ非ズ。歸納推理ノ結果得タル判斷ハ普遍ニ關スル知識ナレドモ、是  
レ亦個物ノ知識ニヨリ、益、保障セラルベキコトヲ條件トシテ、有効ナル知識タル  
コト、恰カモ個物ノ知識ガ普遍ノ知識ニヨリ、益、保障セラルベキコトヲ條件トシ  
テ有效ナル知識タルニ等シキガ如シ。故ニ歸納推理ノ形式ヲ用キテ、精密ナル  
結論ヲ得ンニハ、一方ニハ個物特定ノ實驗ヲ成ルベク多クノ場合ニ行ヒ、又個物  
ノ實驗ニ矛盾セザル範圍ニ於テ其ノ效力ヲ認ムルコトヲ要スベク、個物特定ノ  
實驗ヲナスニハ、成ルベク其ノ根柢タル普遍ヲ明ラカニ爲シ置クコトヲ必要ト  
スルモノナリ。要スルニ論理ハ夫レ自身決シテ絶対ノモノニ非ザルナリ。(天  
台ノ三諦圓融ノ理參照)

第四 矛盾律

終リニ、彼ノ矛盾律ニツキテ述ベン。凡ソ同一ノ事物ニツキ、同一ノ事項ヲ肯

論理ハ實現  
活他思想ノ  
一、道徳性ト  
者、殊ニ、近  
スルニシテ

定シツツ、尙ホ同時ニ之ヲ否定シ、或ハ同一事項ヲ否定シツツ、尙ホ同時ニ之ヲ肯  
定スルコトヲ得ズ。之ヲ矛盾律トナス。「アリストテレス」ノ論理全體ニ通ズ  
ル、最後ノ原則トシテ、又他ノ原則ニヨリ説明スルコトヲ要セザルモノヲ矛盾律  
ナリトセリ。矛盾セル事物ハ決シテ存在スルコトナシ。故ニ條件理由根據ヲ  
吟味シテ、一ツ一ツノ場合ニ矛盾セルモノノ一方ヲ是認シ、他方ヲ否認スベキモ  
ノトセリ。此ノ思想ハ「アリストテレス」ノ論理學ノミナラズ、彼ノ實在原理論  
ヲモ支配セリ。彼ガ個物ノ實在ヲ中心トシテ是ト同等ナル普遍ヲ認めズ、個物  
ノ獨立的存在ヲ説ケドモ、其ノ表現的存在ヲ説カザルガ如ク、又「プラトーン」ノ「イ  
デア」論ヲ攻撃シタル主ナル論法モ、皆此ノ、狭少ナル矛盾律ヲ最高ノ原則ナリト  
獨斷セルヨリ來レルモノナリ。即チ「イデア」ハ元來個物ト相對立スルモノニ非ズトナル  
「イデア」論ヲ却ケタルガ如キ。人間ノ製作物ニ「イデア」ナキガ故ニ凡テノ觀念ガ「イ  
デア」界ニ存在スルコトハ、矛盾ニツキテ云フガ如キ。「イデア」界ガ整然タル統制ヲ  
ナスガ如キハ、皆此ノ類ナリ。是レ彼ノ系統ノ大ナルコトト研究ノ緻密ナルコトト



真空論參照

ニ關ハラズ其ノ思想ノ雄大ナル點ニ於テ「ヘーラクライトス」ノ真空論的主義ニ及ブ能ハザリシ所以ナリ。是レ又現今ノ科學的研究ガ殆ンド「アリストテレース」此ノ思想ノ下ニ支配セラレテ自ラ之ヲ悟ラズ反ツテ「ヘーゲル」Hegelヲ不可解トナシ佛敎ノ哲理ヲ以テ荒誕無稽ナリトスル所以ナリ。又是レ表現關係發現關係ヲ以テ全部相對關係ト矛盾セリトシ論理上ノ原則ニ反スト罵ル者アル所以ナリトス。

ツマリ矛盾律ヲ最高トスル「アリストテレース」ノ前提ヲ信ジ是ヨリ出發スルガ故ニ真空論ヲ解シ得ザルナリ。

## 第二項 實在原理論

### 第一目 範疇論

學識ノ目的ハ思惟ト實在トヲ精密ニ相應セシムルニ在リ。是故ニ一切ノ實有ニ互リテ有效ナル原理ヲ論ズルノ學問無カルベカラズ之ヲ第一哲學即チ形而上學トナス。此ノ形而上學ハ個物ノ知識ヨリ次第ニ抽象シ得タル原則ヨリ

更ニ抽象シタル根本原則ヲ討究スルモノハニシテ其ノ形而上學ト論理學トヲ連結セシムルモノハ範疇論ナリ。是レ「アリストテレース」以後今日ニ至ルマデ討究セラレツツアル問題トナス。「アリストテレース」ニヨレバ十種ノ範疇アリ。

- 一 本體又ハ實體 Substanz
- 二 分量 Quantum
- 三 性質 Qualität
- 四 關係 Relation
- 五 場所 Ort
- 六 時間 Zeit
- 七 態度 Lage
- 八 附屬 Zustand od. Haltung
- 九 能動 Aktivität od. Thun
- 十 所動 Passivität od. Leiden

吾人ノ判斷ハ是等ノ一又ハ數多ヲ言ヒ表ハシツツアルモノナリ。但シ「アリストテレース」ニヨレバ此ノ範疇ハ吾人ノ思惟ノ要件タルノミナラズ又外界ノ實有ニ附着シテ存在スルモノナリ。是レ「カント」ノ範疇トハ全然其ノ性質ヲ異ニスル要點ナリ。

### 第二目 本體論

思惟セラレ言ヒ表ハサルモノハ實在ニシテ之ヲ本體(ousia)又ハ實體トナス。眞實ニ存スルモノトシテ確カニ知ラレ得ルモノハ唯本體自身アルノミ。

第一 本體ハ實在ニシテ各個ノ物タルコトヲイフ。物タルコト以外ニツキ、言ヒ表ハシ又ハ思惟スルコトハ唯其ノ實在ニ有效ナル屬質ヲ説キ得ルニ止マル。其ノ屬質ハ數多アレドモ歸スル所ハ終ニ其ノ物タルコト即チ本體ニ歸スルノミ。或ハ分量ニヨリテ量リ得ベキコト特殊ノ性質アルコトアルベク、或ハ場所及ビ時間ノ關係ヲ有スベク、又或ハ働キカケ或ハ働キカケラルモノタルコトアルベケレドモ、是等ハ益、獨立ノ實在ニ非ズシテ唯本體トシテ實在スルハミナリ。本體ノ實在ヲ認メザレバ、何程多數ノ屬質ヲ列舉スルモ、物夫自身ヲ認メ得ザルベク、一ツノ物ヲ認ムレバ無數ノ客語ニヨリテ其ノ屬質ヲ説明シ得ベキニ拘ハラズ、本體ハ決シテ屬質ノ何レニモ非ズ、常ニ主位ニ在リテ客位ニ立チ得ザルモノナリ。サレバ、アリストテレスニヨレバ一面ニ於テハ個物ノミガ嚴格ナル實有トイフベシ。故ニ彼ハ著シキ個在的實在論者ナリ。

白墨ハ實在シテ居リ、之ニ本體アリ。唯白キモノナリ、深山ノ粉ノ集合ナリ、相當ニ堅キモノ

ナリ、或ハ一ツトナリテ存スルモノナリ、脆キモノナリ、等アレドモ、是等ハ白墨ノ本體ニ非ズ。白シトカ堅シトカハ客語ニシテ種種ニ言ヒ表ハサレ得レドモ、其ノ主位ニ在ルモノハ其ノ何レニモ非ズ。唯本體アレバ當然是等ノモノガ實在シ、白キ脆キ等ハ白墨ヲ離レテ存在スルモノニ非ズ、白墨ニ附キテ居ルモノナリ。本體自身ハ本體トシテ言ヒ表ハス能ハズ、無數ノ客語トシテ表ハサレテ居ルモノナリ。無數ノ客語トシテ表ハサレツツ本體ニ附キテ居ルモノナリトセリ。

第二 然レドモ尙彼ハ他ノ方面ニ於テ、是等ノ個物ハ恒久普遍ナル思惟ノ法則及ビ共通ノ概念ニ根據シテ認識セラレ得ベキモノトセリ。此ノ點ハ彼ノ「プラトーン」ヨリ承ケタル思想ナリ。

第三 此ノ兩方面ヲ調和スル爲ニ、彼ハ本體ノ形式(eidos)又ハヲ認メ、各個ノ物ニ共通ナル本體ノ形式ガ各個物中ニ内在スト認メタリ。感官ニヨリ認メ得ベキ各個物ノ部分ハ變化シ易キ偶然ナル部分ナルガ、思惟ニヨリ知り得ベキ部分ハ渝ラザル方面ナリ。此ノ渝ラザル方面ハ事物ノ本質即チ本體ノ形式トシテ實在セル個物ニ内在シ、其ノ變化ト相離レザルモノトス。玆ニ於テカ彼ノ形式質料ヲ論ゼザルベカラズ。

### 第三目 形式質料ノ論

總ベテノ事物ハ其ノ中ニ本體ヲ藏シ、本體ハ形式ト質料トノ關係ニヨリ事物中ニ發展ス。本體ノ形式ハ事物ノ本質自身ヲナシ、此ノ傍ニ之ト離ルベカラズニ存スル質料アリ。此ノ質料ハ夫自身存在シ得ルモノニ非ズ、必ず個物中ニ存在シ、個物ヲ實在シ得セシムル原料ニシテ、之ニヨリ個物ヲ成立セシムルヲ以テ、茲ニ形式又ハ形相アリ。即チ質料ニヨリ之ニ特殊ナル形式アリ得ルモノナリ、然モ形式ヲ表ハシ得ベキガ故ニ、質料タリ得ルモノナリ。此ノ形式ハ現勢ニシテ質料ハ潛勢ナルガ、二者離レズシテ存在スル結果、事物ニ成長發達變遷アルモノトス。「アリストテレイス」ハ「ブラトーン」ノ「イデア」ト「メーオン」トノ二元ヲ採用シテ、一元ノ兩方面ト認メタリシナリ。之ニヨリテ彼ハ古ヨリ爭ハレシ「ヘーラクライトス」派ト「エレア」派トヲ調和シ得ベシト信ジタリキ。但シ「アリストテレイス」ノ質料ハ「ブラトーン」ノ非有ヨリモ寧ろ物質ニ近シトス。「アリストテレイス」ハ形ト質トノ關係ヲ明ラカニスルガ爲ニ、事物ノ發達變遷

形式 (εἶδος)  
(4)  
質料 (ὕλη)

眞言四種ノ  
曼茶羅

ニツキ之ヲ四因ニ分析セリ。是レ眞言ノ四種曼茶羅ニ似タルモノナレドモ、アリストテレイスノ四因論ハ動狀ニ重キヲ置キ、眞言ノ四曼ノ如ク靜狀ヲ主トセ、ルモノニ非ラザレバ、自ラ異ナル所アルモノトス。即チ質料因ニ當ル、形相因ニ當ル、動力因ニ當ル、及ビ目的因ニ當ル、曼茶羅ニ當ル、是ナリ。此ノ中、形相因ナルモノハ大略「ブラトーン」ノ「イデア」ニ該當スルモノナリ。之ヲ家屋ノ建築ニ譬フレバ、質料因トハ建築ニ用キラルベキ材料ノ在ルコトニテ、動力因トハ其ノ材料ヲ組成スルカノ在ルコトナリ。形相因トハ建テラレントスル家ノ概念又ハ理想ニシテ、而シテ其ノ家ヲ造ラントスル目的ノ存在ヲ要スルコト即チ目的因ナリ。「アリストテレイス」ハ尙人工物ニツキ、假リニ此ノ四因ヲ嚴格ニ分析シ得ベキモノトシ、自然物ニツキテハ、歸スル所ハ形式因ト質料因トノ二ニ歸スベキモノトセリ。自然物ノ發達變遷ニツキテイヘバ、形相因ハ或概念ヲ中心トシテ之ヲ實現セントスル目的ヲ包含シ、同時ニ目的アルガ故ニ之ヲ實行スル動力ヲ意味スルモノナリ。是レ希臘ニ於テ始メテ明白ニ動力ト目的トヲ分析シツツ尙之ヲ同一視シ、且之ヲ以テ一切ノ事物ニ存在スル本體ノ形式ニ結合セシメシモノ

ニシテ、古代ノ汎心論ハ其ノ絶頂ニ達セシモノトイフベシ。

萬般ノ事物ノ本質ハ形相ナリ、勢力ナリ、目的ナリ。宇宙ハ物質ノ有スル運動力ニ因リ機械的ニ動キ、目的ナク變遷スルモノニ非ズ。故ニ「アリストテレス」ノ質料ト稱スルモノハ「デーモクリトス」ノ原子ト同一ニ非ズ、又形相ト離レ孤立ノ存在ヲナシ得ベキモノニ非ズ。而シテ一切ノ不完全及ビ偶然ノ原因トナルモノナリ。此ノ質料ニヨリ本體ノ形式ガ己ノ動力ニ基ヅキ己ヲ實現シ得ルモノニシテ、之ニ因ツテノミ具體的ノ個物ガ存在シ得ルニ至ルモノトス。サレバ「アリストテレス」ノ質料ハ物質ニ似タルモノナレドモ、尙「プラトイン」ノ「メーオン」ヨリ轉化シ來レルモノニ外ナラザルヲ知ルベシ。

### 第四目 一神ノ論

宇宙萬物ハ質料ト形式トヨリ成ル。質料ハ形ヅクラルルモノニシテ動力ヲ備ヘズ。動力ヲ有シ其ノ目的ヲ備ヘテ質料ニ働キ掛クルモノハ形式ナリ。是等ノ形式ハ自ラ他ヲ動かセドモ、其ノ相伴フ所ノ質料ノ如何ニ應ジテ、更ニ高等

認定界ノ自主行為参照  
「ローマ」人ノ神参照

ナル形式ノ動力ノ支配ヲ受ケ、終ニ統括制ヲナシテ最後ノ形式ニ達ス。此ノ形式又ハ形相ハ最早質料ト共ニ存スルモノニ非ズ、質料ヲ離脱シテ獨リ存在シ、目的ヲ有スル原始ノ形相ナリ。他ニ動かサルコトナキハ勿論、自ラモ動クコトナクシテ尙他ヲ動かス原働者ナリ。純然タル現勢ニシテ更ニ潛勢ナク、完全圓滿ナル現實ノモノトシテ存在スル第一原因ナリ。此ノ第一原因ハ夫自身善ニシテ宇宙ヲ支配スル善ノ目的ノ根源トナリ、又恒久不變ノモノナリ。此ハ原働者第一原因純粹形相恒久不變ノモノ善ナルモノヲ神ト名ヅク。此ノ世界以外ニ超越シ孤立シテ存在スル純粹ナル理智ナリ。「アナクサゴラス」ノ「スイス」論參照即チ此ノ神ノ本質ハ自ラ己ヲ思惟シ己ヲ知ルコトニ在リ。己ヲ知ルノ智ヲ以テ足ルモノナリ。純粹ノ自觀ノミニテ圓滿自足セルモノナリ。（認定世界ニ於ケル自主行為參照、斯ノ如ク神ハ圓滿自足ノ極ナルガ故ニ、自ラ働タコトナクシテ自ラ一切ノ形式事物ニ動クベキ原因ヲ與フルモノナリ。其ノ完全善美理知ニヨリ自ラ一切ノ質料並ビニ形式ヲ引寄せ、萬物ハ自然ニ其ノ德ヲ慕ウテ之ニ嚮ウテ進ミ、以テ茲ニ萬般ノ運動ヲ開始セシムルニ至ルモノナリ。

「アリストテレース」ノ一神ハ、斯ノ如ク宇宙ニ超越シテ存スル自主者ニシテ、宇宙ノ原動力ノ主體ナリ。自然力原動力ノ主體ハ神ニ於テ合一ス。「アリストテレース」ハ、其ノ論理學ニ於テ嚴格ナル矛盾律ヲ立テ、其ノ絕對ナルコトヲ認メシガ、此ノ原則ヲ嚴守セントセシ結果ハ、自ラ其ノ實在論ニ於テ一大矛盾ヲ認メザルヲ得ザラシメ、此ノ種ノ超越的一神ヲ認メザルヲ得ザラシメタリ。故ニ此ノ一神ハ有ラユル矛盾ノ集合ニシテ矛盾ヲ集メテ統一シツツアルガ故ニ圓滿自足セルモノト見ラレツツアルモノナリ。即チ

- 一 先ヅ彼ハ「プラトイン」ノイデア界ノ超越的ナルヲ駁シ、其ノ二元的ナルヲ批難シ、內在的一元論ヲ唱ヘントシタルガ、其ノ結果彼ノ神ハ一層極端ニ超越シ、此ノ世界ニ對シテ孤立セル關係ハ、一層極端ナル二元的形式ニヨルモノトイフベシ。
- 二 彼ハ事物ノ發達變遷ニ重キヲ置キタレドモ全然神ノ變遷ヲ否定セリ。
- 三 彼ハ本體ノ實驗ニ重キヲ置キツツ、神ハ純粹ノ自觀ノミニテ事足レリトセリ。

ア氏此ガノ  
矛盾ハ彼  
ノ重シク  
過度ニ重  
律ヲ重シ  
シヨリ來  
ルナリ

- 四 彼ハ本體ノ形式ハ必ず質料ヲ待ツテ存スベキモノトシツツ、神ハ純粹形式ニシテ全く質料ナク、孤立シテ實在セルモノト説ケリ。
  - 五 彼ハ動カス原因ナケレバ動クモノニ非ズト説キツツ、尙神ハ動カスモノナキニ關セズ自ラ動キ得ルモノトセリ。
  - 六 彼ハ動カザレバ他ヲ動カシ得ザルコトヲ認メナガラ、神ハ自ラ動カズシテ自ラ他ヲ動カストセリ。
  - 七 終リニ、彼ハ世界ニ不完全ノアルコトヲ認ムルニ關セズ、神ハ善ナリ質料ノ不完全ノ束縛ヲ受ケズシテ善ノ目的ヲ有シ、世界ヲ率キル運動ヲ始メツツアリト斷論セリ。
- 之ヲ要スルニ、彼ハ矛盾律ヲ以テ最高不動ノ原則トスルノ缺點ヲ、自ラ補フハ必要ヲ感ジ、此ノ世界ヨリ一切ノ矛盾ヲ抽象シテ、不思議ナル一神ヲ結晶セシメタルモノトイフベシ。

「ヘーラクライトス」ハ矛盾ナク存在セズトイフニ、アリストテレース「ハ之ト反對ナルコトヲ原則トシテ、世界ノ系統ヲ立テントセシ故、世界ノ矛盾ヲ何レカニ持チ行カザルベカラズ。故ニ之ヲ集合シテ神ニ押シ付ケタリ。而シテ曰ク、此ノ世ノ中ニ矛盾セルモノナシト。佛敎

### 第三款 自然哲學(物理論)

「アリストテレス」ノ自然哲學ハ、自然論生物論心理論ヲ包含スレドモ、自然論ハ生物論ニ及バズ、生物論ハ國家論ノ如ク完全セルモノニ非ズ。即チ彼ノ重キヲ置キタルノ點ハ人事ノ研究ニ在リ。此ノ點ニツキテモ彼ハ又「ソークラテース」系統ニ屬ス。

#### 第一 自然論

自然ハ發達變遷スル嚴格ナル實有ナリ。此ノ變遷ハ目的ヲ實現スル變動ニヨリテ爲サルルモノトシ、デモクリトス「機械的運動說ニ反對セリ。此ノ變動ニハ分量及ビ場所ノ變動ニ關スルモノト、性質上ノ變動ニ關スルモノトアリ。特ニ複雑ナル變動トシテハ生物ノ成長アリ。又自然物ノ性質上ノ差異ハ結局スルトコロ元素ノ性質ヲ異ニスル結果ニシテ、分量上ノ差異ニ歸着セズ。此ノ種ノ元素ハ地水火風及ビ「エーテル」ナリ。是レ又「デモクリトス」ガ元子ニ性質

五六、五行ノ説

上ノ差異ヲ認メザリシコトトハ大ニ異ナル所ナリ。(佛教ノ地水火風空支那ノ木火土金水參照木ハ發達及ビ目的有スル有機體ナリ。)

是等ノ元素ニヨリテ存スル世界ハ分レテ天上天下ト爲ル。天ハ高ク圓滿ニシテ滅セズ、其ノ運動ハ圓ヲナシ常住ノ相ヲ現ハシ、之ヲ構成セル元素ハ「エーテル」ナリ。地ハ低ク不完全ニシテ消滅ヲ免レズ、輕重、偶然運命、個個ノ差別ヲ以テ充タサレ、其ノ運動ハ直線ニシテ、之ヲ構成セル元素ハ地水火風ナリ。

此ノ説ハ「ピタゴラス」及ビ「プラトーン」ノ二界論ヨリ退化シタルモノニシテ、中世ノ二界論ヲ確定セシメタルモノトス。「ダンテ」*Dante*、「トーマス」*Thomas von Aquino*モ亦此ノ論者ナリ。而シテ此ノ地ヲ中心トシテ宇宙アリ、玆ニハ多數ノ球アリテ回轉ス、其ノ運動ノ由テ生起スル所以ハ、動キ又ハ動カサルルコトナクシテ動カス所ノ原働者、即チ神ニ存ス。

基督教ガ來リテ「アリストテレス」ノ二界論ハ都合ヨキ故之ヲ採用シタリ。

#### 第二 生物論

「アリストテレス」ハ有機體ヲ比較シ記載シテ其ノ學問ヲ起シタル元祖ナリ。

此ノ學ハ彼ニヨリテ完成セラレタルニハ非ザレドモ、學問系統中ニ有機體ノ發達ニ關スル一科ヲ加ヘタルハ彼ノ大ナル功績ナリ。彼ニヨレバ世界ハ變遷スルノミナラズ發達シツツアリテ、此ノ發達ノ階級ニ從ヒ、最モ下級ニ無機物界アリ、其ノ上ニ植物界アリ、其ノ上ニ動物界アリ、最後ニ人間界アルモトス。無生物界ノ物モ亦目的ヲ有シテ運動スレドモ、此ノ目的アル運動ハ生物界ニ於テ最モ顯著ナリ。生物界ノ各階級ハ何レモ其ノ原働者トシテ精神ヲ有シ、之ニヨリテ其ノ形體ヲ形成シ、其ノ形體ヲ動かスモノナリ。精神ハ即チ言ハバ生物ノ質料ヲ形成シ、之ヲ支配スル生物ノ形式ナリ。故ニ生物ハ皆生長シ、生殖シ、營養作用ヲナシ、常ニ變動シツツアルモノナリ。此ノ精神ニ幾多ノ小階級アルコトガ、即チ生物ニ階級アル所以ニシテ、上級ノ物ハ常ニ下級ノ物ノ有スル精神ヲ包括シ、下級生物ニ發達シタルガ如キ活力ヲ有スレドモ、下級ノ物ハ更ニ上級生物ノ有スルガ如キ精神ヲ有セズ。故ニ動物界ノ物ハ、無機物界及ビ植物界ノ有スル有ラユル性質ヲ有シ、更ニ尙感覺及ビ欲求アリ、且自力ニヨリ其ノ居所ヲ移スコトヲ得。人間ハ是等ノ總ベテノ性質ヲ包容シツツ、之ヲ基礎トシテ感覺ノ上ニ

平靜不動モ  
大活動ナ  
リ、忙ガシ  
ソウニコセ  
ツク計リガ  
活働ニ非ズ  
Darwinノ進  
化論ノ影響  
ヲ網羅スル  
コト参照  
釋迦牟尼ノ  
涅槃ニ衆生  
ヲ網羅スル  
コト参照

論理的ニ思惟スルコトヲ得。自力ニヨリ己ヲ動かシ得ルコト、及ビ欲求ノ上ニ意思ノ自由因果律ニ對スヲ有ス。下級ノ生理的作用、心理的作用ハ是等高等ナル精神作用ノ用ヲ爲スベキモノナリト。此ニ至リテ彼ノ目的的世界觀ノ下ニ四種ノ世界ノ營メル四種ノ作用ガ認めラレタルモノナリ。曰ク機械作用、植物作用、動物作用、及ビ人間ノ作用是ナリ。コハ總テ物體ノ作用ニ運動ト活動ト活動トヲ區別セシメザルヲ得ザルノ前驅ナリ。此ノ區別ハ無機物、生物、人間ノ區別トモ根柢ニ於テハ活動トハ、理性、悟性ヲ有シ、自由力ヲ以テ理想ヲ實現セントスル運動ノ一種ナリ。自由活動三理想限ラザルベシ一悟性活動ニ但シ、アリストテレスガ動物ト人間トヲ嚴格ニ區別セル基礎ハ、殊ニ基督教ニヨリ助成サレ、近代ニ至ルマデ引續キ歐洲人ノ思想ヲ支配シツツアリタリ。(アナクサゴラス)「ストス」ニ基ヅク靈魂ノ作用参照

第三 心理論

彼ハ又比較研究ニヨリ人間ノ心理ヲ論ジタリ。人間ノ精神ニハ上下二部分アリ、下部ハ動物作用ヲ爲シ上部ハ理性作用ヲ營ム。動物作用ハ本能的ナル感

覺作用、欲求作用ニシテ、並ビニ記憶ノ作用ヲ含ミ、理性作用ハ論理的ナル思惟作用、及ビ自由意思ノ作用ヲ含ム。論理的思惟ハ純知作用ニシテ、自由意思ノ働ハ實行作用ナリ。斯ク極端ニ二分説ヲ採リタル「アリストテレース」ノ心理學ハ、不完全ナルニモ拘ハラズ、後代基督教が大ニ利用シタル所ナリ。尙彼ハ其ノ心理論ニ於テ著シク理性ニ重キヲ置キタリ。例ヘバ「ディルタイ」 Dilthey ハ之ヲ以テ彼ノ實在論ニ抵觸スルモノトナセリ。

### 第四款 國家論

#### 第一項 道德論

「アリストテレース」 *Aristoteles* ノ心理論ハ彼ノ道德論ノ基礎ニシテ、道德論ハ其ノ國家論ノ直接ノ前提ナリ。彼ハ精神ノ有無及ビ其ノ階級ニ從ヒ物界ノ等級ヲ分チ、又人間中ニ存スル精神ノ各發達階級ヲ分チタルガ、又之ニ應ジテ道德ノ一定ノ階級ヲ認メタリ。人間各個人ハ夫夫小全部ナリ、小宇宙ヲ成スモノナリ。故ニ其ノ目的ハ個性ノ發揚ニ在リ。但シ其ノ個性ノ發揚トイフハ、尙各人ノ誠

「ソークラテース」ノ一方面ナリ

εὐδαιμονία

「ビルロー」ニ参照

心ニ基ヅキ、自由意思ニヨリ、自ラ己ノ特色ヲ發揮スルコトヲイフニ非ズ。動物ト異ナル人間ノ人間タル所以ヲ保持スル目的ヲイフ。即チ人ノ性能ヲ圓滿ニ活躍セシムルコトニシテ、是ニハ必ズ精神上ノ安樂ヲ伴フモノナリ。之ヲ善福 *Eudaimonia* (*Eudaimonie*) トイフ。故ニ道德ハ屈從ニ非ズ、各自ノ理性即チ最高ノ神ニ近キ所以ヲ發揚スルコトニ在ルモノトシ、彼ノ所謂善福ハ「プラトーン」ノ善ト異ナリテ、人間ガ其ノ生活活動ノ上ニ常ニ確實ニ達シ得ベキモノタルコトヲ知ルベシ。

「プラトーン」ノ論ニ非常ニ似タル所アルハ、實ニ「プラトーン」ノ論ノ分析ニ外ナラザレバナリ。道德論モ亦似タリ。 *Eudaimonia* ハ主トシテ幸福(快樂ヲ含ム)ニ專ラナルモ、此所ニテハ幸福ハ善ニ從屬セルモノトセリ。善福ノ思想ハ「ソークラテース」ノ心ノ中ニハ既ニ包括セラレテ居タルモノナリ。後ニハ幸福ノ要素ガ勝ツ。「アリストテレース」ノ説ハ孔子ノ説ニ似タル所アリ。

然ラバ理性ノ發揚ニヨリ大安樂ヲ得ルノ途如何。曰ク一方ニハ理性ノ純知作用ヲ満足セシメ、事理ヲ明ラカニスルコトヲ要シ、他方ニハ實行作用トシテ意思ノ自由ニ克己ノイヒナリ、因果律ニヨリ、己ニ克チ理性自身ノ品質ヲ養ヒ人格ヲ



研クライフ。「アリストテレス」ニ從ヘバ、責任ノ基礎ハ此ノ意思ノ自由ニ存ス。而シテ己ニ克ツトハ性情ヲシテ其ハ一方ニ執着セシムルコトナク一切ノ過度ヲ避ケ中ヲ失ハザルヲイフ。實ニ反對矛盾ノ中ニ在ツテ理ヲ明ラカニシ中庸ヲ保ツコトハ人間ガ宇宙ニ於テ特色トシテ分擔スベキ權限ニシテ安心立命ノ鍵鑰ナリ。此ノ中コソ「ソークラテース」Socrates「デーモクリトス」Demokritos 及「プラトーン」Platonヲ通ジテ常ニ尊重セラレタル所ニ屬ス。

此ノ「オイダイモニア」Eudaimonia 即チ善福ヲ達スルハ方法ハ唯國家生活ニ在ルノミ。經驗上各個人ハ其ノ自力ノミニヨリテハ其ノ生活ノ方法ヲ定メ己ヲ律スルコト完全ナルヲ得ズ。人ハ人ノ中ニ於テ初メテ圓滿ナル人タリ得ルヲ以テナリ。サレバ國家ノ此ノ職分ヲ明ラカニセントセバ道德ノミナラズ治ク此ノ政治團體ノ各方面ヲ觀察セザルベカラズ。此ノ目的ヲ以テ「アリストテレス」ハ特ニ政治學ヲ道德學ヨリ分離シ政治家トシテノ活働ノ見地ヨリ獨立ノ研究ヲナシタリ。此ノ研究ハ主トシテ國憲論ニシテ法律論ハ欠缺シ經濟論モ亦僅少ナリ。是等ノ論ハ古代ニ於テモ中世ニ於テモ彼ノ論理學形而上學自然

國家道德說

哲學ノ著名ナリシニ反シ、サシタル影響ヲ與ヘザリシモノナルガ、近世初期ノ古文復興ト共ニ甚ダシク珍重セラレ、又社會ノ改革、國家法律ノ學說ニ至大ノ影響ヲ與ヘタリ。

自然哲學ノ方ハ夙ニ非常ニ影響ヲ與ヘシガ、此ノ方ハ實ニ近世ノ初メヨリ大影響ヲ與ヘ始メタリ。

### 第二項 國家ノ概念

Polis ハ又  
都市ノ義ニ  
モ用キラル

國家 Polis (Πολις) トハ公民ヲシテ道德生活ヲ完フセシメ安樂ナラシムルコトヲ目的トスルモノニシテ多數人間ノ結合ヨリ成ル自主的自足的有機體ナリ。目的論ナレバ目的的ノ如何ハ定義ノ要件ナリ。如

第一 國家ハ多數ノ人間ヨリ成ルモ觀念上各個人ヨリ後レテ存スルモノニ非ズ。蓋シ人間ハ皆國家的生物的又ハ政治 Zoon politikon ナリ。人間トシテハ社會ノ一員トシテ存在シ得ルノミ。管ニ社會ノ一員トシテ存在シ得ルノミニ非ズ、終局スル所必ズ國家ノ一分子トシテ存在セザルベカラズ。故ニ人間アレバ

Polis 又  
都市ノ義ニ  
モ用キラル

哲理論トシ  
テハ個在的  
實ニ個在的  
モ國家論ニ  
於テハ個在  
本位ニ非ズ

必ズ家ヲ成シ、村落ヲ成シ、國家ヲ成ス。是等ハ觀念上個人ニ後レテ存在スルモノニ非ズシテ、又發達ノ階段ヲナス。詳言セバ初メハ國ト村ト家トノ充分ナル分岐ナク、次ギデ家ト村ト分岐スルニ至レドモ國ト村トハ尙混一ス。結局ノ發達程度ニ於テハ、三者ハ盡ク分岐シテ存在ス。故ニ個人ノ存在ニツキテハ、是等ノモノモ、終局スル所國家ノ存在ヲ必要トナストイフニ在リ。此ニ至リテ「ヒッピアス」Hippiasノ說ハ大ナル後繼者ヲ見出シタルモノナリ。

然レドモ個人ガ國家的生物タルコトハ獨斷ニ非ズシテ、彼ノ生物學的研究ヨリ來レル結論ナリ。人間ハ男女ノ構造ヲ別ニシ相愛スルノ情アリ、其ノ平和ノ有機的產物アルニヨリテ、更ニ其ノ共同生活ヲ擴張セラル。而シテ是等男女親子兄弟アルコトハ、即チ一大有機體タル國家ノ存在スル所以ノ有機的基礎ニシテ、此ノ個體ヲ解剖シ、比較シテ得タル結論ハ至極正當ナリ。國家ガ個人有機體ニ正シハ、眞是レ現今ニ至ルマデ絶エズ其ノ祖述者ヲ有シ、加之男女ノ性愛及ビ其ノ間ノ生理作用ノミヲ唯一ノ鈎點トシテ、社會國家ヲ説明セントスル自然論者ヲ數多ク出ダサシメタル所以ナリ。「アリストテレース」ノ深ミニ藏サレタル「ブ

所謂自然論  
的國家觀

有機體ノ權  
ハ尤モナリ

ラトインノ思想ヲ離脱シテ全然個個特定ニ執着シ、偶然ナル實驗並ビニ任意ノ比較ニヨリ思ヒ付キノママニ其ノ一點ヲ捉ヘ、卑近ノ感覺感情又ハ記憶ノミニヨリ全體ヲ説明セントスル實證論者ノ輩出スル所以ナリ。彼等ハ差別ノ愛アルヲ知り、又其ノ愛ヲ私スルコトヲ知レドモ、無差別ノ愛アルヲ悟ラズ。肉慾アルヲ知リテ正義責任無我ノ意識アルヲ忘レ、自然アルヲ知ツテ理想ニヨリ自ら進化スルヲ悟ラズ。徒ラニ下ヨリ上ニ溯ルヲ知リテ、普遍ニヨリ之ヲ監督スルコトヲ忘却セリ。而シテ之ト全クハ同一ニハ非ザレドモ、尙此ノ傾向ヲ有スル「アリストテレース」ノ差別的ノ性愛、血族ノ思想ニ對シテ、程ナク博愛ヲ標榜シテ起リタルモノハ、即チ基督教ナリ。

國家ノ存在スル基礎ハ有機的生理作用ニ存スルコト疑ナシ。但シコレ計リガ基礎ニ非ズ。「アリストテレース」ハ必ズシモ此ノ點ノミニ執着スル者ニ非ズ、彼ノ國家論ノ根柢ハ自ら「アトーン」ニ支配セラレツツアルナリ。男女ノ性愛ガ本源ナリトシテ出發セシコトハ、間違ニ非ラザレドモ、コレノミガ唯一ノモノニ非ズ。又國家アリ社會アルコトヲ前提トシテ、今ノ神聖ナル性愛ヲ存在セシムルナリ。若シ性愛ナクンバ國家ナキガ故ニ、性愛ハ國家存在ノ根據タリトイハバ、色慾、食慾モ無クバ國家ハ無キモノ故、國家ノ存在ハ食慾ニアリ又色慾ニアリトイ

ハザルベカラズ。今日ノ自然論者ノイフガ如ク、性愛ヤ色慾ガ國家存在ノ根據ナリトセバ、何故ニ狼ヤ羊ヤ犬ノ間ニ國家無キカ。彼等ノ間ニモ性慾性愛在ルニ非ズヤ。此ノ點ヨリ見レバ、コレ計リニテハ不可ナリ、性愛ヲ以テ唯一ノ根據トセバ、國家ハ解スベカラズ。友愛モ存ス。生レテヨリ性愛ヲ知ラズシテ尙友愛アリ。奴隸スラ其ノ主人ヲ愛ス、更ニ人間ト動物ノ上ニモ愛在ルニアラズヤ。單ニ一方面ノ愛ノミヲ見ルベキニ非ズ。殊ニ差別愛ノミニ重キヲ置キテ論ゼルガ故ニ大缺陷ヲ生ジタリ。此ノ缺陷ニ乗ジテ起リタルモノガ即チ基督教ナリ。

「アリストテレス」ハ觀念上國家ハ個人ニ後レテ存スルモノニ非ザルコトヲ認ムレドモ尙發達ノ順序ヨリイハバ先ヅ個人在リ、家族在リ、次ギテ國家在リト説ク者ナリ。(人タル個人ハ自主團體ト離レテ其ノ以前ニ存スルモノニ非ザレドモ、アリストテレスハ常ニ差別及ビ個ニ重キヲ置クモノナリ)但シ「アリストテレス」ニヨレバ此ノ家族中ニハ奴隸アルコトヲ認メタリ。「キニコス」Ornikos派ノ「アンチステテリス」Anisihenesハ人間ノ平等ヲ重ンジ、奴隸制度ノ不自然ヲ主張セシガ「アリストテレス」ハ當時ノ社會ニ奴隸無キ家族無カリシヲ以テ比較研究ノ結果、奴隸制度ヲ是認セリ。惟ヘラク個人ノ内部ニ於ケル下級ノ心理作用ハ高等ナル心理ノ用ヲ爲スベキモノニシテ、劣等ナル個人モ亦家族ノ

根力ヲ自然ノモノトス

財產道具トシテ生レ來レルモノナリ。力役ヲ以テ其ノ職分トスル人間ナリ。其ノ劣等者ヲ使役スルハ吾人ガ善キ生活ヲ爲スノ要件ニシテ、同時ニ是等ノ劣等者ヲシテ其ノ道德ヲ實行セシムルハ至當ナリ。故ニ家族ニハ親子ノ間ニ支配ノ關係ノ存在スルノミナラズ、主人ト奴隸トノ間ニモ嚴格ナル命令服從ノ關係ノ存在スルモノニシテ、又之ヲ規律スルノ法律ナルベカラズト。サレバ彼ハ法律ニ從フ權力ヲモ自然ノモノトシテ是認シツツアル者ナリ。

第二 國家ハ自主獨立ニシテ各個人ノ道德生活及ビ安樂ヲ全フシ得セシムル最高ノ一體ナリ。國家ノ基礎ハ異性及ビ親子ノ愛並ビ支配ニ在リ。但シ之ノミニテ直チニ國家ヲ成スモノニ非ズ。吾人ハ善福ヲ全フスルコトヲ要求ス、故ニ其ノ知識ト意思ノ自由ニヨル實行トヲ發揚セザルベカラズ。此ニ於テカ一方ニ於テハ性愛等ヲ保全シ他方ニ於テハ自主獨立シテ完全ニ善福ヲ達シ得ザルベカラズ。此ノ目的ノ爲ニ必ズ存在スルモノハ即チ國家ナリ。サレバ善福ノ自主的到達ハ國家概念ノ要件ニシテ、國家ト國家ニ非ザル家族村落トヲ區別スルノ要點ナリ。人間個人アレバ已ニ善福ノ要求アリ。善福ノ要求アレ

ハ必ズ國家アリ。唯單純ナル性慾性愛等アルヲ以テ足リ然ル後ニ國家ヲ生ジタルモノニ非ズ。各個人ガ元來自主獨立ノ者ニ非ズシテ國家ガ自主獨立ノモノナリト。此ノ點ハ實ニ「アリストテレス」ガ「プラトーン」ノ基礎ノ上ニ立テルモノニシテ、國家ノ自足 *αὐτάρκεια* 自主ヲ説クモ「プラトーン」ガ至善ノ實現ニツキ、自己ノ力ニテ事足ルモノヲ國家ト認メタルト異ナル所ナシ。但シ兩人共ニ自主ト自足トノ觀念ヲ明瞭ニセズ之ヲ明ラカニセシハ近世ノ主權說ニシテ最高主權ト自主權トノ分析ニヨリ更ニ全キヲ得ルモノトイハザルベカラズ。

「プラトーン」ハ國家ハ至善ノ城ニ違スルニツキテ、自分ニテ事足ルモノナラザルベカラズトナセリ。自足ノ中ニハ自主ヲ含ム。「アリストテレス」ノモ二者ヲ包含シ、權力ニテ自己ノ自己ノ目的ヲ達スルハ自主的ニシテ、又其ノ内部ニテ性慾性慾等ヲ全フスルコトハ自足ナリトセリ。主權ノ觀念ハ近世ノ初メニ定マリタルガ更ニ之ヲ分析シテ最高主權ト自主權トニナシ、國家最小限度ノ存在ニハ自主權アレバ足ルトナサザルベカラズ。

第三 國家ハ此ノ種ノ自主的自足的有機體ナリ。國家ガ個人ノ幸福ニツキ自足的ナルコトハ其ノ特色ナレドモ、夫自身ハ又有機體ナリ。生物學ニ屬スル現象ニハ非ザレドモ政治學上ニ於ケル有機體ナリトセリ。蓋シ「アリストテレス」

「イス」ハ普遍ノ存在ヨリ國家ヲ説カズシテ、個物ニ擬シテ普遍ヲ説キシモノナレバ、彼ノ生物學的研究比較研究上此ノ結論ニ到達シタルナリ。而シテ此ノ有機體說ハ「ソフキスト」輩ノ國家原子說哲學上ノ原子說ニ非ズト相對立シテ國法學上永ク二大系統ヲナシツツアルモノナリ。

有機體トハ全部ニ重キヲ置キタル様ナレドモ、有機體ナドトイフハ個々ノ生物ニ倣ヒタル觀念ナリ、寧ロ之ヲ普通我トイフノ優レルニ加カズ。

第四 國家ハ公民ヨリ成ルモノナリ。國家ハ一大有機體ナレドモ、人間タル個人ヨリ成ル。此ノ人間ハ唯人間タル事ヲ以テ足レリトセズ、必ず自由ノ人民タルコトヲ要シ、一方ニ於テハ人民ノ集會ヲ構成シ、又或條件ノ下ニ文武官ニ就クモノトシ、他方ニ於テハ國法ノ定ムル所ニ從ヒ、人民相互ノ間ニ於テ其ノ獨立ヲ主張シ得ルモノトス。此ノ國家表現人國權行動 *πολιτεία* ノ組織ガ即チ憲法 *θεμελιώδης νόμος* ナリ。今次ギニ數項ニ別テテ彼ノ國憲論ヲ説明セン。

### 第三項 國家形相論

#### 第一目 總說



### 第二目 權力分配ノ標準

普通ノ人カ  
カズ中  
ノ其心  
分ト間  
配ヨリ  
ク分  
ノレテ

權力分配ノ原働カハ國ニヨリテ種種ナルベクシテ一定スルコト能ハズ。是彼ノ個個ノ研究ヨリ溯リタル當然ノ結論ナリ。併シ彼ハ尙プラトーンノ根據ハ上ニ立テルガ故ニ理想國ニ於テ準據スベキ權力分配ノ標準ヲ述ベテ之ヲ幾何學的正義ト爲セリ。

「プラトーン」ノ正義又ハ公平ハ「アリストテレイス」ニヨリ分析セラレタリ。アリストテレイスモ亦「プラトーン」ノ如ク全部ノ調和ヲ得テ一方ニ偏執スルコトナク中庸ヲ得ルヲ以テ正義トナセリ。過不足ナク平ラカナリ得ルヲイフ。「ピタゴラス」ノ學徒ガ形ノ調和ヲ主トシ「ヘーラクライトス」ガ各反對矛盾スルカハ統一ヲ基礎トセシハ真空論ノ積極的方面ナリ。「ソークラテイス」ガ知識ヨリ入リ不識ヲ以テ終リ「デーモクリトス」ガ實行上ヨリ中ヲ說キ「プラトーン」ガ節制ヲ重ンジ「アリストテレイス」ガ中庸ヲ唱ヘシハ真空論ノ消極的方面ナリ。而シテ

中庸ヲ得ルニヨリテ存スル正義ヲ種別セシハ「アリストテレイス」ノ功績ナリトス。

真空ヲ大分イヒシハ「ヘーラクライトス」ナリ。「プラトーン」ハ「ヘーラクライトス」ヲ學徒ヨリ教ヲ受ケシヲ以テ關係アリ「デーモクリトス」モ「ヘーラクライトス」ト關係アリ。權力ノ分配ハ財ノ分配ト相並ンデ中心點トナル問題ナリ。又權力分配ニ一ツノ解決ヲ與ヘタルハ「アリストテレイス」ナリ。

「アリストテレイス」ニヨレバ正義ニハ三種アリ。其一ハ分與的正義 *Ansteilende Gerechtigkeit* トイフ。即チ人格者ノ價值ニ從ヒ等シキ者ノ間ニハ等シキ權力ヲ分配シ不等ノ者ノ間ニハ之ニ相應シテ不等ニ權力ヲ分配スルモノナレバ結局各人ニ相當スル分配ヲナスモノナリ。其二ハ製作的正義 *Herstellende Gerechtigkeit* トイフ。即チ各個人ヲ皆平等トシテ全ク均一的ニ取扱フモノナリ。「ルソー」 *Rousseau* ガ法律ノ前ニ各人ハ平等ナリトナセシモコノ意味ナリ。分與的正義ハ即チ配分的正義ニ當ルモノニシテ又幾何學的正義 *Geometrische G.* ノ稱アリ製作的正義ハ即均一的正義ニ該當スルモノニシテ又算術的正義 *Arithmetische G.* ノ稱アリ。其三ハ報復的正義 *Entgeltende Gerechtigkeit* トイヒ各人ガ爲シタル功績又ハ生ゼシメタル結果ノ如何ニ應ジテ之ニ相應スル報酬ヲ與フ

ル、モノナレバ、主トシテ私人生活ニ於テ存スベキモノトセリ。但シ彼ノ報復的正義ハ成績ノ如何ニ從フモノナレド精密ニ吟味セバ此ノ場合ニモ或ハ分與的正義ニヨル場合トアルベキモノナリ。從ツテ正義ヲ大別セバ歸スル處二トナル。是ニ至リ平衡ト公平トノ觀念ハ分岐セラレ、アリストテレ、イスハ政治上ノ正義トシテハ分與的正義ニヨルベキモノナルコトヲ主張セリ。是レ彼ノ千古ノ卓見ナレドモ其ノ差別アル各個人間ヲ支配スベキ正義ノミヲ根據トシテ論ジツアル所ハ又其ノ弱點トイフベク後代ノ基督教等ノ職分ハ已ニアリストテレ、イス等ノ說ニ於テ想像スルコトヲ得ベシ。

權力分配ハ昔ヨリ大切ノモノナリキ。經濟學ハ財分配ノ研究ヲ主要事項トナセドモ社會上ノ大切ノ一問題ハ權力ノ分配ナリ。社會ガ大眾ヨリ成ラバ其ノ成立セシカヲ如何ニ分配スベキカハ大切ノ問題ナリ。希臘ニ於テ絶エズ爭アリシガ、アリストテレ、イスハ「プラトーン」ヲ承繼シテ、中ヲ離レザル正義ニヨリテ權力ノ分配ヲ定メントセリ。

### 第三目 最良ノ國家形相

#### 第一支 總說

第一「アリストテレ、イス」ハ實驗的比較的研究ヨリ冷靜ニ國家形相ヲ研究セリ。故ニ其ノ結論トシテハ理論上最良ナル國家ノ形相無シト説ク者ナリ。國家ノ形相ハ事實上其ノ國家ニ現存スル社會力及ビ既往ニ存在セシ社會力ノ如何ニ由ツテ決スベキモノニシテ一般ニ如何ナル形相ヲ最良トナスカヲ論定シ得ベカラズトナセリ。若シ國家ノ狀態通常ナラバ社會ノ各階級ガ有スル性質及ビ勢力ノ關係ニヨリ之ニ相應スル政治ヲナスコトヲ要スベク若シ歴史的ニ偉大ナル門閥大家族又ハ人民ノ特ニ敬慕スル大人在ラバ君權政體ヲ採ラザルベカラズ否ラザルモ一般人民ノ精神ノ發達ニシテ幼稚ナラバ君權政治ハ最も適當ナル政治ナリト言ヘリ。客觀的ニ觀察セバ國家ニ必然的ノ形相アルコトナク社會力ノ關係ニ由リテ定マルコトハ誠ニ尤ノ思想ナルガ其ノ背後ニ大ナル缺陷ヲ包藏スルコトハ後ニ彼ノ革命論ト共ニ之ヲ論評スベシ。

「アリストテレ、イス」ガ萬國ニ通ジテ最良ナル國家ノ形相ヲ見出スコト能ハズ各國ノ社會狀態ニ應ジテ異ル故ニ君權國ヲ可トスル所モアルベク貴族政體ヲ適當トスル地モアルベク士民政體ヲ必要トスル國モアルベシト論結セシハ正當ナリ。國體ハ國國其ノ建國ノ精神、第一事實ニヨリ之ヲ異ニスルコトハ已ムヲ得ザルコトデアリ又社會ノ事情ノ變遷ト共ニ種々ニ

執着スベキ  
客觀在ルコ  
トナシ  
主客觀ニ立  
ツコトヲ要  
スル

流浪ノ人間  
ノ心持ナリ

政體ノ變動スルコトハ然モアルベキコトナリ。  
然シ彼ガ國家ノ不動ナルト共ニ變動スベカラザル國體ト其ノ根據ノ上ニ變動ヲ許ス政體  
トノ區別ヲナサズシテ孰レモ時ノ社會力ノ變遷ト共ニ改廢セラルベキコトヲ論結シツ  
アルハ彼ノ大ナル缺點ナリ。純客觀的ノ立場カラ國家形相ノ變遷ヲ見物セバ社會力ノ變轉  
ト共ニ社會ノ組成モ移動シ國家ニ興廢アルコトハ之ヲ否定スルヲ得ザルモ國家ノ身ニナ  
テ主觀的ニ最良ノ形相ヲ求ムルトキハ唯何ノ最良ノ形相モ無イトイフテ居ルツケニハ參ラ  
ス。餘所カラ見物スルノミデハ實ニ本當ノコトハ分カラヌ深切ニ國家ノ立場ニナツテ考  
シテ見ネバナラヌ。「アリストテレス」方「國家ノ形相ニハ最良ノモノナク社會力ノ如何ニヨ  
リ異ル君權國ガ一番宜シトモイヘヌ私ヲ營マヌ優等ノ家柄在ラバ君權國ヲ成スニ適スルモ  
人民ガ次第ニ發達スレバ趣キヲ異ニスル」ナドトイフタノハ一通リノ他人ノ挨拶トイフモノ  
ナリ。世ノ中ノ眞面目ナル國家生活ニハ一通リノ他人挨拶ノミデハ濟マヌ。

彼ハ社會ニ於テ義務ヲ負ヒ得ル能力アル者ニ之ニ比例スル權利ヲ獲得セシ  
メントスル者ニシテ社會力ノ價值ニ應ジテ權力ノ分配ヲ定メントスル者ナリ。  
「マキアヴェリ」Macchiavelli參照サレバ武士ノ最モ優勢ナル社會ニ於テハ貴族政治  
ヲ可トスベク人民ガ一般ニ高等ノ教育ヲ有スルナラバ士民政治ヲ以テ適當ナ  
リトセリ。故ニ最良ノ國家形相ハ時ト場合ニヨリテ決スベキモノト斷定シタ

古神道ヨリ  
イヘバ皇國  
ハ神國ノ實  
現ニ外ナラ  
ズ

ル者ナリ。是レ近世ニ入りテ「アリストテレス」ノ說ニ基ヅキ君權國ヲ覆サシ  
トスル者ヲ生ジタルト共ニ又彼ノ說ニ基ヅキ君權國ヲ維持センガ爲ニ人民ノ  
教育大人ノ自由發達ヲ阻害セントスル心得違ヒノ者ヲ生ゼシメ種種ノ行キ違  
ヒヲ來シタル所以ナリトス。

「アリストテレス」ノ門下「ディカイアルコス」Dikaiarch (Dikaureus)ハ師ノ研究方針ニ從ヒ比較  
研究ヲナシ國家ノ形相ヲ定ムベキ自然條件ヲ研究シタレドモ純客觀的ニ冷淡ナル研究ヲナ  
セシマデニテ師ノ大ナル缺點ハ元ヨリ其ノ儘ニ殘サレタリ。  
「アリストテレス」ガ國體政體ノ區別ヲ立テズ社會ノ變遷ニヨリテ國家ノ形相ガ變ズベシ  
トナセシハ大ナル誤リナリ。然シ國ニヨリテハ建國ノ大信仰大理想ヲ缺キ其ノ第一事實ガ  
神聖ナラズ從ツテ彼ノ說ノ如ク實力ノ變動ト共ニ興廢スルノ巴ムヲ得ザルモノアリ。此ノ  
種ノ國ニテハ歴史上モ愚民政策ヲ執リ來リタルコトハ著例アリ。支那ノ如ク元存在スル根  
本組成ヲ破ツテ新タニ國ヲ立ツル所デサヘ、伯夷ハ暴ヲ以テ暴ニ易フ其ノ非ヲ知ラズ云々」  
トイヘリ。況ンヤ建國ノ神聖ナル國ニ於テオヤ。  
皇國ノ如キハ少クモ國民ノ普遍的信仰理想タル惟神道ニ基キ成立存在シ唯一不動ノ第一  
事實ニ根據シテ確立シツツアル國家ナリ。是等ノ信仰理想並ニ第一事實ハ眞面目ナル國家  
生活ヲナスニ當リ純理ト相待チ之ニ不動ノ根柢ヲ與ヘツツアリ絶エザル進歩ヲナスガ爲ニ  
之ニ不變ノ基礎ヲ附與シツツアリ。唯純理ノミニテハ役ニ立タズ必ズ之ト相待ツ事實及ビ  
信仰理想ヲ要スルコトハ數理ガ品物ト相待ツト同ジク唯變遷ノミニテハ發達ナク必ズ不動



ノ根據ヲ要スルコトハ、汽車ノ走ルニハ鐵道ガ確實不動ナラザルベカラザルガ如シ。支那ニテモ西洋ニテモ是等不動ノ第一事實及ビ信仰ノ研究モ實際モ發達セズ、從ツテ「アリストテレス」ノ説又ハ類似ノ思想ガ其ノ儘實行セラルル餘地ガ在リタルナリ。皇國ニテハ是等ノ思想ニ乘ゼラルル空所無キ故心配スベキ所ナシ。人民ノ爲メヲ圖レバ圖ル程、人民ノ人格知識財產ガ發達スレバスル程、國家ノ根本組成ガ愈々確實トナリ國體益々其ノ光ヲ放ツニ至ルベシ。皇室ノ尊嚴ヲ増進スルコトト人民ノ獨立獨歩トハ決シテ矛盾スルコトナキガ我國柄ナリ。

第二「アリストテレス」ハ總ベテノ場合ニ於ケルガ如ク、偶然ナル個個特定ヲ重ンジ、又客觀的ノ狹キ自然ノ法則ヲ抽象スルコトニ傾キテ、主觀ヲ擴張シ不動ノ信仰理想ヲ立テ大ニ創設作用ヲ行ハントスル熱烈ノ氣慨ニ富ミタル者ニ非ズ。故ニ「プラトーン」ガ理想國ヲ求メタルニ反シテ最良ナル國家ノ形相無キコトヲ説クコトヲ以テ甘ンジタリ。然レドモ彼モ尙「プラトーン」ノ弟子タル方面在ルヲ失ハズ、模範的政體ヲ畫キ、彼ノ分與的正義ガ其ノ儘行ハレ得ベキ社會ヲ想像シ、之ニ必要ナル條件場合ヲ列舉セリ。其ノ條件ハ略「アテーネ」ニ適シ、其ノ大サハ彼ノ差別的愛情等ヲ中心トスル心持ト相待ツテ極メテ狭小ナリ。

但シ今日ノ如ク精神的物質的交通完全ナラズ、尙大ナル國家ヲ成スベキ人民ノ準備ナキガ故ニ、大ニ怨スベキ所ナキニ非ズ。

### 第二支 模範的政體

國家存在ノ自然ノ大目的ニ從ヘバ、國家ニモ亦不易ナル形相ナカルベカラズ。其ノ形相ハ國家ニ入用ナル財貨ノ獲得及ビ人民一般ノ安樂ニ一致シ、尙國家自身ノ自主自足ノ性質ヲ發揚シ得ルモノナラザルベカラズ。此ノ條件ヲ具備スル爲ニハ外敵ノ攻撃ヲ受クルノ患少クシテ防禦ニ容易ニ、且海ニ臨ミタル豊穡ナル陸地ニ建テラレタル一市國タルコトヲ要ス。其ノ人民ハ希臘人タルベク其ノ人數ハ多多益、辨ズベシト雖モ容易ニ計算シ得ベク、又監督シ易キコトヲ要スルガ故ニ、此ノ程度ヲ超エテ夥多ナルベカラズ。而シテ其ノ人數ハ常時一定數ヲ保持スルコトヲ必要トスルガ故ニ、結婚及ビ出生ニ關シテハ嚴格ナル規則ト監督トノ存在ヲ前提ス。少年ノ教育ハ公共的ニシテ平等ヲ主義トス。是等人民ハ皆相當ノ資産ヲ有シ、相互ニ均一ナル土地ヲ有シテ勤勉ナルベキモ、農工商ニ關スル勞務ハ奴隸屬セザル下民ニ委スベシ。

以上ノ社會的基礎ノ上ニ成立スル政治生活ニ於テハ、中等社會ニ重キヲ置キ、

各人皆平等ニシテ能力年齢ノ差異ニヨリ其ノ受クル權力ノ分配ヲ異ニス。壯年者ノ掌ル所ハ兵馬ナリ。執行ナリ。高年者ノ分擔スル所ハ決定並ビニ裁判ナリ。而シテ退職セル老者ハ宗教上ノ勤務ニ服スベシ。是レ一般人民ノ幸福ヲ目的トスルニ最モ適當ナルモノニシテ即チ年齢能力ニヨル貴族政治ナリ。此ノ種ノ適當ナル貴族政治ハ模範國ノ形相ヲ定ムベキモノナレドモ若シ門閥又ハ一個人トシテ精神上偉大ナル人格者アリテ遙カニ一般人民ニ優越スルナラバ自由國ニ於テモ王政ヲ可トスベク何人モ王權ニ服從セザルベカラズ。

「アレクサンドロス天王ヲ教育シ其ノ周圍ノ未開國ヲ見聞セシ「アリストテレス」ハ「マケドニア」Makedonia及ビ劣等國ヲ偶然ナル比較ノ材料トナシ且各個人ヨリ觀察スルヲ知リテ人類全般ヨリ見ルコトヲ知ラズ。故ニ彼ノ國家ハ一小市國ニ止マリ又外國ノ國家形相ガ一國ニ及ボスベキ關係ヲモ研究セザリキ。從ツテタダ英雄アレバ君權國ヲ可トシ人民幼稚ナルトキモ亦然リト斷案セシガ斯カル單純ノワケニハユカヌ。今迄共和國體ヲ採リ來リシ國ハ假令無私ヲ旨トシテ賢明ナル長家族ヲ生ズルモ直チニ君權國タル能ハズ。又外國ニ斷行力ニ富ム多數有力ノ君權國在レバ中立ヲ標榜スルカ他ノ大國ノ保護ヲ受ケザル限り貴族政治又ハ民權政治ヲ維持スルコト困難ナリ。現ニ亞米利加合衆國ノ如キハ大國ニシテ海ニ取捲カレ其ノ他經濟上等種々ノ關係在リテ可ナルガ佛蘭西ハ大ニ困難セリ其ノ自由斷行力ニ至ツ

テハ國家組織上到底他ニ及バザレバナリ永遠ノ中ニハ更ニ君權政治ニ變ズルナキヲ保セズ要スルニ偶然ナル材料ノ比較研究ニ偏セズ世界全體ノ大勢ヲモ鑑ミ且國體ト政體トヲ分ツテ議論セザルベカラズ。

### 第三支 實際的政體

模範國ハ國內ノ人民一般ノ幸福ヲ達スルモノナレドモ歷史上存在スル國國ニ於テハ各人ガ各自ノ目的ヲ求メ各別ノ幸福ヲ得ント勉メツツアリ。故ニ幸福ト認定法トハ合一セズ。認定法ヲ遵守スルニヨリテ幸福ヲ得ルハ唯少數ノ有力者ノミナリ。多數人民ハ認定法ノ遵守ニヨリテ必ズシモ幸福ヲ得ルコト能ハズ唯遵守セザルベカラザルモノトセラレルガ故ニ之ヲ遵守スルノミ。國家ハ特ニ各個人ニ不等ノ方面アルガ故ニ成立シ得レドモ此ノ不等ノ標準ガ人格ノ優劣ニヨラズ強弱ニ重キヲ置クト共ニ權勢ノ存在スル形式ニ從ツテ國家ノ憲法國家ノ形相ハ區別セラレ社會ノ強カガ社會萬般ノ生活ノ重要ナル原働カトナルニ至ルモノトス。

然レドモ國家生活間ニ存スルモノハ強カノミニハ非ズシテ極メテ種種アリ。

πολιτικὴ  
τυραννίς  
δημοκρατία  
ἀριστοκρατία  
ἐπιτοκρατία  
παρτία

社會ニハ教育無教育、富貴貧賤、自由、不自由等ノ品質上ノ差等アリ、又多數少數ノ數量的差別アリ。是等ノ元素ノ一ツガ主トナリテ定マレル政體アリ、又ハ是等ノ數多ヲ混合シテ成レル政體アリ。前者ヲ偏重政體トナシ、君權政治 Monarchie 暴君政治 Tyrannis、平民政治 Demokratie、寡頭政治 Oligarchie 之ニ屬ス。後者ヲ折衷政體トナシ、貴族政治 Aristokratie 及び士民政治 Politie 政治力之ニ屬ス。

第一 偏重政體。

一 君權政治。君權國ハ精神的道德的ニ優越セル一家族ヲ中心トシテ成立シ、君主ハ或ハ法ニ依リ、或ハ法ニ依ラズシテ、絕對ニ服從セル人民ニ對シ、家長的ノ權力ヲ行フ。之ニモ亦種種アリ。眞ノ君權國ハ、此ノ種ノ淪ラザル家族ヲ得ルコトノ困難ナルト共ニ、困難ナルベク、大人格者ニヨリ一時自由民ヲ支配スルノ目的ハ反ツテ貴族政治ニヨリテ達シ得ラルベシ。

蓋シ無私ニテ正義公平ノミヲ行ヒ、尙其ノ門閥ト人格トノ優越ヲ維持シ得ベキ家族ハ我が日本ノ皇室ニ於テ之ヲ見得ベキノミ。西洋ノ王族ハ各國ヲ通ジ、人民以外ニ在リ之ト對抗シテ私ヲ主張スル特殊ノ王族階級ヲナシツツ在リテ、各國ヲ一團トシテ見レバ尙世襲的貴族政治ノ趣味ヲ帶ブ。是レ我國ノ皇室ガ人民以外ニ在スル階級ニ非ズシテ、人爲ニ到達シ得

ナル神聖ノ地位ヲ占ムルモノト、其ノ趣ヲ異ニスル所ナリ。

Βουταρία

二 寡頭政治。寡頭政治ノ主義トスル所ハ財ニ在リ。富者ハ元ヨリ少數ナルガ、財力アルガ故ニ多數ヲ斥ケテ國事ヲ專ラニス。之ニモ亦種種アルガ、世襲的ニシテ法ノ拘束ヲ受ケザル者ヲ主體政治 政治 Dynastie トナス。

三 平民政治。平民政治ハ萬民ノ自由平等無規律ヲ主義トスルモノニシテ徒ラニ多數ニヨリ多數ヲ名トシテ行動シ、學識アリ德望アリ資産アル少數者ヲ壓倒スルモノナリ。古代遊牧ノ民及ビ農民ノ自由平等政治ハ良好ナルモノナリシガ、市民ノ此ノ種ノ政治ハ極メテ弊害多シ。特ニ法律ヲ無視シテ人民ノ決議ニヨリ行動スル場合ノ如キ、多數即チ專擅的暴民ナリ。

四 暴君政治。暴君政治ハ平民政治及ビ寡頭政治ノ最モ甚ダシキモノノ混合ニ該當ス。其ノ根柢タル強力ハ傭兵ニヨリ組織セラレタル暴力ニ在リテ其ノ目的トスル所ハ國君ノ私慾ヲ達セントスルニ在リ。故ニ政體中最下位ニ在ルモノナリ。『プラトーン』 國家論參照。

第二 折衷政體。

折衷政體ハ社會各種ノ元素ノ調和ヲ目的トナシ、一方ノミニ偏重セザランコトヲ期スルモノナリ。故ニ偏重政體ニ對シテ折衷的政體トイフコトヲ得ベシ。此ノ政體ハ各種ノ勢力ヲシテ相節制セシメ、其ノ間ノ調和ヲ圖ルガ故ニ良ク分與的正義ヲ實行シ得、從ツテ又健全ニシテ最モ永續的ナリ。但シ之ヲ創設スルコト最モ困難ナルガ故ニ又稀ニ見ル所ナリ。現今ノ立憲政治ノ如キハ此ノ種ヲツアテ、中道ヲ現ジ、ノ完全ナルモノニシテ眞空ヲ主

一 貴族政治。人格能力教育ヲ主義トセル少數者ヲ中心點トシテ、平民政治ノ人民平等ノ原則及ビ寡頭政治ノ財産ノ主義ヲ加味シタルモノニシテ、健全ナル政治トイフベシ。惟フニ現今ノ立憲政治ノ如キハ大ニ之ニ接近セルモノナリ。

二 士民政治。此ノ政治ノ中心點トスル所ハ中等社會ニ在レドモ、政治上ノ重要ナル權勢ハ法定ノ標準又ハ試驗ヲ經タル者ニ分配シ、尙財産及ビ其ノ多寡ニモ留意シ、之ニモ相當ニ權力ヲ分配スル政治ヲイフナリ。而シテアリストテレスハ此ノ士民政治即チ中等社會ヲ主トスル折衷政治ヲ以テ、反ツテ貴族政治ヨリモ成立シ易ク覆サレ難キモノトセリ。故ニ偏重政治ハ差シ當リ先ヅ士民政治ニ近ヅクコトヲ安全ナリト考ヘタリ。士民政治ガ模範政治ナリトイフニ非ズシテ、差シ當リ最モ容易ニ達シ得ラルル比較的良好ナル政治ナリト考ヘタリシナリ。

#### 第四項 國權分類論

國家ハ其ノ組成ニヨリテ社會力ヲ利用シ、其ノ政治的行動ヲ爲シ得ルモノトス。此ノ社會力ヲ適宜ニ組成シ、之ヲ分類スルコトハ國家ノ活動目的ト相離レ得ザルモノナリ。其一ハ法律及ビ處分ニ關スル國家意思ノ決定ヲ爲スモノニシテ政府ナリ。其二ハ此ノ決定ニ基ヅキ之ヲ執行シ、又或僅少ノ範圍ニ於テ尙國家意思ヲ決定シ得ルモノニシテ官廳並ビニ役人ナリ。其三ハ國家ノ裁判ヲ爲スモノニシテ裁判官ナリ。此ノ三者ハ相對立シ相互ニ過不足アルベカラズ。其ノ均衡ヲ失ヘバ國家ハ衰フベク、中庸ヲ保テバ國家ハ健全ナルベシ。故ニ此ハ三者ノ力ノ適當ナル牽制並ビニ調和ガ國家組成ノ目的タルベシ。夫ノモン

テスキュー、Montesquieuノ三權分立論ハ、既ニ遠ク此ノ所ニ萌セリ。

「モンテスキュー」ノ言ヒシガ如ク明確ニハアラザルモ、已ニ是レ丈ケノコトハ藏セラレタリ。

第一 政府。平民政治ニ在ツテハ政府最高ノ決意權ハ人民一般ノ手ニ在リ、寡頭政治ニ於テハ少數ノ財產家ニ在リ。貴族政治及ビ士民政治ニ於テハ民會ガ重要ノ地位ヲ占メ、大切ナル權限ヲ有スレドモ、最後ノ決意ハ選舉又ハ抽籤ニヨリ定マリタル首長ノ爲ス所タリ。

第二 官廳役人。官廳及ビ役人ノ種類權限及ビ其ノ任免ハ憲法ノ性質ニヨリ又任意ノ定メ方ニヨリ極メテ複雑ナルベシ。平民政治ニ於ケル主タル官廳ハ執行ヲ監督シ又ハ政府ノ或議事ヲ準備スル參事會ニシテ、民會ヲ構成スル平民中ヨリ構成セラレ、民會ハ民會トシテ別ニ議決權ヲ有スルモノナリ。寡頭政治ニ在リテハ最高官廳ハ財產アル貴族中ヨリ構成セラルレドモ、夫自身最高ノ決意ヲナシ得ルモノニ非ズ。此ノ點ニツキテモ貴族政治、士民政治ハ中間ノ地位ニ在リ。又役員ノ任免ニツキテハ選舉ト抽籤トノ二方法アレドモ、平民政治ニ在リテハ一般人民ノ何人タルヲ擇バズ其ノ官職ニ當ルコトヲ主義トスルガ

故ニ抽籤ヲ以テ理想トナス。但シ普通選舉ニヨルコトナシ。寡頭政治ハ諸種ノ制限ノ下ニ存スル選舉法ヲ採用ス。貴族政治モ尙名譽職ヲ設ケ、一般士民ヨリ一般士民ヲシテ選舉セシメタル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得。士民政治モ亦宜シキニヨリ諸種ノ方法ヲ採用ス。

第三 裁判官。裁判官ニハ又同様ノ問題ヲ生ズレドモ寡頭政治ニ在リテハ任命セラレタル者ハ裁判官ノ職ニ就クコトヲ辭スルヲ得ズ。平民政治ニ在リテハ訴訟當事者ノ選舉シタル仲裁者ヲ以テ裁判官トナス。士民政治ハ前兩者ノ制度ヲ併用シ強制的ニ任命スル者及ビ民選ニヨル者ヲ以テ調合シテ裁判制度ヲ定ム。

### 第五項 革命論

#### 第一目 要旨

「アリストテレス」ノ革命論ハ彼ノ「最良ナル國家ノ形相ノ論」ト離ルベカラザルモノニシテ、實ニ其ノ當然ノ結論ナリ。彼ハ其ノ師「プラトーン」ノ如ク熱心ニ

理想國ノ實現ヲ主張スル者ニ非ズ、又其ノ師ガ國權ノ歷史的變遷ノ法則ヲ示シタルコトヲモ駁撃シ、一ニ絶エズ動搖スル社會力ヲ標準トシテ分與的正義ニ反セザル様ニ社會ニ於ケル權力ノ分配ヲ定メ之ニヨリテ社會ノ組成ヲ立ツベキコトヲ主張セリ。然ルニ社會力ハ内外各般ノ事情ニ應ジテ絶エズ變遷シ、其ノ優劣並ビニ効用ヲ異ニスルニ至ルガ故ニ、國憲ハ其ノ後ヲ追フテ常時改革セラレザルベカラズ。社會ノ情況ヲ見其ノ實力ノ存スル所ヲ洞察シ、之ヲ救済スルハ政治家ノ任務ナリ。若シ社會力ノ變遷ト國憲ノ改革トガ如何ニシテモ其ノ鈞合ヲ得ザルトキハ、遂ニ革命ノ必要ヲ生ズト。

例ヘバ一國ノ農業ガ類レ商工業ガ勃興セバ、貴族政治ハ當然廢レテ民權政治トナラザルベカラズ。又人民一般ガ次第ニ發達スルニ反シテ治者ノ家柄ガ衰フルトキハ、君權國ハ到底維持シ難キニ至ルベシ。此ノ種ノ場合ニハ或ハ國外ノ勢力ノ干涉ヲ惹起スルコトアルベク、或ハ國內ニ於ケル種種ノ政治的社會的運動ヲ發生セシメ、利益權勢ノ爭奪ヲ事トセシムルコトモアルベシ。然レドモ社會力ノ變動ニ拘ハラズ、國家組成ノ變遷ヲ妨ゲ其ノ永續ヲ圖ラントセバ、勢ヒ

一面ニ憲法其ノ他ノ形式的認定法ヲ嚴行シ、他面ニハ社會力實際ノ關係並ビニ其ノ自然ノ發達ニ注意シツツ絶エズ教育等ニヨリテ社會力ヲ調節シ、國憲ノ維持ニ危険ナカラシメザルベカラズ。然モ憲法ガ本來中庸ヲ得ザルニモ拘ハラズ、尙不當ノ手段ヲ用キズシテ之ヲ維持セントスルナラバ、其ノ憲法ノ主義ヲ多少緩和シツツ行動スルコトヲ要スベシ。此ノ場合ニ其ノ反對黨ヲ寬恕シ大度ヲ以テ之ヲ遇スルコトノ如キハ、殊ニ必要ナル條件ナリ。但シ斯ノ如ク人爲ニヨリ不自然ニ國憲ヲ維持セントスル結果ハ、多クハ益反對ノ傾向ヲ強メ、不當ニ壓セラレタル社會力ニヨリ激烈ナル革命ヲ惹起セシムルモノトス。革命モ亦自然ナリ、必要ナリト。

革命論ノ根據ハ彼ノ國家最良ノ形相論ニ在リ、其ノ最後ノ根據ハ彼ノ現實主義ヲ帶ビタル哲理ニ存ス。是等ノコトハ今論評セントスル所ナルガ、極ク卑近ノ所ニテ論ズルモ、彼ハ國體ト政體トノ區別ヲナサズ、又立國法(即チ建國法)ト憲法トノ區別ヲモ知ラズ。是レ彼ノ大缺點ニシテ、今日ノ西洋ノ國家論モ皆其ノ影響ヲ蒙リツツアリ。政體ノ論、憲法ノ論トシテハ「アリストテレス」ノ説モ理由ナシトイフベカラズ、然シ國體ノ論、建國法ノ論トシテハ大ニ異議在リ。サハイヘ之ヲ以テ彼ノ知慧ノ足ラザル所ナリト結論スルニハ非ズ。彼ノ研究法ガ現實ナル個個ノ國家ヲ探ツテ分析スルコトヲ主トセシニ、恰モ其ノ材料トナリシ、各國ガ其ノ根柢

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第六節 「アリストテレス」 國家論 革命論 二九二  
ヲ確實ニセザリシ故、遂ニ此様ナル結論ニ到達シタル方面モアリシナルベシ。彼ニシテ若シ  
皇國(日本國)ノ存スルヲ知リタランニハ自ラ其ノ論法ヲモ異ニシタルナラン。

## 第二目 論 評

「アリストテレス」ノ革命論ハ如何ニモ精密ナルガ如ク公平ナルガ如シト雖  
其ノ大局ヲ誤レリ。彼ノ哲理、彼ノ研究方法ノ範圍内ニ捉ヘラレテ、此ノ議論ヲ  
味フモ遂ニ其ノ當否ヲ判斷シ得ベカラズ、宜シク根本ヨリ彼ノ思想ノ全體ヲ觀  
ザルベカラズ。何ントナレバ折衷混合論者ニ非ザル、彼ノ革命論ノ缺點ハ彼ノ  
哲理論、彼ノ研究方法、ヨリ當然ニ來ルモノニ外ナラザレバナリ。

第一 現實主義ニ偏重ス。現代人ノ眼ヲ以テ見レバ、アリストテレスハ現  
實主義ニ偏重シタル者トハイフベカラズ、現時ノ學風ハ彼ヨリモ一層遙カニ現  
實的ナリ。然レドモ有ラユル時代ニ亘テ評スルトキハ、彼ハ尙現實主義ノ論者  
タル資格ヲ失ハズシテ、此ノ評ハ特ニ彼ノ國家論ニ於テ顯著ナリ。現實ノミヲ  
見ルガ故ニ、專ラ動搖スル社會力ニ留意シ、特ニ意思力加之強カニ重キヲ置キ、之

表現ノ哲理  
ハ理想ト現  
實トヲ調和  
スルモノナ

ニヨリテ、國家ノ根本組成ヲ論定セ、セントセシナリ。社會力ノ如何ガ國家ノ組成  
ト離ルベカラザル關係アルコトハ充分ニ之ヲ認メザルベカラズト雖、之ト相待  
テ其ノ根柢トナリツツアルモノハ社會ノ普遍的信仰ナリ。社會力ハ  
變遷スト雖、普遍的信仰理想ニ至ツテハ不動ナリ。各個人ガ其ノ利益ヲ主張シ  
目的ノ爲メニ離合スルコトト雖、レザルモノガ社會力ナリ、然シ各人ガ皆其ノ己  
ヲ沒シ我ヲ擴張シツツ萬人一體トナツテ創設作用ヲ行フニ當リ、根本的標準ト  
ナルモノガ此ノ普遍的理想信仰ナリ。是レ實ニ歷史的ノ情實ヲ含味スル外ニ、  
尙理想國ヲ觀念スルコトノ必要ナル所以ニシテ、プラトインノ卓越セル所ナリ。  
神國ノ理想ノ存スル所以ニシテ、皇國ノ信仰ノ動カス能ハザル所ナリ。然ル  
ニ「アリストテレス」ハ現實的ナル社會力ノミヲ見、其ノ背後ノ理想ヲ見ザリシ  
ガ故ニ、表面ノミヲ求メテ根柢ヲ探ラズ、從ツテ兩者ノ調和ヲナスニ至ラザリシ  
モノナリ。國體ト政體トノ別立國法ト憲法トノ別、自主表現人(即チ總攬表現人)  
ト被總攬表現人トノ區別等ニ想到セズ、政體上ノ議論ト國體上ノ議論トヲ混同  
セシモ、全ク之ガ爲ナリ。

國體ハ明確ニモ  
ナル上ニ確モ  
シテ其ノ所  
シタル其ノ  
ハタケル所  
ナキニモ  
益々之ヲ  
鍊セバ  
ナクモ

特殊ト普通  
トノキハ  
見ルノキハ  
トノキハ  
ニ表現ス  
ニ歸ス

ツマリ「アリストテレス」ハ近小ノ方面ノミヲ見テ實證論的ニ研究シ、遠大ノ方面ヨリ理想  
的ニ觀察スルコトヲサザリシナリ。我々日本人ハ此ノ近小ノ方面ニモ留意シ之ニヨリテ  
得ラルル法則ヲモ充分利用セネバナラヌガ是等ヲ 皇國古來ノ不動ノ大理想大信仰實現ノ  
爲ニ利用スベキコトヲ忘レテハナラヌ。此ノ 皇國ノ理想信仰ハ古神道即チ惟神道(隨神道)  
ニ外ナラヌ。

第二 個在主義ニ偏重ス。「アリストテレス」ハ個人ノ外ニ之ヲ統括スル全  
部ヲ見ザリシニハ非ザレドモ常ニ個人ヨリ出發スルノミニシテ是等ヲ統括ス  
ル普遍的存在ヨリモ出發シ各個人及ビ社會力ヲ説クコトヲ忘レタリ。個我在  
ツテ後其ノ間ノ組成ヲ得ルニヨリ全部在ルヲ知レドモ普遍我及ビ之ト離レザ  
ル組成在ルガ故ニ各個我ノ存在シ得ル所以ヲ説クコト充分ナラズ。故ニ個我  
ヲ以テ動カスベカラザルモノトナシ反ツテ社會根本組成ノ動クベキコトヲ認  
メ。社會力ノ變遷ニ伴フテ國家ノ根本組成ヲ改革スベキ必要ヲ説キ乍ラ國家  
不動ノ根本組成ニ基ツキテ之ト密接ノ關係アル重要ナル社會力ヲ發揚セシメ  
益々表現力ノ根據ヲ完成スベキ所以ニ論及セズ。斯ノ如クニシテ普遍我ヨリ出  
發シ個人ノ基礎タル國家ノ不死不滅ナルベキガ爲ニハ其ノ根本組成ノ動クベ

カラザルモノタルノ大原則ニ想到セザリシハ、彼ノ著大ナル缺點ニシテ、歐洲各  
國ノ根本組成ヲ覆サシムル上ニハ隱然大ナル力トナリタルモノナリ。

個人ノ立場カラ其ノ利益目的ヲ中心トシテ其ノ間ノ共通ヲ見ルコトモ必要ナレドモ、此ノ  
方面ノミニ執着スルコトガ今日ノ弊害ニシテ「アリストテレス」亦此ノ傾向アルヲ免レヌ。  
普通我ノ方面カラモ出發シテ個人ヤ其ノ間ノ離合集散ノ關係ヤ各般ノ社會力ヲ見ネバナ  
ヌ、然ルニ此ノ普遍我ハ其ノ不動ノ根本組成ヲ有スルト共ニ國家タリ得ルハ、此ノ種ノ國  
家ヲ離レテ各個人ノ絕對ノ存在ハ無イ。故ニ此ノ根本組成ヲ本ニシテ各個人及ビ其ノ内ノ  
組成ヲ創設改善スルコトハ重要ナル事項ナリ。但シ此ノ根本組成タル自主表現人ノ定マリ  
ツツアル態様ハ國體ニ從ヒ種種異レリ。

第三 純理主義ニ偏重ス。「アリストテレス」ガ理ヲ重ンズルハ可ナレドモ、  
自然中ニ存在スル不純理ノ方面ヲ見ズ、純理ヲ以テシテハ到底著ニモ棒ニモ掛  
カラス方面ノ存スルコトヲ認メズ、純理ノミニヨリテ之ヲ解決セントセリ。彼  
ハ本體ノ形式ニ對シ質料ヲ認メタルモ、彼ノ質料ハ寧ロ物質ニ近キ所アリテ事  
物ノ本質ニ非ズ、タダ個物ヲ實在シ得セシムルノ原料タルノミ。故ニ彼ノ自然  
トイフモノハ理智並ニ因果律等ノ下ニ在ル狭キ自然ニシテ、國家モ亦此ノ種ノ  
自然現象ナリトス。是ニ於テカ國家ノ認定的方面ヲ解説スルコト不完全ナル

本卷ニ  
彼ノ哲  
要點以  
參照點  
ニ至ル

東洋流  
然ニ非  
ズ



ト共ニ、又國家存在ノ根タル第一事實ヲ洞察スルコト能ハザリキ。

一 認定ヲ看過ス。社會生活ハ唯理智ノミノ生活ニ非ラズ、之ヲ他方面ヨリ見レバ、深キ感ジ及ビ認定ヲ中心トスル生活ニシテ、此ノ認定生活ノ骨髓トナリツツアルモノガ國家ナリ。國家ハ自然的存在タルコトヲ失ハザレドモ、單純ナル狹義ノ自然現象タルニ止マルモノニ非ズ。國家ハ一切ノ認定ノ根源タルコトヲ要求シツツアルノミナラズ、己自身モ亦認定ヲ離レテ存在スルコトナシ。一切ノ外部ノ認定ヲ統括シ、自身ノ存在ニ必要ナル認定ヲモ自ラ進ンデナスモノナレバ、國家ハ自主團體ナリ。自主的普遍我ナリ。然レドモ國家ノ此ノ種ノ認定ハ其ノ表現人ヲ離レテ存スルモノニ非ズ、執レノ國家ニ於テモ、終局スル所國家ノ認定ヲ最高ノ効力ヲ以テ表現シ、且ツ自ラ國家ノ此ノ種ノ總覽表現人ナリト認定シツツアルモノ無カルベカラズ。之ヲ自主表現人トナス。此ノ自主表現人ガ其ノ認定ニヨリ立國法ヲ存在セシメ、自身ヲ存在セシメ、國家ヲ存在セシムルモノニシテ、是等ハ皆一切一時ノ存在ナリ、相離レ得ベキモノニ非ズ。アリストテレスガ以上ノ如キ複雜ナル認定ノ關係在ル所以ヲ觀察セズシテ、徒

ラニ理智ノミニヨリ、國家ト之ト共ニ、不動ナルベキ立國法並ニ自主表現人ト離シテ、國家ノ形相論ヲナシタルハ、彼ノ弱點トイフベク、彼ノ此ノ缺點ガ歐洲近世ノ自然法學說ニ及ボシタル多大ナル影響モ亦須ク記憶セザルベカラズ。

二 第一事實ノ價值ヲ認メズ。社會生活ハ唯理智ノミノ上ニ成立セズ、事實ノ上ニ發達シ、第一事實ノ根據ノ上ニ立ツ。國家生活ハ之ヲ一面ヨリ見レバ、其ノ建國ノ第一事實ガ理智ヲ利用シテ發達シツツアルモノニ外ナラズ。此ノ故ニ此ノ活キタル第一事實ヲ活カシテ用キザルベカラザルハ、勿論、消極的ニイフモ第一事實正當ノ原理 Princip der Legitimitätヲ認メザルベカラズ。

「アリストテレス」ハ理論上最良ナル國家ノ形相ヲ見出し得ザリシニ拘ハラズ、尙純理ヲ離ルルコトヲ敢テセズ、積極的ニ建國ノ第一事實ヲ尊重セザルノミナラズ、消極的ナル第一事實正當ノ原理サヘモ忘却シタリ。正當ノ原理トハ純理ニ超越セル領域ニ於テハ既ニ存在スル第一事實ニ據ルベキモノトスル原則ヲイフ。此ノ原則ニ據ラシメバ、客觀的ニ比較研究シ遂ニ理法トシテ最良ナル國家ノ形相無シト論斷シタル彼ハ、必ず建國ノ第一事實ヲ反省スルノ必要ヲ論

無私ノ立根  
上ニ有レタ  
力モ皆ナ  
會ハ用ナ  
利ニハ根  
之ヲ私根  
ヲ無族ナ  
要スル先

議セザルヲ得ザリシナラン。之ヲ爲サザリシハ彼ノ革命論在ル所以ナリ。  
客觀的觀察ニヨルモ遂ニ第一事實ニ到着セザルヲ得ザルガ主觀的ニ吟味ス  
ルモ亦同様ナル結果ヲ得ベシ。蓋シ國家ハ各個人ガ其ノ自我ヲ擴張シ其ノ私  
ヲ沒スルニヨリテ存在シ各個人ガ其ノ偶然ヲ沒却シ大ナル生活ヲ爲スハ國家  
在ルニ因ル。各個人ノ「無我即チ擴我」ノ心持ト國家生活トハ離ルベカラザル關  
係在リ。然ルニ無我ヲ根據トシテ存スル此ノ種ノ數多ナル個人間ニ在リテハ、  
積極的ニ其ノ並遍的信仰理想ニ基キ確固ナル誘導信賴ノ關係ヲ生ズルノミナ  
ラズ消極的ニモ何人トテモ自ラ他ヲ排シテ國權ノ自主表現人タルベキコトヲ  
要求スルノ理由ナシ從テ殊更第一事實ヲ重シ其ノ自主表現人其ノ立國法ノ  
不易不動ナルコトヲ認メザルベカラズ。而シテ此ノ種ノ第一事實ノ尊重ガ愈々  
各個人ノ無私ナルコトヲ保障スルモノナリ。「アリストテレス」ハ全ク此ノ邊  
ノ觀察ヲ缺キタレバ其ノ影響ヲ受ケシ近代ノ自然法學說ガ如何ニ彼ノ說ヲ開  
展スルカラ豫測スルニ難カラズ。然シ是等ハ皆建國事實ノ不完全又ハ曖昧ナ  
ル社會ニ於テ唱ヘラレタル學說ナリ。

元來國家ノ一員タル以上ハ皆無我者ナリ、故ニ我ノ基礎ニ立ツ管ナレバ、全體ノ仕事ヲ表現スルニツキ自分勝手ヲ主張スルコトヲ許サズ。全體ノ仕事ハ誰ガ爲スモ可ナリ。故ニ不動ノ歴史的第一事實ニヨリ確定セル標準ヲ得且國民ノ之ニ伴フ覺悟ニヨリテ一定ス。之ガ至極ノ根柢ナリ。

第四 因ト縁トヲ區別セズ。「アリストテレス」ハ因果律ヲ分析スルコト尙  
充分ナラズ、因ト縁トヲ混同セリ。サレバ以上ノ諸種ノ缺點ト相待テテ革命ノ  
因ナキニ當ツテハ反ツテ在來ノ國家根本組成ノ維持發揚ニ缺クコト能ハザル  
無數ナル縁ヲ探ツテ直チニ之ヲ革命ノ因ト誤認シタリ(佛敎因縁論參照)。建國  
ノ根柢タル第一事實ヲ尊重セズ又ハ普遍的信仰理想ヲ忘却スルガ如キ或ハ國  
家ト其ノ自主表現人トヲ離レタルモノト誤想スルガ如キハ孰レモ革命ノ因タ  
ルベシ。人民ノ精神身體財產ノ發達ノ如キハ革命ノ因タルヲ得ズ唯其ノ縁タ  
ルノミ。建國ノ理想ヲ無視スルガ如キ革命ノ因ヲ具備スルトキハ人民ノ智能  
ノ進歩等ハ革命ヲ助クルコトアルベシ然シ革命ノ因無キニ當ツテハ人民ノ發  
達ハ愈々益々國家ノ根本ヲ堅クスルモノニ外ナラズ。例ヘバ 皇國ノ如ク建國ノ  
理想信仰及ビ其ノ第一事實ガ尊重セラレ 皇室ト國家トノ離ルベカラザル所

ア氏ノ思想  
ハ人民ヲ以  
テ自治ヲ成  
スルヲ爲メ  
トスルコト  
ヨリテカ  
ニ離レタリ

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第六節 「アリストテレス」 國家論 革命論 三〇〇  
以ガ覺信セラレツツアル所ニテハ、人民ハ如何ニ發達スルモ商工業ハ如何ニ勃  
興スルモ、反ツテ益々皇室並ビニ國家ノ繁榮ヲ來サシムルノミニシテ、決シテ之  
ヲ傷ツクルモノニ非ズ。正因ヲ確立スルコトガ大切ナリ、無數ノ縁ハ唯此ノ因  
ヲ助成スルノミニシテ、自ラ其ノ方向ヲ定メ得ベキモノニ非ザルナリ。

一ツノ事柄ノ原因結果ハ無數ニ存ス。此ノ中ニ於テ分析シテ見レバ、因モ深山在リ、縁モ數  
多ク在ル。因トハ其ノ事柄自身ヲ生ゼシムル主腦トナルモノナリ、縁トハ單ニ主因正因ヲ補  
助スルモノナリ。例ヘバ松ノ種子及ビ之ヲ蒔クコトガ松ノ生ズル因ニシテ、或溫度濕氣  
肥料ノ存スルコトハ縁ナリ。革命ニツキテイヘバ因トハ性質上革命ヲ必要トスベキ事由ナ  
リ。其ノ國國ノ建國ノ大精神ヲ忘却スル如キコトナリ。縁ハ之ヲ助成スルモノ即チ人智ノ  
發達モアロウシ、社會上利益目的ノ衝突、階級ノ軌轢等無數ニアロウ。然レ是等ノ縁ハ革命ノ  
正因サヘナク、革命ヲ起サシムル事由トハナラズ。加之國家ノ根本組織愈々固ク、例ヘバ君主  
ヲ尊重シ君主ヲ自主表現者ト仰グ信仰ノ愈々熱烈ナルトキハ、熱レモ直接又ハ間接ニ之ヲ助  
ルコトトナル。種子ヲ蒔クトイフ正因アレバ、太陽ノ光線水氣ガ縁トナツテ其ノ發育ヲ  
助成スルガ。若シ反對ノ正因アリテ種子ヲ枯燥セシムルトカ煮ルトカイフ場合ナレバ、溫度  
ヤ水氣ハ反ツテ種子ヲ枯死セシムルモノトナル。縁ハ因ニ從テ、ドウデモナリ、因無ケレバ  
縁ノミ存スルモ致方ナシ。又例ヘバ財産ノ在ルハ放蕩ノ縁ナリ、因ニ非ズ。其ノ意氣地ノ無  
イ心持ガ因ナリ。此ノ薄弱ナル心在ルガ故ニ金ヲ持テバ修業ノ差支トナル。若シ心ガ動

古神道ヲ日  
ニ日ニ新  
ニ日ニ新  
ニ日ニ新  
ニ日ニ新

カメナレバ之ヲ以テ學費トナシ目的ノ學校ニ入り修業スルヲ得ベシ。人民ガ發達スレバ  
君權國ノ根本組成ニ動搖ヲ及ボス恐アルガ故ニ、努メテ其ノ自由ヲ拘束シ之ヲ馬鹿ニシテ  
クナドトイフ考ハ、恰モ放蕩スルコトヲ心配シテ學費ヲ送ラヌ様ナモノナリ。因ト縁トヲ混  
合セリ。因ヲ正シクシテ縁ヲ其ノ方ニ向ケルコトヲ考ヘ、ネバナラズ。此ノ因ニシテ正シキ  
方向ニ向ハヌ中ハ何事モ皆不都合ナル縁トナリ、易キガ故ニ用心スルノ必要在リ。是レ實ニ  
薄志弱行ノ徒ニハ命ヲ支給セザルコトノ正當ナル理由デアリ、又社會ノ根本組成ガ確立セズ  
普遍的理想信仰ノ缺ケタル國ニ於テハ、愚民政策ヲ執ルコトノ已ムヲ得ザリシ所以ナリトス

彼ノ論理學  
ノ要領第四  
及ビ彼ノ一  
神論参照

眞空論ノ精  
神ヲ缺ク

第五 矛盾律ニ拘泥ス。「アリストテレス」ハ其ノ狭キ矛盾律ヲ尊重セシガ  
爲、現實ヲ透シテ理想ヲ見ルコトヲナサズ、又特殊ト共ニ普遍ヲ見ルコト充分ナ  
ラズ、或ハ純理ト不純理トヲ兼テ活躍セシムルコト能ハザリキ。同一ノ理由  
ニヨリ、彼ハ社會ノ變遷ヲ認ムルガ故ニ、其ノ中ニ反ツテ不變遷在ルコトヲ要ス  
ル所以即チ絶エザル發達ニハ、不動ノ根據無カルベカラザルコトヲ明ラカニセ  
ズ。又同一事項モ或ハ革命ヲ起ス縁トナリ、或ハ之ヲ防遏スルノ縁トナル所以  
ヲ察スルコトナカリキ。此ノ故ニ「アリストテレス」ノ矛盾律ヲ信仰シ之ニ拘  
泥スル者ハ古來多ク同様ノ誤謬ニ陥ルヲ見ル。偶然一時ノ感情、其ノ他、ニヨリ

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第六節 「アリストテレース」 國家論 革命論 三〇二  
變化ヲ喜ブ者ハ社會ニ存スル不變化ヲ絶對ニ憎惡シ革命ノ必要ヲ思ヒ其ノ正  
反對ニ感情上等變化ヲ欲セザル者ハ社會ノ變化人民ノ發達等ヲ危險視シ其ノ  
自由運動ヲ恐ルルコト甚シク殊更教育ト政策ト認定法トヲ用キテ人民ヲ腰拔  
ニセント焦慮スルニ至ル。世界到ル所此ノ種ノ迷想在リトイフ況ヤ近世初期  
ノ歐洲ニ於テオヤ。

第六 歸納推理ノ缺點ニ陷ル。終リニ「アリストテレース」ノ革命論ノ缺點ハ  
彼ノ完成セル不完全歸納法ノ缺點ヨリ出ヅ。此ノ種ノ歸納推理ノ價值並ビニ  
當否ニツキテハ曩ニ論理學ノ要領ノ項ニ述ベタル所ナリ。蓋シ彼ガ國家形相  
ニ關スル一般ノ法則ヲ抽象スル材料トナセシモノハ偶然彼ノ周圍ニ存在セシ  
國家ナリ。普遍的理想信仰ヲ無視シ其ノ建國ノ事實ヲ省セズシテ單ニ是等有  
數ノ個個特定ノモノヨリ一般ノ法則ヲ抽象シ之ニ根據シテ有ラユル國家ヲ論  
定セントスルハ誠ニ危險ナリ。彼ノ材料トセシ國家ハ建國ノ精神事實ニツキ  
見ルベキモノナカリシガ故ニ彼ハ知ラズ識ラズ之ヲ等閑ニ附シタルコトモア  
ルベシ又是等ノ國家ハ元來其ノ大精神及ビ第一事實ヲ完全ニセザルガ故ニ之

ヲ無視セララルルモ甚シキ苦痛ヲ感ゼザルコトモアラン。如何ニ彼ガ現實的ナ  
リシニセヨ是等ノ點ニツキ長所ヲ有スル何事モ外國ニハ非ズ。皇國ニ生レタ  
ランニハ自ラ其ノ見識ヲ異ニセザルヲ得ザルベシ。  
「アリストテレース」ヲ學ブナラバ其ノ形式ノ末ヤ結論ヲ學バスシテ彼ノ活キタル精神ヲ見  
ルヲ要ス。

以上ハ「アリストテレース」革命論批評ノ大要ナリ今尙彼ノ國家論ノ全體ヲ「ブ  
ラトーン」ノ國家論ニ比較シテ論ズル所アラントス。  
此ノ兩大家ノ同異並ビニ關係ヲ明ラカニスルコトハ眞面目ノ生活並ビニ研究ヲナスニ大  
切ノコトナリ。

### 第六項 結論

「アリストテレース」ノ國家論ノ性質モ尙彼ノ實在論及ビ論理學ニヨリテ定マ  
ルモノナレバ彼ノ國家論ノ長短ヲ論ズル者ハ必ズ先ヅ彼ノ哲理ノ長短ヲ考ヘ  
ザルベカラズ。蓋シ彼ハ國家自然現象ノ研究ヨリ抽象シテ其ノ哲理ヲ完成ス  
ベキコトヲ唱ヘタリシガ其ノ實全クハ然ルニアラズシテ尙彼ノ哲理ヲ基礎ト

シテ、彼ノ自然論國家論ヲ完成セシメタルガ故ナリ。

第一 「アリストテレイス」ハ世界ノ個、特殊ナル現象、即チ差別ヲ完全ナル實有トナシ、其ノ知覺ヲ主要ノモノトシ之ヨリ抽象シテ實在セル法則ヲ求メ、以テ其ノ通性ヲ知り得ベシトセリ。國家論ニツキテ見ルモ亦然リ。彼ハ實在ノ知識ヲ求ムルニツキ、自我ノ内部ヲ透シ、其ノ觀念トシテ求メタルモノニ非ズ、外部ニ存在セル實在ヲ直チニ外部ニ求メントスル者ナリ。個ノ事實ノ是認、其ノ比較抽象ヲ主義トスル者ナリ。然レドモ事實ノ認識、其ノ相互ノ比較及ビ抽象ニツキテハ、必ズ普遍無差別方面ノ存在セルコトヲ前提シテ、適當ナル事實ノ觀察ヲナシ、適當ニ材料ヲ選擇シ、然ルベク之ヲ比較シ、無理ナク之ヲ排列シ、抽象セザルベカラズ。盲目的ノ實驗、材料ノ偶然ナル選擇、任意ノ排列、抽象ニテハ、何等ノ精密ナル知識ヲモ得セシムルモノニ非ズ。故ニ「アリストテレイス」モ事實ノ認識ニツキテハ、範疇ノ存在スルコト等ヲ論ジ、其ノ相互ノ比較及ビ抽象等ニツキテハ、必要ナル推理ノ方法ヲ説キ、且ツ本體形相質料加之一神ノ論ヲ基礎トナシ、自ラ普遍アルヲ前提シテ、更ニ比較研究ヲ爲シタルモノナリ。是レ實ハアリ

多數ヨリ抽  
象スルノ比  
ニテハ、無  
カモ體比  
カノ無比  
シル故、無  
ザルト論、  
得結値比  
ズセナナ  
恰比

普遍ヲ前提  
ハセテ比較  
ハ出来ズ

ストテレイスノ嚴格ナル個在論ト自ラ矛盾スルモノニシテ、之ヲ彼ノ矛盾律ヨリ批評セバ、彼ノ弱點ナレドモ、一層高キ見地ヨリ觀察スルトキハ、寧ロ彼ノ長所ナリトス。「アリストテレイス」ガ「プラトーン」ノ精神ニ化セラレ、尙知ラズ識ラズ普遍ニ根據シテ、彼ノ哲理ノ上ニ比較研究ヲ大成シタリシハ、後世ニ於テ、哲理ヲ忘レ、普遍ヲ感ジ得ズ、徒ラニ國家法律現象ノ比較抽象ノミニ執着セル人人ノ到底及ブ能ハザル所ナリ。

唯比較トイフモ、人間ト人間トノ比較トセバ、已ニ普遍ヲ前提セルナリ。比較トハ例ヘバ、同一ノ分母ハ上ノ數ニツキテイヘルノミ。同一ノ分母トハ普遍ノコトナリ。普遍アリテ始メテ比較シ得ラルベシ。普遍ナクシテ比較シ得ルコトハ認メ得ベカラズ。詳シキ研究ホド豫メ先人ノ經驗內的經驗ニヨリ、普遍ヲ明ラカニセザルベカラズ。今日ノ比較ハ宜シカラズ、ソハ普遍ヲ否認シツツ偶然ノ材料ヲ根據トスルガ故ナリ。故ニドコマデモ、哲理ガ根據トナリ、思潮ガ根據トナル。「アリストテレイス」ハ此ノ點ヲ見テラレ、故尙自己ノ哲理論ヲ立テ之ヲ根據トシテ論ジタリ。哲理論ハ最後ニ著作セラレタルガ之ニ拘ハラズ、彼ハ實ニ其ノ哲理ヲ根據トシテ論ジタリキ。

第二 「アリストテレイス」モ實ハ彼ノ哲理ヲ立テ、其ノ上ニ健全ナル比較研究ヲナシテ、法則ヲ抽象セリ。併シ、彼ノ重キヲ置ク所ハ固ヨリ個ノ差別ニ在リ。

之ヨリ共通性及ビ法則ヲ抽象セントスルコトニアリ。此ニ於テカ彼ノ國家論ハ「プラトーン」ニ比スレバ特殊ノ性質ヲ帶ビタルモノナリ。

一 「アリストテレス」ノ國家論ハ「プラトーン」ニ於ケルト異ナリ。唯一不動ノ理想ヲ確定シタルモノニ非ズ。國家現象中ニ存在スル法則ノ一端ヲ抽象シテ結論トナシタルモノナリ。時ト場合トニ應ジテ異テレル法則ノ記載ヲ主トスルガ故ニ或場合或條件ノ下ニ適當ナル國家ノ形相組成ハ他ノ場合他ノ條件ノ下ニ於テハ適當ナルモノニ非ズトナスナリ。

「プラトーン」ハ理想的國家ヲ立テシガ、直チニ違セラレザル故更ニ低キ理想ヲ立テタリ。然レ結局一ツノ理想ニ違セントシテ進メリ。「アリストテレス」ハ差別中ノ法則ヲ抽出シタリ、或場合或條件ノ下ニ比較的ヨキ或國家形相モ當ニ善キニ非ズ事情異ナレバ變ズ。場合合ニテ異ナル。「プラトーン」ハ「何デモコレダ」トセルニ「アリストテレス」ハ「一番良キモノハナイ」トセリ。

換言セバ「アリストテレス」ハ吾人ガ政治、法律、生活、自由、發展、ニ利用スベキ無形ノ道具即チ政治的規則ヲ陳列セリ。其ノ道具ハ冷靜ニ陳列セラレ頗ル用ウルニ堪フル結構ノ器械ナレドモ尙一層重要ニシテ是等ヲ運用スベキ精神

是等ヲ利用スベキ原動力タル理想ニツキテハ何等説ク所ナシ。アリストテレスハ人間並ビニ國家ノ發達ヲ以テ必然的ニ法則ニ從ツテ發達スルモノト認メタリトイハザルベカラズ。果シテ彼ノ見解ノ如シトセバ吾人ハ法則ヲ知ルコトスラ必要ナラズ。若シ法則ニヨリテ將來ヲ豫見スルノ必要アリトイハバ此ノ種類ノ明ラカナル絶對ノ法則ハ決シテ知ラレ得ベキモノニ非ズ。又實在スルコトヲ斷定シ斷言シ得ベキモノニ非ズトイハザルベカラズ。

何レガ良イ惡イトイフニ非ズ「プラトーン」ト「アリストテレス」ト分辯ノ異ナルヲイフ。「プラトーン」ハ機械ヲ動かカス所ノ精神ヲ鍛鍊スルヲ主トシ「アリストテレス」ハ其ノ道具ヲ吟味スルコトニ意ヲ用キタリ。「アリストテレス」ノ如ク道具丈ケニテハ運轉ヲナシ得ズ。「アリストテレス」ノ如ク法則ガ絶對ナラバ知ルノ要ナシ、知ラヌモ自ラ實現セラルルガ故ナリ。然シカカル法則ハ實ハ是ナレ。吾人ガ實現スルコトユエ法則ダケニテハ分ラズ、理想ニヨリテ之ニ法則ヲ參照シテハ未來モ明カナル。右ノ眼丈ケニテハ完全ニ見ヘズ手ニテモ左右アリテヨク用ヲ爲ス、人間モ四方ニ眼ガアリテハ不可ナリ、前ノ方丈ケユエ尊ケレドモ片目ニテハ困ル。之ト同ジク理想ト抽象的法則トハ相待ツモノナリ。元ヨリ是ニテモ絶對ハ分ラヌガ片眼ナラバ尙更分ラヌ。

「アリストテレス」ノ法則ハ「ドコマデモ自ラ實現セラルル」積リナリ。「アリストテレス」ノ

此ノ法則ガ宇宙ニ實在シ居ルト見テ居レド、法則ハ斯カル絕對ノモノニ非ズ。生命ケル吾人ガ利用スル新機ノ道具ニ過ギザルモノナリ。

「アリストテレス」ハ其ノ哲理ニ於テ、法則ノ固定的實在、即チ凝然不動ノ實在ヲ主張セリ。是レ彼ノ缺點ナリ。假リニ人生國家ノ法則ノミヲ探ルモ、決シテ絕對ニ之ヲ知り得ベキモノニ非ズ。人類國家ガ最終ニ達シタル後ナラ、バイザ知ラズ、只一部ノ過去ト現在トヲ觀テ、其ノ絕對ノ法則ヲ抽象シ得ベキモノニ非ズ。現在スラ決シテ精密ニ認識セラレ得ズ、又之ヨリ完全ノ法則ヲ抽象シ得ベカラズ。況ヤ過去ニ於テオヤ。過去ハ尙之ヲ知り得ベシトスルモ未ダ生ゼザル未來ニ於テオヤ。

人生ヤ國家ノ法則ヲ絕對ニ立テルコトハ不可ナリ。吾人ノ理想ナレバ、コソ内部ノ要求ヨリ一筋ニモ定メラルルガ法則トシテハ、絕對ニ立テラレズ。「プラトーン」モ法則ノ價值ヲ重ク見タルガ、アリストテレス「ハ之ノミヲ重ク見タリ、コレハ不可ナリ。現在ノ事實トチモ精密ノ事ハ分ラヌ、新聞ホド當テニナラヌモノハナク、現在サヘ分ラヌ過去ノ歴史モ然リ實ニ曖昧ノモノナリ。コレヨリ如何ナル法則ガ抽象シ得ラルルカ、現在過去ハ良シトスルモ、未來ガ逆モ分ルワケナシ。普通ガアル故此ノ範圍ニテハ立テラルルガ、之トテ理想ヲ取り除キテハ如何ナル風ニ發展スルカ豫メ分ラヌ。吾人ノ自由活動ニテ變リ理想ニテ變ルルニエナリ。植物

ノ種ヲ見テモ、然リ、大キクナレバ思フダ通りニ非ズ、段段變化シテ未ニハ大ニ異ナル、最後マテ行カネバ分ラヌ、絕對ニ斯様ナリトイフハ間違ビナリ。

人生國家ノ現象ニツキ、其ノ一事物ヲ捉フルモ、其ノ原因ハ無限數アリ、其ノ原因

因ノ原因モ亦各無限數アリテ如何ニ之ヲ追究スルモ究局精密ニ知ラレ得ベキ理由ナシ。一事物ヲ捉フルモ其ノ結果ハ無限數アリ、其ノ各結果ノ各結果モ亦各無限數アリ、如何ニ之ヲ追究スルモ結局盡シ得ベカラズ。一事物ヲ捉フルモ之ト併立シテ發生シツツアル結果、之ト併立シテ原因ト爲リツツアル事柄ハ又無限數アリトス。如何ニ之ヲ穿鑿スルモ之ヲ盡シ得ベカラサルガ故ニ、其ノ一事物ノ原因タル地位、其ノ一事物ノ結果タル事實ハ絕對ニハ之ヲ知り得ベカラズ。已ニ其ノ原因結果其ノ地位ヲ知り盡シ得ズ、如何ニシテカ良ク其ノ事實ト他ノ事實トノ關係ヲ知り盡シ得ベキ。如何ニシテカ能ク完全ニ其ノ間ニ存スル法則ヲ知り盡シ得ベキ。畢竟因果トイヒ事物關係ノ認識トイヒ事物ノ法則トイフモノハ、吾人ノ自由活動理想活動ニ對シテ始メテ是認セラレ得ルニ外、其ノ自由並ビニ理想ヲ標準トシテ見ルガ故ニ、之ニ對シテ最モ適

國家成立存  
明カニ理ハ  
在ラカニ想  
ルモ、理想  
ヲ缺キテハ  
將來ノ發達  
ヲ見シ得ズ

有テ無テ  
待テテ  
オナレ  
テオナレ

近星ヲモ遠空ノセリ或無近例  
キヲテヲ見ナクヲミ近リ物キヘ  
ノ談其見ハシモ近レ唯イトル如  
ミジノテヲ近レ唯イトル如コト  
得遠始見雲クバ天ノイニシト

總シハ知リハ  
身ハ現在自  
身ハ現在自  
身ハ現在自  
身ハ現在自

切ナル部分ヲ摘ミテ始メテ特定ノ因果ヲ認メ得ベク特定ノ事物ノ關係ヲ云云  
得ベク特定ノ法則ヲ説キ得ベキノミ。唯漠然トシテ絕對ニ自存スル因果其  
他ノ法則アルコトナシ。最少限度ニ於テモ認メザルベカラザル法則即チ宇  
宙ノ規則正シキコトサヘ吾人ノ信仰理想ニ基ヅキ最少限度ニ於テ認メザルベ  
カラザル宇宙ノ偶然ナル事實ト上下大ク前後ナシ。從ツテ規則正シキコトス  
ラ偶然然ルノミニシテ決シテ理想信仰ヲ離レテ存スルモノニ非ズ。是レ實ニ  
真空論ノ卓越セル所以ナリ。(佛教哲理三〇三頁以下及四六五頁以下托事顯法  
生解門及五〇一頁以下參照)

單純ノ物理論ニテモ酸素水素ガ化合スル如キヲ動カザル唯一ノ法則ト思フハ誤ナリ。偶  
然ナル此ノ地球ノ上ヲ立場トシテ又偶然ナル吾人ノ智識吾人ノ生活ヲナス爲ニハ地球上ノ  
壓力溫度引力等ガ同一ノ時ニノミ化合スルコトヲ知ルノミ。此ノ前提ノ下ニ於テノミ化合ス  
此ノ前提ハ宇宙皆同一トイフ能ハズ到ル所異ナリ得ベシトダ。此ノ地球上ノコトトシテ又此  
ノ地球上ノ生物生活ニ對シ法則ハ動かカストイフノミ。宇宙全體トシテハ實ニ複雜ノモノニ  
テ地球上ニ存スル科學ナドガ絕對ノモノニ非ズ。ツマリ宇宙ノ全體ガ在リテ酸素水素ノ化  
合ヲ斷言シ得ルノミ。人生ノ事ハ尙複雜ノモノナリ。故ニ原因結果ハ非常ニ複雜ノモノナ  
リ。一ノ事實ヲ探ルモ其ノ原因ハ無數無限ニシテ又其ノ結果モ無數無限ナリ。之レヲ書キ

現ハセバ無數無限ニテ眞黒ニナル程ナリ。書キタルモノハ厚サナケレドモ實ハ厚サモ長サモ  
幅モ無限ニシテ宇宙全體ニ擴ガリテ居ルニエ。宇宙間ハ絕對ニ原因結果ニテ理モレテアルワ  
ケナリ。夫レ故原因結果ハナイト同ジ。然リ。純客觀的ニ冷靜ニ公平ニ見レバ原因結果ハ  
無シ。是レ即チ空ナル所以ナリ。然レドモ是レニテハ「エレヤ」學徒ト同ジニナル。「エレヤ」學徒  
ハ夫故ニ運動無シト結論セリ。純客觀的ノモノガアルトイフハ間違ナリ。客觀的ト主觀的  
トガ在ルカラコソ客觀的ノ存在ナドトイフナリ。技ニ一部ノ光明ヲ與フルハ吾人ノ自由活  
働及ビ理想ナリ。之ヲ以テ一番近キモノヲ摘ミ上グル故活キタル有限ノモノガ定マリ來ル  
卑近ノ例ヲ示セバ景色ナリ。人ハ景色ガ客觀的ニアルト思フテ居ルガ山ノ景色ノ如キモ  
純客觀的ニ公平ニ諸方面ヨリ見レバ景色ハ意味ヲナサヌ。在ルカ無キカ。實ハ景色ハ無イ  
只景色在ルハ主觀的ノ或ル一點ヨリ見ルカラナリ。數ルシテ或ハ坐臥シテ見ルカラ在ルノ  
ミ。一點カラ全體ヲ見ルガ故ニ景色トナルノミ。富士山ニ三十六景アルガ如ク常ニ偶然自  
由ハ一點又ハ理想的ノ立場ヨリ見ル。自由理想ト景色トハ離レテ居ルモノニ非ズ。故ニ景  
色ハ吾人ノ立場ガ大切ナリ。自分ヲ善キ立場ニ置ケバ何ニテモ善ク見ニル。立場トハ形式  
的ノ場所ヲイフニ非ズ自由理想ナリ。乞食ノ汚キ簞物モ見方ニヨリテハ審美的風流ニ見ニ  
富士山ハ如何ニ善キモ頂上ヨリ下ニ向フテ寫眞ヲ取レバ眞黒ノモノニナル計リナリ。唯物  
論者ニイハセレバ富士山ハ石コロノ集リ然モ純石ノ集リノミ。理想自由ノ立場ニ立テテ始  
メテ事物ガ活殺セララルベシ。原因結果又然リ。  
「アリストテレス」ハ理想ヲ忘却シ常ニ抽象的(不完全ナル)法則ヲ絕對トセリ。今日モ此ノ



此ノ精神ハ  
テアリトス  
相ノ對立ニ  
キヨリ神ナ  
モラレトイ  
ベシトイフ  
徒ハ無限ニ  
執着シ又學  
想ヨリ説カ  
ズ故ニ事カ  
實ヲ明シハ  
ザルコトナ  
リ

第一門 第二章 希臘哲學ノ盛時 第六節 「アリストテレイス」 國家論 結論 三一三  
缺點ヲ有スル者多シ。學問藝術ノ寫實主義ハ只寫眞サヘトレバヨキトモ思フガ夫ハ間違アリ  
立場ガ大切ナリ、理想ヲ元トスルコトヲ忘ルベカラズ。理想ヲ本トセントセバ古來ノ內的  
驗ヲ研究シ、誠意ヲ以テ吾人ノ本性ヲ反省セザルベカラズ。

蓋シ事實上自由モ理想モ是認セラレベキモノナラバ事實上法則モ事物關係モ  
因果モ亦共ニ是認セラレ得ザルベカラズ。法則等在ルコトナシトイフハ詭辯  
論者風ニ非ザレバ、エレア學徒流ノ論法ナレドモ自由及ビ理想ナシトイフモ亦  
詭辯論ト選ム所ナシ。事實上法則等ノ是認ノ必要ガ證明セラルルト共ニ自由  
理想ノ必要ナルコトモ亦證明セラレツツアル所ナリ。換言スレバ外部客觀的  
存在ノ方面モ自然ニシテ宇宙ノ表現タルヲ失ハザレドモ内部主觀的存在ノ  
面モ亦同ジク自然ニシテ宇宙ノ表現タルヲ失ハズ。殊ニ外界ノミニ重キヲ置  
キタルモノハ希臘古代ノ自然哲學ナリ。之ニ對シ内界ノ存在ヲ見テ内外ヲ相  
殺セシメントセシモノハソフキスト輩ナリ。又内界ノ存在ノミニ重キヲ置キシ  
モノハソークラテイスナリ。而シテプラトインハソークラテイスニ忠ニシテ  
益、其ノ缺點ヲ補ヒシガアリストテレイスハプラトインヨリ出デプラトインニ

小サクイニ  
ハ小兒ニ  
セシテ  
等シク  
シ

皇國ノ民族  
ハ日本ノ  
テ理想トシ  
テ必ズ之ヲ  
維持スルカ  
ザルベカラ  
ズ、理論ニ  
ナズ、理想  
ナリ

比スレバ寧ロ内界ヲ忘却セリ。

「アリストテレイス」ハ自ラソークラテイスヲ系統ニ屬セルコトヲ公言セル故、内界ニ重キヲ  
置キシハ明カナレドモ「プラトイン」ニ比セバソークラテイスヲ精神ヲ失ヘル者トモイヒ得ベシ  
「アリストテレイス」ハ内部ノ責任心又ハ内部ノ根柢ニ蟠レル理想ヨリ説ク者  
ニ非ズ。寧ロ之ヲ忘却シ、狹義ノ自然ヲ偏頗ニ觀察シ、之ヨリ歸納シタル法則ヲ  
列記セリ、故ニ吾人ガ未來ニ對シテ實現スベキ國家法律、吾人ガ何ヲ措テモ實行  
セザルベカラザル義務ノ標準ハ曖昧糲糊タリ。彼モ道德律ヲ立テザルニハ非  
ザレドモ根柢ナク活力ナキ道德律ナリトス。奮闘力ヲ有スル吾人ハアリスト  
テレイスニヨリテ道具ヲ得タレドモ彼ニ信賴スルノミニテハ何レノ目的ニ隨  
ヒ何者ヲ敵トシテ奮闘スベキカヲ知ル能ハズ、精兵ヲ提ゲテ戰場ニ出ヅレドモ  
敵ト味方トヲ辨別スルコト能ハズ。

故ニ精兵ハ反ツテ蝕吞ナリ、其ノ味方トテ分ケルハ「プラトイン」ノ理想觀念論ナリ。  
要スルニ「アリストテレイス」ハ希臘ノミニ於ケル不完全ナル國家現象其ノ當  
時及ビ其ノ以前ノ幼稚ナル社會現象ノミニヲ材料トシテ用キラルベキ國家現象  
ハ法則ヲ立テ國家社會ヲ説カントセシ者ナリ。「プラトイン」ハ是等ヲ踏臺トシ



比較抽象  
リ得タル  
論ハ抽象  
テハ實ニ  
コトアリ  
料トアリ  
其ノ表  
研究セ  
ナリ來ル  
ナリ來ル  
ナリ來ル

ルニ狹義ノ自然ヲ主トセシ彼ハ必然的ノ本能ノミヲモ責任心並ビニ理想  
ナク自然律ハ存スレドモ神聖ナル道德律並ビニ法律國家ハコレ無キ筈ナリ  
然ルニ尙道德律法律等ヲ認メントスルハ彼ノ矛盾トイフベシ。

「アリストテレス」ハ「プラトーン」ニ就キ長ク修メタルガ故ニ如何ニ「プラトーン」ヲ攻撃スル  
モ根柢ハ「プラトーン」ノ精神ナリ。其ノ理窟ハ乾燥無味ナレドモ其ノ精神ハ「プラトーン」ノ後  
ヲ越ヘリ。是レ彼ノ國家論ノ價值アル所以ナリ。「アリストテレス」ハ元元「アンティステネー  
ス」ト「プラトーン」トヲ調和セントセシガ此ノ種ノ矛盾ガアル故「アンティステネー」ノ方ノ感覺  
的ノ個在論ニ立チ返ヘリシハ後ノ時代ナリ。「アリストテレス」ノ尊キ所以ハ個在論ヲ一貫  
セテ所ニ存ス矛盾シテ居ル所ニ在リ根柢ニ「プラトーン」ヲ藏セル所ニ存スルナリ。

三 「アリストテレス」ハ個ノ材料ノ比較抽象ノミニ重キヲ置キシガ故ニ  
其ノ材料ノ範圍ニ限リアルコトガ又其ノ結論ニ制限ヲ與ヘ彼ノ結論ノミヲ用  
キルコト能ハザルニ至ラシメシハ又止ムヲ得ザル所ナリ。サレバ彼ハ其ノ當  
時到處ニ奴隸ノ存セシ故ヲ以テ奴隸制度ヲ自然トナシ正當トナセリ。又其  
ノ當時各個人ガ家及ビ國ニ屬セザルモノ無キヲ見テ家ヲ正當トシ國ヲ以テ各  
個人ノ有機的必要ト見做シタレドモ更ニ進ンデ各個人ヲ以テ人類全體又ハ人

種全體ハ表現者ト看做サズ是等ノ方面ヲ有スルモノト見ザルガ故ニ此ノ點ヨ  
リ又小國家ヲ完全視シ且國家萬能主義ヲ認メタル者ナリ。「プラトーン」モ亦其  
ノ當時ノ事情ヲ見タルガ故ニ同一ノ結論ニ達シタレドモ彼ノ小國家ヲ是認シ  
タリシハ其ノ「イデア」論ニ基ヅク潔癖ニ在リ。彼ノ「イデア」論ガ數ノ保障ヲ輕ン  
ジタルノ點ニ在リ。又彼ガ國家萬能主義ヲ認メタルハ善美ノ雄大ナル實現正  
義公平ノ實現ニ切ナリシガ故ナリ。其ノ來現關係ヲ認ムルコトニ專ニシテ發  
現關係ニ想到セザリシガ故ナリ。「アリストテレス」ハ之ト異ナリ其ノ小國家  
ヲ是認セシハ本能ヲ重ンジ差別ノ愛ニ執着セシ點ト其ノ當時ノ國家並ビニ動  
物等ノ比較研究トニ基因ス。即チ彼ガ國家萬能主義ニ陥リシハ一ハ無差別方  
面ノ人類テフ見地ヨリシテ各個人モ亦人類ノ表現者タルノ點アリ徒ラニ國家  
ノ表現者タル根據ノ上ニノミ生存發達スルモノニアラザルガ故ニ國家モ亦之  
ヲ鑑ミザルベカラザルコトヲ觀破シ得ザリシ點ニ在リトス。而シテ又一ツハ  
當時ノ卑近ナル方面ノ比較研究ノ結果ヨリ來リシモノナリ。「プラトーン」アリ  
ストテレス」ノ兩人ガ其ノ結論ヲ同一ニシツツ因リテ來ル所ノ異ナルヲ知ル



「カント」が  
Intelligibilis  
Charakter  
ト云テ我  
ト、emphati-  
scher Char-  
akterト云  
テノ我トヲ  
區別シ、前  
者ヲ根據ト  
シテ後者ヲ  
シカサント  
シタルコト  
参照

有邊無邊ノ  
論  
龍樹ノ中論

之ヲ實現セザルベカラズ。吾人ノ今日認ムル夫婦ノ結合ハ、天然ノ性欲性愛ノミヨリ研究スルモ、效ナシ、道徳モ亦然リ。皆吾人ノ有スル理想ガ、加ハリテ後始メテ出來ルモノナリ。因果關係ノ如キハ、事ガ複雑ナリ、理想等ヲ認メザレバ、無キト同ジ、有限ノ理想アルガニ、エ役ニ立ツトイヒレバ、コレハ「ピタゴラス」Pythagorasノ有邊無邊ニヨリテ、萬物ガ存ストイフ説ト同一ナリ。又「プラトーン」Platonノ無限ノ「メーオン」Meionト相待ツノ説ト相似タリ。内部ノ要求ヨリ見レバ、印度ノ龍樹ノ中論ノ説ト大ニ似タル所アリ。「エレア」學徒ハ、空ニ終リシガ、ヨク吟味スレバ、深キ意味アリ。

宇宙ノ全體ノ景色ハ一日ニ見レバ、虚空トナル、何モナシ。吾人ノ有限ノ眼ヨリ見ルヲ以テ、即チ有限ノ所ニ定着シテ見ルニ、外界ガ見エルガ、絕對ノ眼ヲ以テ絕對ニ宇宙ヲ見ントセバ、所謂空トナル。希臘ノ昔ヨリアリシ有邊無邊ノ論ハ、今日モ未來モ活キテオルナリ。

相當ノ材料ヲ有スル以上ハ、熱誠ニ且深ク考慮スルコトニヨリ、益々歸納推理ヲ活用スルコトヲ得ベク、單ニ歸納ノ形式ノミニ拘泥スルトキハ、反ツテ歸納ヲ誤ル。加之深思ニヨリ、材料ノ範圍性質ニ溯リテ之ヲ明白ニシ、其ノ連絡ヲ明ラカニシ、之ヲ理想ト結ビ付ケルコトヲ要ス。此ノ點ハ「アリストステレース」ノ氣付カザリシ所ナリ。

### 第三章 希臘文化散布時代

#### 目次

#### 第一節 總論

#### 第二節 「エピクローロス」學派

#### 第三節 「ストア」學派

#### 第四節 懷疑學派

### 第一節 總論

希臘本國ガ「マケドニア」Makedoniaノ「フィリッポス」ニ屈服シ、其ノ政治上ノ獨立ヲ失ヒ、高雅ナル理想ヲ失墜セシハ、已ニ「アリストテレース」ノ盛時ニ在リ。「アリストテレース」没シテ後ハ、希臘哲學ノ盛時モ亦終レリ。「アリストテレース」ノ學徒ハ「ペリパテトリス」Peripatetos學派ヲ繼續セシメ、「テオフラストス」Theophrastos又ハ「ディカイアルコス」Dikaiarehos等ヲ生ゼリ。然レドモ此ノ時期ノ特徴ハ、彼等ニヨリテ希臘在來ノ哲學ヲ發達セシメラレタルニ非ズシテ、アレクサンドロス大王ノ遠征ニヨリ直接ニ希臘文化ヲ各國ニ散布シ、東方特ニ印度ノ宗教思想ト接觸シ、之ヲ直輸入シタル點ニ存ス。但シ之ニヨリテ、宗教思想ノ勃興セシハ、尙次ギノ時代ニ屬シ、今ヤ複雑ナル文化ヲ成立セシメタリ。

政治上ハ「マケドニア」  
時代ナリ、哲  
學上ハ倫理  
學上ハモイ  
フ人生研究  
時代ナリ、  
一「ヘレニ  
スム」ハ「レ  
ニズ」



超エ思辨 Speculation ヲヨリテ短刀直入シ事物ノ根源ヲ探求シ得ベシトシタル往古ノ自然哲學ト分離センコトヲ勉メシメタリ。特ニ豫定セル研究方法並ビニ豫定セル根據ノ上ニ材料ヲ撰擇シ遍ネク實驗ヲ試ミントセシコトハ科學研究上ノ一大進歩ナリ。併シ是等ノ科學ニ對スル當時ノ哲學ハ是等ノ科學ニヨリテ得タル新知識ヲ統括融合シ更ニ一大系統ヲ立テ得タルモノニ非ズシテ反ツテ昔ノ哲學ニ立チ返リ自然科學ノ知識ノ複雜ナルニ對抗シテ人倫ノ根據ヲ研究セント企テタルモノナリ。エビクイロス學徒ストア學徒懷疑學派ノ何レモ皆此ノ特色ヲ以テ名アル者ナリ。

「プラトーン」アリストテレースガ當ニ根柢トナルガ故ニ始メヨリ材料ヲ選ビテ特殊ノ研究方法ヲナセリ。全盛ノ哲學ノ其ノ勢ニ根據シテ研究セシ故自然科學ノ大發達ヲナセリ。又「ストア」ノ人生觀ノ如キハ極メテ大ナルモノナリ。社會ノ觀察ノ如キ亦然リ。是等ハ「ローマ」法ト大ニ關係アルモノニシテ今日マデ非常ニ影響セリ。

第二 是等ノ哲學派ハ當時ノ思潮ノ混亂ニ乘ジ何レモ餘リニ高雅ナルプラトーンノ思想ヲ繼續シ得ズ又プラトーンヲ攻撃シタルアリストテレースノ形而上學ノ矛盾ニ満足セズシテ起リタリ。彼等ガアリストテレースノ說ニツキ

テ矛盾ヲ感ジタル點ハ彼ガ一方ニハ個個特定ノミヲ以テ無上ノ實在トナシ知覺ノ絕對ノ有效ヲ認メナガラ一方ニ於テハ質料ト形相トノ極端ナル對立ヲ認メ吾人ノ確實ニ認識シ得ベキモノハ質料ニ非ズシテ之ニ共通ナル形相並ビニ其ノ法則ナリトスルノ點ニ在リ。(アリストテレースノ實在原理論中本體論以下參照「アリストテレース」ノ總說第三目參照) 彼等ハ「プラトーン」アリストテレースノ何レニモ満足セザルガ故ニ勢ヒ之ニ對抗シタルメガラ學派數學者ナラリテ並ビニ「キニコス」學派ノ「アンティステネオス」及ビ「キレオネ」學派ノ「アリスチックボス」加之「ソフキスト」輩ニ依リ且又「ソイクラテオス」以前ノ自然哲學ニモ根據セントセリ。サレバ當時ノ三學派ハ其ノ何レモ皆個個ノ現象ヲ其ノ出發點トナシ論理ニヨリ現象ノ背後ニ存スル哲理ヲ求メ出ダサントセリ。此ノ研究主義ハ其ノ當時ノ自然科學ノ研究方法ト全ク一致セシモノトイフベシ。然レドモ是等ノ哲學者ハ現象ノ知識ヲ綜合スルニツキ何等ノ確實ナル標準ヲ覺信セズ又在來發達シ來リタル標準ニ據ラントモセズ。サレバトテ自ラ內的經驗ニヨリ必要ナル形式標準ヲ立ツルコトヲ得ズ。故ニ系統ヲ立ツルニツキ依ルベキ確實ノ

根據ヲ失ヒタリ。斯ノ如クシテ五里霧中ニ彷徨セシコトハ尙存續シタルアカ  
デミイ學派、逍遙學派ニツキテモ亦見ル所ナリ。

第三 偶、當時ノ状態ヲ顧ミレバ、希臘ノ政治上ノ獨立破レタルガ故ニ、各個人  
ハ其ノ國家ニ依頼セズ、自立シテ安心立命ヲ計ルベキコトノ避クベカラザル必  
要ヲ感ジタリ。同時ニ小市國ヨリ轉ジテ大ナル國家ニ支配セラルルニ至リ  
シガ故ニ、個人主義ノ勃興スルコトハ勢ヒ避クベカラザリシ所ナリ。此ノ要求  
此ノ風潮ハ哲學ガ各科學ヲ拘束スルカヲ缺キ、又在來ノ哲學ニ根據スルヲ得ザ  
ルニ當リ、之ヲシテ專ラ個人道德ノ哲理ヲ探求セシメ、個人ノ悟ヲ開カシメ、個人  
ヲシテ、安立ノ地ヲ得セシメントセリ。一佛敎ガ支那ニ入り、陸盛トナリシ理由ノ  
トニ比スレバ、個人佛敎ナリ。此ノ後ハアレクサンドロス大王ノ國ガ瓦解セル  
ガ如ク、ソークラテース系統ノ哲學モ亦崩レ、希臘ニ於テハ最早自然ト人生トノ  
兩方面ニ跨ガリ、複雑極マリナキ現象ノ知識ヲ組成シ、再ビ其ノ深奥ナル根柢ヲ  
達觀セントスル者ヲ生ゼザリキ。

哲學ノ入用ヲ感ジタルガ、一方ハ國ヲ頼ミニ出來ヌ故自己ヲ頼マザルヲ得ズ。之ト同時ニ

在來ハ國家  
希臘ハ意  
識ノ中心  
點  
タリキ

個人道德及  
心個人ノ安

「プロタイ  
ヌス」等ハ  
在リシモ

是レ古神道  
自身ノ要求  
ナリ

人民ガ己ヲ擴張スル程度ニ伴ハズ、新國ハ區域ハミガ大キクナレバ、益國ニ頼ラズ自己ヲ頼ム  
ハ當然ナリ。民ノ精神ニ鈞合ハズ、國ノ範圍ガ大トナレバ、個人主義トナル。之ニ反シテ日  
本ノ如ク、沒我心強ク愛國心ノ熱烈ナル所ニ在ッテハ、益其ノ國ヲ擴大セズンバ、民ヲシテ偏見  
ニ陥ラシムル憂在リ。

## 第二節 「エビクローロス」學派

### 目次

- 第一款 總說
- 第二款 「カノニク」
- 第三款 物理論
- 第四款 神ノ論
- 第五款 道德論
- 第六款 國家論

### 第一款 總說



「エビクテロス」Epikuros「サモス」ニ生レ後「アテネ」ニ來リ學派ヲ開ニ從ヘバ哲學ハ職分ハ思惟ニヨリ個人ヲシテ安樂ナル生活ヲナシ得セシムルニ在リ。自然哲學數學モ亦畢竟此ノ職分ヲ補佐スルモノニ過ギズ。蓋シ在來希臘人ノ意識ノ中心點タリシ宗教ノ多神教竝ビニ國家主義ハ崩潰シテ哲學ガ唯一ノ安立ノ根據トナリシニ拘ハラズ彼ハ此ノ哲學ニツキテモ在來ノ思辨ニヨリ何等ノ成績ヲ舉ゲ得ザリシヲ見、デーモクリトスノ自然論ヲ採用シツツ全然人生哲學ニ立チ返リ之ヲ基礎トシテ迷信ヲ離レタル大知識ノ賢人ヲ養成シ各人ニ知識ヲ與ヘ之ニヨリ各個人ノ安樂ヲ得セシメント志シタル者ナリ。サレバ彼ノ理想ハ各人ヲシテ國家社會ニ超越シ國權ノ些少ノ拘束ヲモ受ケズ自由ナル個人生活ヲ營マント欲スルニ在リ。又智ニヨリ迷信ヲ滅却シ恐怖ナキ生活ヲ味ハシメント欲スルニ在リキ。而シテ此ノ説ガ「ストア」學派ノ説ト並ビテ羅馬人ノ間ニ行ハレタルハ注意ヲ要スル所ナリ。

安樂トイフ字ニ特別ノ意アリ。個人ノ安心立命ノコトニシテ、ヨク仙人ニ似タリ。支那ノ仙人ハ國家社會ヲ輕蔑シテ國家ナキ所ニ在リキ、婆羅門教ノ仙者亦然リ。而ルニ此ノ世ノ中ニ婆羅門ノ仙人ヲ引張リ出シタル者ハ釋迦牟尼ナリ。

佛敎ニモ悟者ヲ指シテイテ大知識トイフ

Nietzsche Tolstoj 參照

支那ノ所謂仙人ト波羅門教ノ仙者ト參照

第二款 「カノニク」Kanonik 「エビクテロス」學派ノ論則。

吾人ハ必ズ活動スル者ナリ。此ノ活動ハ智ニヨリテ全ウシ得ルモノニシテ、活動ヲ全ウシ得ルガ故ニ幸福ナルコトヲ得ルモノナリ。此ノ事物及ビ其ノ法則ノ知識ハ知覺ニ基ヅキテ得ラルベキモノナリ。故ニ事物及ビ其ノ法則ノ知識ガ精密確實ナルト否トハ、知覺ノ精密確實ナルト否トニ歸着スベシ。覺醒セル状態ニ於テ存在セル知覺ニハ必ズ之ニ對スル外物アリ、此ノ知覺ハ繰返サルルニ從ヒ記憶トナリ先見「アロレープ」ヲ生ズルニ至ルモノトス。先見ノ明アルコトハ法則ヲ知ルニ大切ナル道具ニシテ、知覺ト記憶ト先見トハ、知識獲得ノ要具ナリ。故ニ「エビクテロス」ノ知識論ハ感覺的經驗論ナリ。

「エビクテロス」モ亦感性知覺ヲ眞實トナシ、此ノ眞實ニ對シテ誤リタル原因ヲ結び付クルニヨリ妄念ヲ生ズルモノトナス。故ニ知識ノ對象客體ハ外界ニ存スル物自體ニ非ズシテ歸スル所感覺ニ在リ、故ニ絶對ニ固定セル客體アルコトナシ。是レ「プロイタゴラス」ノ立場ト同一ナリ。併シ「エビクテロス」ハ全世界ヲ

懷疑ノ裡ニ葬リ去ラントセズ尙是ニヨリ進ンデ此ノ根據ノ上ニ知識ヲ確定セ  
ントセリ。是レ「プロイタゴラス」ト異ナル所ナリ。且「エピクテロス」ハ「プロイタ  
ゴラス」ヨリ進ンデ各感覺ニ通ズル共通又ハ普遍ヲ前提セル知覺ノ繰リ返シヲ  
認メ記憶ヲ説キ先見ニ及ビタルガ故ニ命題又ハ斷定ノ如キハ又此ノ記憶ノ回  
想ニヨリ認メラルルモノニ外ナラズシテ常ニ精密ナル眞實トイフコト能ハズ  
ト論ジタリ。要スルニ斷定ハ人間ガ物ニ對シテ惹キ起ス感覺ノ結晶セシメラ  
レタル意見ニ外ナラズ。故ニ直チニ眞實ナルニ非ズ。タダ知覺ノ證明シタル  
モノニ限り有效ナルコトヲ認メ得ベキノミナリト。

思惟ノ職分ハ現象ノ背後ニ存シ感覺ノミニヨツテハ捉ヘ得ザルモノ「アデー  
ヲ知り得セシムルニ在リ之ヲ捕ヘ得ザルモノトハ論理上與ヘラレタルモノニ  
シテ根柢ニ於テハ假定ナリ之ヲ得ルニハ歸納法ニヨルノ外途ナキモノトス。  
個個ノ現象ノ知覺ヨリ歸納シテ得タル法則ヲ以テ更ニ種種ノ場合ニ有效ナル  
ヤ否ヤヲ吟味シツツ更ニ歸納シテ一層高等ノ法則ヲ求ムルニ在リ。此ノ方法  
ハ「ジョン・スチウアルト・ミル」John Stuart Millノ研究方法ニヨク似タルモノナリ。

簡單ノ論ナリ知覺ガ正シキ故之ヲ歸納シテ得ル論理上ノ要求ナリトセリ。近世ニ至リテ  
「エピクテロス」ハ非常ニ大切ノ人間トナレリ。近世ハ古文復興シテ希臘ノ研究ニ入りタルガ  
故ニ此時ニ方リテ先づ簡單ノ「エピクテロス」ノ説ナドガヨク解サレ又之ヲ通ジテ「デーモク  
ロス」ノ説等ヲ知り得タルナリ。

### 第三款 物理論

彼ノ「カノニク」 Kanonik ハ物理論ノ爲ニ存在シ物理論ハ人生觀ノ爲ニ存在ス。  
其ノ物理論ハ「デーモクリトス」ノ後ヲ承ケ唯物論的原子論ヲ説キ其ノ全部相對  
關係ヨリ説キ起シタルモノナレドモ「デーモクリトス」ノ上ニ出デザルハ勿論「デ  
ーモクリトス」自身ニモ及ブ能ハザルモノトス。

論理ハ現象ノ背後ニ存シ見聞シ得ベカラザル事實ノ法則ヲ説明シ得セシム  
ルモノナリ。「エピクテロス」ハ此ノ論理ト相待チ嚴格ニ因果律ヲ是認シテ自然  
界ノ認識ニ必要ナル根據トナルベキ規則ヲ立テタリ。例ヘバ無ヨリ何等ノモ  
ノヲ生ズルコトナシトカ世界各部分ノ等シキ質ヲ有スルモノナルコト等ナリ。  
是等ハ近世ノ自然科學ニ於テ悉皆其ノ歸納法ノ前提トスル所ナリ。是等ハ皆

「デモクリトス」ノ立テタル所ニ外ナラザレドモ「エビクローロス」ノ學說ガ反ツテ近世自然科學ノ根柢ヲ成シタルモノナリ。「デモクリトス」ノ學說ガ「エビクローロス」ヲ通シテ近世ニ紹介セラレタルモノナリ。

「エビクローロス」ト「デモクリトス」ト異ナル所ハ、原子ノ形ニハ其ノ種類ニ於テ定數アルコト、又原子ノ旋轉運動ヨリ説カズシテ、其ノ重サニ基ヅク落ト下ニヨリ世界ノ運動ヲ説明セントスル點ニ在リ。此ニ「デモクリトス」ノ唱アリ。及ビ自然ノ知識ハ全ク人間ノ實用ノ爲ニ存スルモノトナシ、知識ノ獨立ヲ認メザル點ニ存ス。而シテ「エビクローロス」ノ「デモクリトス」以外ニ出デテ特ニ優リタル點ハ、唯人間ノ自然史ヲ研究セントセシ點ニ在ルノミ。

#### 第四款 神ノ論

神神ハ特ニ爲スコトナシ。故ニ自然ハ唯定法ノママニ變轉スルノミ。サレバ神ノ尊キ所以ハ其ノ自由ニヨリ吾人ニ利ヲ與ヘ又ハ災ヲ爲スノ點ニ在ラズシテ、彼等自身ノ平靜ニシテ圓滿完全ナル點ニ在リ、自ラ最高ノ安キニ在ル所ニ

「ローマ」人ノ神參照

藥ハ用法ニ  
テ毒ナリ  
強キ滋養物  
ガ腐敗スレ  
トバ殊更有害

アリ。但シ吾人ガ是等ノ神ヲ敬スルハ外部ニ存スル神自身ヲ敬スルニ非ズシテ、吾人ノ窮極ノ理想ニ合スル神ノ觀念ヲ敬スルニ外ナラズ。神ガ神トシテ完全圓滿ナルハ其ノ行動ニヨリテ然ルニ非ズ。吾人ノ觀念上、吾人ノ理想トシテ認メラルルガ故ニ神トシテ圓滿ナルノミ。即チ神ハ主觀的知識ニヨリ認メ得ベキノミ。

然レドモ彼ガ特ニ努力セシ所ハ在來ノ宗教的其ノ他ノ迷信御幣擔ギヲ排斥セントセシコトナリ。迷信ヲ去ルニハ先ヅ事物變遷ノ原因ヲ知ルコトヲ必要トセリ。事物ニハ其ノモノ固有ノ一定ノ法則アリ、之ヲ明ラカニスルモノハ自然ノ學問ニシテ、事物ノ變遷ニ定法アリ原因アルコトヲ詳知シ得タルトキハ之ニヨリ無益ナル恐怖心配迷信疑念ヲ斷ジ平靜多幸ナルコトヲ得ベシ。迷信的宗教ハ此ノ正反對ノ效果ヲ生ズルモノナリト。迷信的宗教ハ之ヲ轉ジテ活キタル眞ノ宗教トナスヲ要ス。

#### 第五款 道德論

「エビクローロス」ノ道德觀ハ全ク個人的快樂說ナリ、快樂說ハ元「デモクリトス」

非國家主義  
個人主義

當世ノ「ハ  
イカラ」男  
トイフベシ

及ビ、キレトネ學派ノ唱ヘタル所ナルガ「デフアネーリス」(Deu Phanes)ヲ經テ「エビクテロス」ニ傳レリ。終ニ「エビクテロス」ニ傳ハリ、彼ニ至リテ個人快樂主義トシテ確實ニセラレタルモノナリ。友愛及ビ知識ハ賞讃スベキモノナレドモ、家族生活、國家生活ハ至ク彼ノ排斥スル所ナリ。個人ノ自由幸福ヲ求ムルコト各自ノ安樂安泰即チ個人トシテノ安心立命ヲ求ムルコトガ彼ノ道德觀ノ終局ナリ。方法コソ異ナレ各自ノ悟道、各個我ノ安心立命ヲ求ムルコトハ實ニ現今ノ世界ヲ通シテ荒レツツアル風潮ナリトス。自然科學ノ根據ノ知識ニツキテノミナラズ、此ノ點ニ於テモ「エビクテロス」ハ著シク近世的ナリ。

日本ニテモ國家主義ナドトイフガ、今日デハ自己ノ安心立命ヲ求メツツアルモノガ多イ様ニモ見エル。否カ。

各自ノ幸福、安樂、快樂、無事、安泰、安穩、安寧ガ人生ノ目的ナリ。至善トハ愉快ノイヒニシテ、惡トハ不愉快、苦痛又ハ煩悶ノイヒナリ。但シ愉快トハ近世ノ歐洲現今ノ我國ニ於テ思惟セラルルモノト同一ニ非ズ、眼前一時ノモノニ非ズ。之ヲ各自ノ一生涯ニ擴張シタル大愉快ヲ意味ス。從ツテ何が此ノ種ノ大愉快

「エビクテロス」學派ノ道徳論  
希臘文化散佈時代  
第二節 「エビクテロス」學派  
道徳論  
個人主義  
非國家主義  
當世ノ「ハイカラ」男  
トイフベシ

大安樂ナルカヲ洞察シ得ルノ知識ヲ要ス。學問ノ要此ニ在リ。學問ハ夫自身目的ニ非ズシテ此ノ方便ナリ、此ノ手段ナリ。(大安樂ヲ得ル方法ハ思惟ニ在ルノ點ハ印度ノ婆羅門教ヲ參照スベシ。學問ハ全然手段ナリトスルノ點ハ、特ニ近代日本ノ思潮ヲ參照スベシ)

然レドモ彼ノ愉快快樂幸福トスル所ハ、積極的ニ欲求ヲ充タスガ爲ニ得ラルル樂シミヲイフニ非ズ、之ヲ排斥スルニ非ザレドモ、更ニ高等ナル苦モナク、所謂樂モナキ安樂、平靜ノ状態ヲイフ。故ニ或點ニ於テハ又佛教ノ涅槃ニ近ヅキツツアルモノナリ。樂アレバ苦アリ、欲求ヲ達スルヲ快樂トセバ、無限ナル人欲ハ益、增長シテ常ニ不愉快ヲ以テ終ルベシ。是レ、キレトネ學派ノ積極的動的快樂ノ未ダ眞ノ安樂タラザル所以ニシテ、又「デフアネーリス」ノ沈思默想ノ樂(即チ希臘問藝術自身ノ道樂)學ノ未ダ達セザル所アル所以ナリ。「事足レバ足ルニ委セテ事足ラズ」事足ラズ事足ル身コソ安ケレトハ簡ニシテ能ク「エビクテロス」ノ精神ニ符合スルモノナリ。是故ニ「エビクテロス」ハ寡欲ヲ貴ビ、己ニ克ツ、強固ナル意思ノ修養ヲ必要トナシ、外界ノ繫縛ヲ離レ、自由自在ノ人タルニ至ルヲ要ストセリ。

「エビク  
ロス」ハ樂  
ヲ是認シテ  
大安樂ニ達  
セントシハ  
「ストア」ハ  
苦ヲ求メシ  
メテ、ヤガ  
テ苦樂ヲ超  
トスセシメ  
ン

欲求ノ分析

此ノ解脫ノ状態ヲ「アタラクシア」drapaxiaトイフ。「エビクロス」ハ自然論ニテ強ク意思ノ自由ヲ認メタリ。テサレバ出發スル所ハ「ストア」學徒ノ正反對ナルガ、其ノ修養ノ方法ニ至リテハ互ニ相暗合セリ。

「エビク로스」ガ我ニ廻轉ト水ト在ラシメバ、幸福ニ於テ神ニ讓ラズトセシハ、顔回ガ一簞食一瓢飲、在陋巷、人不堪其憂、回也不改其樂ト相似タリ。

日本ニテモ「一體何故ソナ事ヲスルカ」利益ガアルカラスル「トイハバ人ガ輕蔑スルモ、面白カラスル」トイハハ輕蔑セズ「道樂」トイハバ人ガ是認スル。樂シミトハ吾人ノ願ニ涉ミ込デオリ、惡シキコトニ非ズ、唯卑近ト高尚トアルノミ。然ルニ希臘人ハ藝術學問ハ希臘人ノ性分ヨリ道樂ニスル「エビクロス」ハ其ノ心ノ樂シミヲ大ナル樂シミニセントセリ。故ニ道樂ヲ擴張シテ終ニ樂シミヲ捨ツルコトガ眞ノ樂シミナリトナスニ至レリ。故ニ「ストア」ハ「安心立命」ナドト馬鹿ナコトヲイフナ人間ハ苦シムガ本分ナリ、義務ヲ行ヘバ夫デ善イ、苦ニ堪フル爲ニ生レ乍ラ各個人ノ樂シミナドト、生意氣ナ事ヲイフ勿レトナセリ。然シ結局スル所二者同一ニ歸着セザルニ非ズ。「ストア」ハ苦シム事ガ安心立命ニテ矢張り安立ハアルガ、初メカラ安立ノ看板ヲ掛ケザリキ。但シ「エビクロス」派ノ末輩ハ彼ノ眞意ヲ解セズ卑近ナル快樂主義ニ陥ルノ傾向アリシハ之ヲ認メザルベカラズ。

寡欲克己ヲ實行スルニ當リ、如何ナル欲求ハ之ヲ捨ツベキカ、又捨ツルコト能ハザルカニツキ「エビクロス」ハ需要ヲ分析シテ三種トセリ。其一ハ自然ニ備

ハリタル需要ニシテ人生ニ缺クベカラザルモノ、即チ最少限度ノ需要ナリ。其二ハ自然ニ備ハリタル需要ナレドモ、止ムヲ得ザルニ當リテハ缺クコトヲ得ルモノ、即チ多クノ場合ニ圓滿ナル快樂ノ材料トナリ、之ト矛盾セザルモノナリ。其三ハ人爲ノ自由ニヨル需要、即チ斷ツコトヲ要スルモノ是ナリ。

惟フニ專擅國ニ在リテハ、人民第一ノ需要スラ之ヲ蹂躪シ、進歩セル專制國ニ在リテハ、人民ノ第一ノ需要ハ尊重スレドモ、濫リニ第二ノ需要ヲ制限シ、立憲國ニ在リテハ、人民ノ第三ノ需要マデモ之ヲ尊重シ、之ヲ是認シ、其ノ止ムナク之ヲ制限スル場合ニ於テモ各種ノ需要ニ從ヒ、其ノ制限ノ形式ヲ異ニスルモノナリ。近世個人主義ノ勃興ト共ニ「エビクロス」ノ研究セラレタルハ又故ナキニ非ラザルナリ。

近世ハ快樂ヲ斷タナイ「エビクロス」ハ快樂ヲ斷ツヲ主意トセリ、異ナルトコロナリ。

### 第六款 國家論

「エビク로스」ハ著シク人爲ノ形式ヲ離レタル友愛(デーモグリティス)參照ヲ重

當時ノ國家  
ヲ救フハ  
セズ

而トシテ  
武士道ノ  
ナルテハ  
ナルガ如  
ナシビク  
一ニシテ  
樂ヲ求ム  
コトモ非  
モシテハ  
國ヲ救フ  
ガナラズ  
リトナト

ソシテガニアリストテレニスノ形式的ニ設ケタル差別的愛情ヲ輕蔑シ國家並ビニ家族生活ヲ以テ自然必須ノ需要ニ出ヅルモノニ非ズトシ之ヨリ離脱センコトヲ求メタリ是故ニ彼ノ道德論ハ夫自身ガ結論ニシテ又積極的國家論ノ前提ニ非ザルナリ。彼ノ國家論ハ唯消極的ニ之ヲ説キ得ルノミ。國家ハ個人ノ安樂ヲ目的トシテ人爲ニ創設セラレタルモノナルガ反ツテ人人ノ快樂ヲ制限シ且個人ノ煩累ヲ増シ國家國務ノ爲ニハ往往己ヲ拋擲セザルベカラズ。家族モ亦性愛ニ基ヅキ人爲ニ認メラレタル團結ナルヲ以テ家族夫自身ハ第一ノ需要ニ非ラザルノミナラズ之ニヨリテ一身ヲ束縛シ他人ノ欲求ヲ負擔セザルベカラズ故ニ賢人智者ハ之ニ重キヲ置カズト。故ニエビクローロスハストア學徒ト並ビテ羅馬人ノ思想ヲ支配セシガストアノ如ク法律ニ味方シテ法律ヲ尊重シ個人ノ義務心ヲ發達セシメタルモノニ非ズ。却ツテ法律ヲ重ンズル反動トシテ其ノ制度ノ弊害ヲ感ズル者ノ心ヲ收攬シ法律ノ範圍内ニ於テ其ノ效力ヲ維持シ且羅馬人ノ主觀主義ヲ寬和セシムル所ノ客觀主義ヲ唱道シタルニ過ギザルナリ。〔ルクレチウス〕參照。

### 第三節 「ストア」學派

#### 目次

- 第一款 總說
- 第二款 知識論
- 第三款 物理論(自然論)
- 第四款 道德及ビ國家論
- 第一款 總論

羅馬ニ入りテ益法律ガ發達セシガ尙快樂主義ヲ重ンゼリ。法律ノ形式主義ノ嚴ナルニ對シ、隱然法律制度ノ中ニテ主張セリ。故ニ人民ノ下層ニ於テ能ク行ハレタリ。

「ストア」Stoa 學派ハ「ツヒーノン」Zenon 336—261 頃「キプロス」ノ出ニシテ開カレタリ。「ツヒーノン」ハ紀元前三〇〇年ヨリ「アテネ」ノStoa Poikileヲ集會所トシテ教授セリ故ニ「ストア」學派ノ名ヲ得タリ此ノ語ハ「彩色アル堂」ノ義ナリStoaハ他ノ學派ト趣ヲ異ニシ彼ノ後數代ヲ經テ始メテ其ノ學說ノ完成セララルニ至レリ從ツテ其ノ哲理ノ詳細ニ至リテハ人人必ズシモ其ノ見解ヲ



第一門 第三章 希臘文化散布時代 第三節 「ストア」學派 總說 三四二  
ル護教家又ハ辨證學者 Apologisten並ビニ教父 *pateres ecclesiae* ニヨリテ發達セシメラレタルモ  
ノナリ。

立憲國ノ根  
祇ハ唯個人  
ノ自由主義  
ノミニ非ズ  
統制ノ非  
立憲國ニ  
統制ノ非  
立憲國ニ  
統制ノ非

二祖慧可

「ストア」哲學ハ實際ノ修養ト不可分ニ唱導セラレタルモノニシテ、二祖クレア  
ンテ「ストア」ノ如キハ其ノ行ヲ以テ鳴レリ。禪宗ノ二祖慧可ニ似タリ。其ノ基礎觀念トスル所  
ハ自然 *physis* (φύσις) 在リ。世界ハ神ノ有スル目的ノ自然ノ開展ニ外ナラズ、自  
然ハ自ラ生成力ヲ有シ、夫自身ガ目的ヲ有スル一神ニ外ナラズ。萬物ヲ生ゼシ

韋陀哲學

ムル原因ハ萬物以外ニ超越シテ存在スルモノニ非ズ、神ハ萬物ノ內在的、原因ニ  
シテ、又萬物ハ一神以外ニ存在セズ。(スピノザガ自然弄ヲ *natura naturata* トシ、其  
ノ根本タル神ヲ *natura naturans* ト名ヅケ、其ノ合一ヲ説キタルコト、及ビ印度韋  
陀哲學並ビニ佛教汎神論參照)

*natura naturata* ハ *natura naturans* 以外ニナク、其ノ内部ニ存シ範圍異ナルナシ。「ストア」ハ東  
洋ノ思想ニ大ニ似タリ、佛教計リナラズ、儒教、道教、日本武士道ニ似タル所多シ。

基督教ニ傳  
ハル

「ストア」ハ此ノ自然、自然ニシテ、又一心ナリ。心靈ナリ。此ハ神ノ心靈、  
ノイテ、*pneuma* (πνεύμα) 基督教ノ採用ハ、物質ニ伴フテ存在シ得ルノミ。「イオニア」  
ノ自然哲學ノ物活論ハ「ストア」ニ至リテ復興セラレタルモノトイフベシ。「ミレ  
ト」トス「學派」ヨリ「ヘーラクライト」トスニ至ル間參照) 個人モ亦此ノ一神ノ顯現ニ  
シテ、其ノ身體ト共ニ其ノ精神ヲ有シ、其ノ精神ハ即チ神ノ心靈ノ發現ナリ。故  
ニ人事モ即チ根柢ニ於テハ神事ニシテ、道德ハ又各自ノ自然即チ本性ノ發揚自  
身ニ外ナラズ。斯クシテ「ストア」ノ要部タル道德政治論ハ、皆 *natura naturans* ノ  
基礎ノ上ニ統一セラレテ存在ス。「ストア」ノ此ノ神ノ論ハ「フクロン」, *Philon* 新「フ







スル認識ノ能力ニ信賴スルコトヲ得ベシ。吾人ノ覺信ノ真正ナル所以モ歸スル所復此ニ存ス。是ニ由ツテ未ダ經驗セザルニ當リテモ先見シ得ルコトハ、特ニ天才ニ就テ見得ル所ナリ。(ゴエーテ)「天才ノ先見參照」例ヘバ吾人ガ人心人格ノ價值ヲ感シ神ヲ信ズルガ如キハ學問上ノ證明ニ先ダテテ各國民ガ絶對ニ認メザルヲ得ザル所ニ屬ス。

經驗ノ出來ヌ前ニ先見ノ明アルガ如キハ、神ノ發現者ナレバナリ。天才計リデナク一體神ガ存在スルトカ、人格ノ價值ノアルコトカイフコトガ先見ノ明ヨリ出ヅルモノナリ。

第四 吾人ハ更ニ是等ノ先見ヨリ進ミ學問ニヨリ是等ヲ根據アル知識ト爲スモノナリ。其ノ方法ハ經驗竝ビニ歸納ニ在リ。但シ是等ノ方法ニヨリ論理ノ形式ヲ藉リテ作ラレタル判斷ハ夫自身決シテ絶對ニ確實ナル知識ニ非ズシテ唯知識ノ結合ニ外ナラズ。而シテ斯ノ如キハ賢愚ヲ擇バズ何人ニツキテモ眞實ナルヲ以テ連結セラレタル知識ハ判斷者ノ意思ニヨリテ左右セラレ其ノ有スル世界觀ニヨリテ異ナルベク其ノ人格ノ影響ヲ脱シ得ザルモノトス。從ツテ思惟ノ結果ニツキテモ吾人ハ其ノ責任ヲ免ルベキモノニ非ズ。是レ實ニ

羅馬法責任ノ擴張

知識ガ人格自身ニ及ブ能ハザル根柢ヲナシストアガ先ヅ人格ノ完成ヲ求メ人格ノ神性ヲ發揚スルコトニ重キヲ置ク所以ニシテ又知識以外ニ認定ヲ是認セシムルニ至ル伏線ナリ。

「ストア」ハ人ハ神ノ發現者故知覺ヲ高メテ知識トシ、更ニ進メテ高等ノ知識トスルハ眞ナリトセリ。コレダケニテハ「ストア」ハ知識ノ絶對性ヲ是認スル様ナレドモ然ラズ。知識ハ虚ニモ非ズ又絶對ニ眞ニモ非ズ各人ノ知識ハ盡ク合一セズ。結び付ケテオル人々ニテ異ナル。トドノツマリ人格ニテ異ナル。良畫工ノ描ク繪ハ其ノ人格ニテ定マルガ如シ。學說ノ如キモ亦然リ。歸スル所人格ニ在リトハ「ストア」ノ明言ナリ。故ニ曰ク人間ハ其ノ行動ニツキテ責任ヲ負フベシ又考フルコトニツキテモ責任アリト。コノ考ハ「ストア」マデハ未ダ聞カザリシ所ナリキ。行動ニ責アルハ勿論考ヘ方ニマデ責任アルト擴張タリ。斯ノ如ク善キ論旨ハ澤山アレドモ其ノ連絡及ビ統括ニツキテハ後世ノ任務トイフベシ。

第三款 物理論(自然論)

「ストア」ハ事物ノ自然ヲ基礎トシテ出發スルノミニシテ別ニ實在原理論ヲ試ミズ一躍シテ自然論ヲ討究セリ。今之ヲ自然ノ性質、世界ノ成立、人間ノ地位ノ三ニ別チテ説明セン。

天之御中  
神皇產靈  
ト比較セ

第一 自然ノ性質

第一 萬物ノ根源ハ創設力ヲ有スル自然ニ在リ。此ノ自然ハ物質的形式的ノ存在ヲナス。本體ニタダ無形的精神的ノモノナク、又アリストテレイスノ謂ヘルガ如キ本體ノ形相アルコトナシ。カノ知識ニヨリテ意識セラルルモノモ純精神的存在スルモノニ非ズ、形體ニヨリ存在スル感官ヲ通ジテ形體ヲ感覺セシムルモノナリ。若シ形體以外ノ物アリトスルモ、之ヲ知覺スルノ道ナク、從ツテ認識スルニ由ナカルベシ。サレバ「ストア」ハ無體物ヲ認メズ、神精神德及ビ情緒ノ類モ皆之ニ伴フ物體アルモノトシ、精神ト物體トガ合一セズシテ各別ニ存在シナガラ、現ニ精神ガ占メツツアル場所ヲ同時ニ衝突ナク物體ガ占メツツアルコトヲ主張セリ。則チ「ストア」ノ偉大ナル物活論ナリ、又唯物論ナリ。斯ノ如クシテ「ストア」ハ物ニハ形體ヲ必要トセシガ、其ノ哲理ニヨレバ、總ベテノ精神現象ハ背後ニ形體ヲ有スルモノト認メラレタルガ故ニ、反ツテ羅馬法ニ於テ自由ニ精神現象ヲ物體ノ一種タル無體物ト認ムルニツキ大ナル便宜ヲ與ヘタリ。當ニ無體物トイフモ、尙根本ニ於テハ形體ヲ有スルモノニ非ザルガ故ニ、唯物論トイフモ、特ニ無體物トイフモ、尙根本ニ於テハ形體ヲ有スルモノニ非ザルガ故ニ、唯物論トイフモ、特

羅馬法ガ特  
種現象ヲ物  
體化セシメ  
ルコト

殊ノ性質ヲ帶  
ブモノナリ。

「ストア」ノ汎心論ハ汎神論ト混ジタ様ナルガ、大袈裟ナル物活論ナリ。故ニ自然論モ種種ノモノヲ混ゼリ。心ト物ト同一物ノ兩方面ナリト云ヘバ、分カレバ別ノモノトセリ、故ニ反ツテ面白キ所アリ。併シ「ストア」ノ重要ナル點ハ此ニ非ズシテ、實修即チ人格ノ養成ニ重キヲ置キ、點ニ在リ。當時起リシ各科學ヲ統括シテ、根據ヲ與フル完全ノ哲理ハ「ストア」ニヨリテ統一サレタルニ非ズシテ、實行論ガ主ナルモノナリ。羅馬法ニハ無體物アルモノモ、物ニテ差當リ形體ナキモノ即チ見エヌモノガ無體物ナリ。無體物ナルモノナシトイフコトヲ前提トシテ反ツテ大ナル無體物ヲ是認シタルワケナリ。精神ヤ德ニ形ガアルハオカシトイフモ、人格ニ付キモノナリ、而シテ其ノ人格ハ必ず形體ト離ルルヲ得ザルニ非ズヤ。

二 「ストア」ノ物體トイフハ絕對ニ精神ヲ離レテ存スルモノニ非ズ。萬物ハ皆心靈即チ一心ノ顯現ナリ、故ニ精神ハ萬物ノ悉皆ニ附着シ、何レモ理法ニ協ハザルモノナシ。此ノ點ヨリ見レバ「ストア」ノ哲理ハ汎神論殊ニ汎理論ナリ。

神ハ心靈 Pneuma ナリトイフ故ニ汎心論ナリ。即チ理體 Logos トイフ故ニ汎理論ナリ。夫レガ活キタル物體ノ現ハレナリトイフガ故ニ物活論ナリ。又形體自身ハ心ニ非ズシテ物質ナリトイフガ故ニ唯物論ナリ。

宇宙ハ物質ノ機械的運動ニヨリテ動クモノ存スルモノニ非ズ、此ノ一心ノ目的ニヨリテ存ス。故ニ此ノ點ニツキテハ目的論ナリ。此ノ目的論ノミハ「ストア」

λογος 理體  
即ち nous  
(souffles)  
根源ナリ

アガ、プラトーン並ビニアリストレトリスヨリ傳承シタル所ナリ。宇宙ハ目的的存在ヲナシ、其ノ目的ヲ維持スルモノハ「プノイマ」(Pneuma)即チ心靈ナリ。「プノイマ」ハ猶物質ニシテ、且其ノ「ヘトラクライトス」ノ所謂「ロゴス」即チ理體ナリ。大道ナリ、常道ナリ、大法ナリ、之ニヨリテ萬物ハ特ニ定マリタル意義ヲ有シ、又其ノ目的ニ適ヒタル存在ヲナシ、其ノ秩序ヲ有シ、統括制ヲナシツアルモノナリ。宇宙全體ノ中ニ於テ此ノ理體「ロゴス」ヨリ獨立且孤立シ、之ニ漏レタルモノアルコトナシ。此ノ汎理論ガ羅馬法ニ及ボシタル影響ハ實ニ根本的ナルモノナリ。

寧ロ「ソークラテース」ノ實際的ノ性格ニ動カサレタル「ツエーノン」ノ立場ハ實際ノ修養ヲ中心トセシガ故ニ、其ノ端末ノ自然論ハ種種ノモノヲ混入セリ、東西兩洋思潮ノ調和ノ出來ルコトヲ明ラカニセルモノナリ。心物同一トセバ物活論トナル、異ナルモノトセバ形ノ方ハ唯物論ニシテ他ハ汎心論汎神論汎理論トナル。「プノイマ」ハ單純ノモノデナク、物質ヨリイハズシテ主觀ヨリイヘルガ、物質ト離レヌモノナリ。「ヒッポクラテース」(Hippokrates)ノイヒシ「プノイマ」ヲ取リ來リタルモノナリ。汎神論汎心論ハ目的ヲ有スルモノニテ、唯物論ハ機械的ノモノナリ。「ストア」ハ此ノ機械觀ヲ斥ケタルガ故、唯物論ヲ採リツツアリテモ尙「ランゲー」ガ「イフ」如ク特別ノモノナリ。故ニ宇宙ノ根柢ハ大道ナリトセシハ老莊ト同一ナリ。孫子モ五事ヲイヘリ。一日道二曰天三曰地四曰將五曰法ト。法トハ認定法ナリ。最高ノモノヲ道トセリ。此ノ理

孝子ノ道  
孫子ノ五事  
ノ第一

想ハ「ストア」ニモアリテ羅馬法ニ大影響ヲ及ボシタリ。汎神論ニ基ツキテオル故ニ勢力アリ。目的論ノ方モ汎理論ニ基ツキテオル故意味アリ。

三 此ノ原理ニ從ヒ自然界ヲ觀察スレバ、其ノ一部分タル萬物ノ目的ハ其ノ必至並ビニ運命ト同一ナリ。因果關係ハ例外ナク各部分ヲ結合ス、意思ノ力ヲ有スル人間スラ其ノ必至ニ漏ルルモノニ非ズ。人間ノ意思ハ此ノ大ナル自然必至ノ結晶ノミ、神ノ豫定セル力ノ顯現セルノミ。即チ部分ハ全部ニ對シテ獨立スレドモ尙全然全部ニヨリ定命セラルルコトヲイフ。此ノ思想ハ羅馬法制ノ確實ナル結晶ニ大ナル效力ヲ與ヘタルモノニシテ、又其ノ精神ハ恰モ「スピノザ」ガ此ノ宇宙ニハ必至ト同一ナル自由以外ニ夫自身絕對ナル自由ナシトセルト同様ナリ。實ニ客觀的ニ見レバ自由ハ即チ因果關係ノ内容ヲナシ、之ヲ成立セシメツツアルモノニ外ナラズシテ、統括的ノ因果ノミガ現ハレ、被統括的ノ自由ガ背後ニ隠ルルモノトナス。此ノ點ニツキテハ「ストア」ニモ「スピノザ」ニモ贊成シ得ベキナリ。然レドモ主觀ヲ中心トシテ見レバ因果ハ却ツテ自由ニ利用セラレ、之ヲ成立シツツアルモノナレバ、統括的ノ自由ノミ現ハレ、被統括的ノ因

羅馬法

果關係ハ背後ニ隱ルモノナリ。因果關係ハ知識ノ最小限度ノ要求ノ一ニシテ自由ハ又意思ノ最小限度ノ要求ノ一ナリ。「ストア」ガ其ノ道德論ニ至リ突然意思ノ自由ヲ認め其ノ必然説ト調和セザルノ觀アルモ亦故ナキニ非ズ。

「ストア」學派ハ「ツエーノン」ニヨリテ完成セラレズ其ノ大成者ハ寧ロ「クリジッポス」ニ在リ。雙方調和シテ意思ノ自由ヲ下ゲテ必然説ト調和セシモノアルガ一部ニシテ大體ハ調和セズ。部分主觀ノ立場トシテ見レバ自由ナレドモ全部ヨリ見レバ部分ハ不自由ナリ。絕對ニ全部ニヨリ制限サレテ居ルトハ客觀的ノ方カラ見ルガ故ナリ。客觀的ニハ部分ハ不自由ナレドモ主觀的ニ見ルトキハ自由ナリ。「ストア」ハ客觀的ニ見テ自然論ヲ立テシ故客觀的ニ定命セラルトセシ所以ナリ。論旨ハ合セズモ元來調和ノ出來ルモノナリ、主觀ガ虛ニテ客觀ガ實ナリトイフコトナシ、双方眞ナリ。主觀アルヲ以テ客觀アリ、内部アルヲ以テ外部アリ、タダ其ノ方面見方ヲ異ニスルノミ。故ニ客觀ニ重キヲ置キテ考フル知識ニテハ必然ヲ前提シ、宇宙ノ規則正シキコトヲ前提スル所以ナリ。意思ノ方ハ主觀的ノモノ故斯ク斯クノ事ヲ爲シテ見セルトイフ方ガ重クシテ此ノ時ハ自由ナリ。

四 理法ハ心靈ト合シテ存在ス。世界ノ各部分ニ顯現セラレツツアル心靈並ビニ理法ハ悉皆ノ根柢ノ理法ニ含有セラレツツアルモノナリ。宇宙ノ根源タル一神ガ心靈ヲ有スルコトハ之ヲ認めザルベカラズ。此ノ神即チ natura na-

一ツノ圓ヲ觀ルモノ分ラ

基督教ノ心  
靈説参照

羅馬法

仁義ノ説ニ  
移ル  
基督教トノ  
接近

「ストア」ハ材料外ニ在リテ之ニヨリ萬物ヲ造ルモノニ非ズ。能動ト所動トハ本來合一ス。神モ世界モ同一ナリ。假リニ之ヲ精神トシテ見レバ神ニシテ神ノ肉體トシテ見レバ世界ナリ。萬物ハ皆此ノ神ノ顯現ニシテ其ノ内部ニ自衛力ヲ備ヘ其ノ性質ヲ保持スルカヲ有ス。羅馬法ノ大切ナル精神ハ自衛ニ在リ。此ノ力ハ即チ理性タルト共ニ意思ノ力ナリ。宇宙ニハ到ル處何物ニモ理アリ識アリ意思アリ然ノミナラズ其ノ各部分ニハ普遍的同情アリテ宇宙全部ノ共同關係ヲ保持ス。此ノ側隱ノ心ハ即チ各部分ノ本來一體タル所以ヲ發揚セシムルモノナリ。「ストア」ニ至リ正義公平ヲ中心トセシ既往ノ世界觀ハ仁並ビニ義ヲ中心トセル個人的人々世觀ニ變遷セリ。但シ特ニ仁愛ヲ主トスルハ基督教ヲ待ツモノナリ。此ニ至リテ「ストア」哲學ハ寧ロ發現關係ノ精神ヲ中心トシテ其ノ道德觀ヲ立ツベキ順序タルコトヲ想像シ得ベキナリ。「ストア」ノ思想ヲ說明スレバ明瞭ナルヲ得ベキモコレ尙充分ニ此ノ學派ニヨリテ試ミラレタルコトナシ。

「ストア」ハ尙前記ノ外ニ汎論アリ。又尙汎論トモイフベキモノアリ。仁トイヘバイロ過ギルガ同情側隱ノ心ヲ起シタリ之ガ發達ノ精神ナリトセリ。色色ノモノヲ含メドモ十分

ニ統一ガ出來ザリシ故ニ却ツテ折衷ナリトテ惡シクイハレタリ。

### 第二 世界ノ成立

「ストア」ノ世界成立ノ説ハ前述ノ自然ノ性質論ヲ根據トシテ「ヘーラクライトス」ノ説ヲ襲用セリ。即チ「ストア」ハ「ブノイマ」(宇宙神靈)ヲ物質化セシメ之ヲ大火ト同様ニ見タリ。大火ヨリ大氣ヲ生ジ次ギテ大水次ギテ大地ヲ生ジ還滅流轉ニヨリテ世界ノ變轉循環ヲナサシム。サレバ宇宙ノ本體ハ「アリストテレース」ノ本體ノ形式ノ如ク凝然不動ナルモノニ非ズ。隨緣ノ「ブノイマ」即チ心靈ナリ。大火ナリト。

### 第三 人間ノ地位

人間ハ元大火即チ宇宙心靈又ハ一神ノ一部分ノ顯現ニシテ其ノ本性ハ子孫孫ニ傳ハリツツ在ルモノナリ。血液循環ノ根本タル心臟ハ殊ニ理性ノ存スル中心ナリ。此ノ人間ハ一神ノ發現ニシテ萬物ト共ニ一神ト對立スル其ノ一部分ニ外ナラザルガ故ニ必然ニヨリテ支配セラレ理體並ビニ其ノ一方面タル物質ノ範圍外ニ出ヅルコト能ハズ之ニヨリ定命セラレツツアルモノナリト。

斯ク「ストア」ハ人間ガ理法ノ支配ノ下ニ立チ又因果ノ範圍外ニ出デズトイフモ同時ニ此ノ因果ノ範圍外ニ出デザルハ理體ノ目的アル働キニ外ナラズト見ルヲ以テ理體ノ發現タル人間ハ因果律ニ從ヒ單純ナル機械的運動ヲ爲スモノニ非ザルコトハ明ラカナリ。

人間ノ靈魂ハ死後モ尙其ノ全部又ハ一部ハ世界ニ存在シ世界ノ循環ト共ニ終ニ大火ニ還滅ストノ説ヲナス者アリ。「クリジッポス」ノ如キハ賢人ノ精神ノミ不滅ナレドモ其ノ他ノ精神ハ滅ヲ免レズト説キタルガ如シ。「ヘーラクライトス」, Herakleitos 「フーテ」, Goethe 參照)

### 第四款 道德論及ビ國家論

道德並ビニ國家論ノ根本義ハ自然ニ遵ツテ生活スルニ在リ。此ノ自然ハ理體即チ大法ニシテ萬物ノ準據スベキ大道ナリ。此ノ自然ニ遵フコトガ正ニシテ其ノ徳ハ善ナリ。自然ニ違フコトガ不正ニシテ且惡徳ナリ。然ラバ自然ニ遵フコトハ何ゾ。





憂ヲ以テ憂  
トナサズ、  
樂シミヲ以  
テ樂シミヲ  
ナサズ是レ  
眞樂ナリ  
中庸ノ性  
宗ノ性

ノ理想トスル所ナリ。而シテ人格完成ニツキ、自然ガ吾人ニ對シテ如何ニ働キ  
カクルカハ、毫モ問フベキ。所ニ非ズ、タダ大道ニ隨ヒ生活シツツ天命ヲ甘受スベ  
キノミ。吾人ハ其ノ自由ニ其ノ天命ニ抗スルコトナク、其ノ自由ニ人格ノ完成  
ヲ欲スベキモノ之ヲ實行スベキモノナリ。是レ中庸ニ天命之謂性、率性之謂道  
脩道之謂教、道也不可須臾離也、可離非道也ト言ヘルニ合スルモノニシテ、又禪宗  
ノ直指人心見性成佛ノ精神ナリ。(佛敎哲理禪宗殊ニ其ノ修養及ビ餘論參照)

「ストア」ハ禪宗ノ如ク不立文字トハイハズ、知識論モ自然論モアル故異ナレドモ其ノ精神ハ  
同一ナリ。知識論自然論ハ付ケ足シニシテ修養ガ主ナリ。此ノ方面ヨリ見レバ禪宗ノ不立  
文字ニ似タリ。「ストア」折衷ハ到ラヌ點アレドモ、中道ヲ行クガ大道ナリトセバ、中庸ノ精神  
ニ似タリ。中庸ヲ折衷ト間違フ人多キガ「ストア」ハ中庸ニ近ヅキツアルモノナリ。性ニ率  
ヒテナス人格ノ完成ニ在レバナリ。

「ストア」ニ從ヘバ吾人ハ現ニ自然ニ歸一セルモノニシテ、自然並ビニ其ノ理法  
ハ各人ヲ通シテ現ハレツツアルガ故ニ、常ニ必然ノ範圍外ニ非ズ。現在ノ  
併  
シ之ト同時ニ各人ハ自然ト相對立シ自己ノ意思ヲ鍛鍊シ自己ノ人格ヲ完成ス  
ベキ義務ヲ有ス。當然ノ  
之ニ應ジテ各人ハ一方ニハ天命ノママ之ヲ甘受シ

宇宙表現者  
其ノ自由ヲ  
表現シ得ザ  
ルベカラズ  
「ナポレオ  
ン」ハ運命  
トヤ子ハ運  
命ヲ作ル  
ト曰ヘリ

羅馬人ハ其  
ノ自由ニ法  
定シタル依  
律制度ニ依  
リテ世界ノ  
統一ヲ完成  
セント企テ  
タリ

之ヲ發揚スベク、此ノ範圍ヲ越ユルヲ許サレザレドモ、他方ニハ各人ノ努力ニヨ  
リテ外界ヲ利用シ得ベク、外界ノ情況ハ各人ノ意思ニヨリテ決セラルベク、徒ニ  
各人ヲ害スルコト能ハズ。サレバ自然論ニ於テ唱ヘタル「ストア」ノ必然說ハ道  
徳論ニ至リテ嚴格ニ守ラルルコトナク、甚ダシク意思ノ自由ニ重キヲ置クニ至  
リタルヲ知ルベシ。蓋シ各人ハ自然ノ表現者ナルガ故ニ、又各自然ノ第一事實  
ヲ表現スルモノナラザルベカラズ。故ニ「ストア」ヨリ一步ヲ進メ、理法ト共ニ宇  
宙ノ第一事實ヲ説キ、又發現關係ト表現關係トヲ明ラカニスルトキハ、各人が自  
由ニ其ノ運命ヲ作り得ル所以ヲ解スルニ難カラザルベシ。

元來吾人ハ宇宙ノ表現者ニシテ又宇宙ノ第一事實ヲ表現スル者ナリ。從ツテ運命ハ當然  
來ラズ、自分ノ都合ノヨキモノヲ引立ツルモノナリ。「ストア」ハ道德論ニ於テ徒ニ必然ノ中ニ  
ノミ居ラズ、其ノ範圍ヲ脱シテオレリ。併シ各人ハ必然的ニ天命ヲ甘受スベキモノナリトセ  
リ。喜ビモ悲シモ問違ナリ。事ガ定マリ居ル故ソレニテヨイカ、否決シテ然ラズ。努力シ  
テ人格ヲ完成スベシ、勢力次第ニテ如何様ニモナルト。此ノ點ハ定命論ノ中ニノミ居ラザル  
證據ナリ。現ニ「ストア」ノミヲ採用セシ羅馬ニ於テハ定命說ヲ打破リ、意思自由ヲ眞先キニ立  
テテ、大事業ヲ爲シタリ。客觀ノミニ重キヲ置クハ宜シカラズ。一體宇宙ガ主觀的ヲ離レテ  
常ニ客觀的ノモノトノミ思フガ間違ナリ、一方ノミヲ見ルハ不可ナリ。禪宗ハ常ニ曰ク、何故

ニ外界計リヲ見ルカ、外界ハ變化ニ應ジテフアラフ變ツテシマウゾ、動カヌ内心ヨリシテ外部ヲ見ザルベカラズト、「ストア」モ畢竟之ニ歸ス。

### 第三 人格ノ完成ト萬惑頓斷

自然ニ遵フガ善ナレドモ、自然ニ遵フハ自己ノ人格ノ完成ノ義務ヲ果スライフ。故ニ人格完成スレバ其ノ行フ所ハ皆正義ニシテ、トシテ徳ナラザルモノナシ。人格完成セザレバ、假令其ノ爲ス所正義ニ類スルモ眞ニ正義トイフベカラズ、又德行ト稱スベカラズ。總ベテノ惑並ビニ有ラユル不徳ハ頓斷シ得ベキノミニシテ頓斷即チ人格ノ完成ナリ。此ノ故ニ世上ニハ善人ト惡人トノ二種アルノミニシテ又賢人愚人ノ外ニ其ノ中間ノ者ノ存在ヲ容レズ。然レドモ此ノ初期ノ説ハ「ストア」學説ノ羅馬ニ入ルト共ニ緩和セラレ、萬惑頓斷ノ説ハ變ジテ漸斷ノ説トナリ、終ニ徳ノ漸修ヲ認ムルコトトナリ、羅馬法制ノ形式ノ如ク、徳及ビ人格ノ統括階級ヲ認ムルニ至レリ。

羅馬法

時計ハ器械ガ揃ハネバ出來セズ、心棒一本無クモ不完全ナリ。人間モ同ジ、但シ片腕ナキ人ハ在レドモ人格ノ不完全ナルニ非ズ。半分ノ人格トイフコトナシ。アル以上ハ人格ハ一ツナリ。有ルカ無キカノ一ツニシテ中間ノモノナシ。人格ノ完成セシ人間ハ何ヲ爲スモ善ナリ。

リ。善キ事モ惡シキ事モ爲ス人ハ、善人ニ非ズ、何ヲ爲スモヨイコトノミニ非ザレバ善人賢人ニ非ズ。混ジテ居ル間ハ善人ニ非ズ、一ツニテモ間違アレバ不可ナリ。

### 第四 權限ノ固守

人格並ビニ悟ハ頓斷ニヨリテ成サルルノミナラズ、次第ニ寛大トナリ漸斷ニヨリテ上達セシメラレ得ベシトセラルルニ至レリ。之ト共ニ修養ノ手段モ、初メハ斷慾ニ在リトセラレシガ、羅馬ニ入りテハ其ノ社會生活ニ影響セラレテ、寡慾ナルヲ以テ足レリトセラレ、謙讓ヲ以テ充分ナリトセラレタリ。「ストア」ノ初期ニハ夫自身善ニモ惡ニモアラザル無記ノモノ、例ヘバ富貴貧賤地位毀譽褒貶健康病氣快樂苦痛生死ノ如キスラ、之ヲ以テ心ヲ動カスノ害物ト認メ、是等ニヨリ心ヲ動カサルルヲ不徳ノ原因ト見做シ、惡ノ因テ生ズル所トナシ、超然トシテ是等ノ外ニ立チ其ノ繫縛ヲ脱スベキコトヲ要求セリ。

羅馬ノ「ストア」學徒ハ、惡ハ避クベク善ハ行フベキモノトスルモ、無記ノモノニツキテハ適度ニ之ヲ求メ、又ハ避クルコトヲ妨グズトセリ。併シ「ストア」ノ特色ハ、權勢ヲ始メ外界ハ欲求ハ勉メテ之ヲ輕視シ、外部ニ依頼セズシテ自己ノ内部

青年時代ノ修養ハ人格ノ修養ハシテ、頓斷ヲ期ス

支那ニテハ身ノ終リヲ全フスルコトヲ無上ノ賞トスベキトセリ

ハ本性ニ從ハントスルニ在リ。自己ノ理性ニヨリ其ノ智ヲ明ラカニシ其ノ意思ヲ鍛鍊シ得タランニハ外力ハ如何ニシテモ是等ヲ奪フコト能ハザルベシ。各人其ノ奪ハルルコトナキ志ヲ立テ得外界ノ偶然ニ失ハレザルコトヲ得ルハ悟ノ極致ニシテ又各人ノ自由自在ナル極所ナリトス。若シ自然ノ顯現者タルベキ根據ヲ失フ場合アリ理性ノ要求ニ反シ外物ニ制馭セララルル止ムナキ曉ニ至ラバ寧ロ一死以テ此ノ征服ヲ免ルルノ優レルニ若カズ。自ラ身ヲ殺シテ自然ヲ全フスルハ賢人ノ爲スベキ所ナリ。自殺モ亦貴重ナル吾人ノ義務ナリト。現ニ此ノ學派ノ開祖ツェーノーンモ二祖クレアンテリスモ自殺シテ其ノ所信ヲ實行セリ。而シテ此ノ精神ハ又自己ノ權限ヲ死守スルト共ニ其ノ權限外ニハ望ヲ斷チ濫リニ其ノ權限ヲ忘レ外界並ビニ他ノ權限ニ奪ハルルコトナキヲ命ズルモノニシテ是レ羅馬法制ヲ貫通スル其ノ大精神ナリトス。「ストア」ガ認スルハ結局運命ニ勝テヌコトヲ豫想スレバナリ其ノ場合ニハ自ラ進ミ内部ノ力ヲ以テ其ノ運命ヲ實現セント努カスルナリ。

「ソークラテイス」ハ内界ヲ自然ト見ル「ストア」ハ彼ノ此ノ方面ヨリ出發スル者トイフベシ。故ニ「ストア」ノ自然ハ性ニ在リ内ニ在リ。外界ノミガ自然ナリ客觀ノミガ實在ナリト思フハ誤ナリ主觀ナクシテ何ゾ客觀アラン人ナクシテ何ゾ物アラン。

羅馬法

大ニ表現ノ域ニ接近ス

基督教ノ理想トスルコト

自己ノ權限内ノ事ハ死ヲ以テ守ルモ他ノコトハ敢テ闘セズ。前ニ「ツェーノーン」ニヨリテストア學派ノ出來シハ「ツェーノーン」ガ「ソークラテイス」ノ性格ヲ聞キ悦レシタルニ在リ。故ニ自然ニ從フトイフモ科學者ノイフ所ノ自然ニ非ズ。理體神ガ吾人ニ現ハレテオトルニヨリ其ノ目的ニ適フ如ク各人ガ人格ヲ發揚スルガ宇宙ノ大目的ヲ發展スル方法ナリ。無記ノモノ即チ名譽ノ爲ニナスト云フガ如キハ頓斷ニアラズ。人ノ誘リヲ恐ルルガ如キモ已ニ不可ナリ健康ニナリタイ死スルヲ恐ルルトイフガ如キモ宜シカラズ。苦樂モ無ク斯カルモノニ對シテ平然トシテ自分ヲ動かサズ又動かサレズトイフガ結論ナリ。

自己ガ宇宙ノ顯現者タルノ根據ヲ失フトキハ即チ人格完成ニ矛盾スルトモハ自己ハ存スルノミニシテ宇宙ノ顯現者ニ非ザルヲ以テ外界ニ支配セラレシナラバ其ノ時ハ自殺ノ義務アリトセリ。「ストア」ハ定命說ヲ認メテ居ル故ニ斯クイフガコレハ又ドコマデモ自由デヤルコトニ重キヲ置キタル方面ナリ。基督教ニテモ實際上ハ死スル時只死スルハツマラヌ故自分ノ信仰及ビ之ニ伴フ意思ノ強キヲ示サンガ爲ニ殊更苦シク死シタル人モ澤山アリ。日本ノ武士ガ壘ノ上ノハタレ死ニ「ヲ」恐レテ寧ロ戰場ノ打死ヲ無上ノ榮譽トナセシト同様ナリ。日本人ノ死ニ方モ切腹トイフ一ノ形式ニヨリテ死スルノ死ヲ恐レヌ人間タルコトヲ重シズル爲ニ死スルノデアル。基督教モ主義ハ異ナラズ中世以降該教ニテ自殺ヲ不可トスルニ根本理由ハ一ニ歸ス。

第五 個人ノ良心及ビ義務ヲ道德論ノ中點トナス。

